

The background of the cover is a stylized, high-contrast illustration of a university campus. On the left, a tall, multi-story building with a grid of windows is depicted in shades of green and yellow. To the right, there are large, leafy trees in bright yellow and green. In the foreground, a row of bicycles is parked along a path. The overall style is graphic and modern.

三重大学 学生総合支援 センター

2007～2011 年度

報告書

三重大学学生支援方針

三重大学にとって、受け入れた学生は「宝」です。
その宝が輝くように、教員、職員、学生が一体となって支援します。



三重大学学生支援の4つのD

- 1. Discovery:** 学生の中に眠っている宝を探します。
- 2. Dream:** 眠っている宝が最高に輝いた夢を描きます。
- 3. Design:** 描かれた夢を実現させるステップをデザインします。
- 4. Destiny:** 夢実現のステップを実践し、宝を輝かせます。

2011年2月11日

三重大学長

内田淳二

発刊にあたって

2006(平成18)年度に設置された三重大学学生総合支援センターは、2009(平成21)年度に体制の強化が図られ、2010年度より学生生活支援室、学生なんでも相談室、キャリア支援センターの体制に編成されました。さらに、キャリア・ピアサポーター資格教育プログラムの整備にともない、教員、職員、学生が一体となった学生支援体制が構築され、2011年2月14日には、以下のような学生支援方針が内田淳正学長より宣言されました。



三重大学にとって、受け入れた学生は「宝」です。

その宝が輝くように、職員、教員、学生が一体となって支援します。

共通教育を中心とするキャリア教育プログラムと連動しつつ、三重大学というミニ社会の中で、学生の自立性と社会性を育成しつつきめ細かな学生支援を行う学生支援の三重大学スタイルは、全国から注目されるようになり、他大学からの視察を頻繁に受けるようになったばかりではなく、学会、日本学生支援機構、経済産業省等から事例報告を依頼されるようになりました。

一方で、この学生支援活動を自ら対外的に知らせる体制は、不十分でした。毎年、学生委員会において、学生総合支援センターの活動報告をしてきましたが、それを報告書の形でまとめてはおりませんでした。学生総合支援センターが学内共同教育研究施設であると認知されたのが遅かったという事情があるにせよ、PR不足であるというそしりをまぬがれることはできません。

この欠点を補うために、『三重大学学生総合支援センター年報』を2012年度版より発刊する予定ですが、そのための準備として、2007年度から2011年度までの三重大学における学生支援の実態を、実証的データとともにまとめておくことが必要となりました。この『三重大学学生総合支援センター2007～2011年度報告書』は、以上の認識の下、学生総合支援センターで行われている学生生活支援、留学生支援、学生相談支援、キャリア支援、ピアサポーター養成などの情報をまとめたものです。これらのデータに関する分析等は来年度以降刊行する年報に譲りますが、活動の概要を把握する一助となれば幸いです。

皆様のご指導をいただきながら、三重大学の学生支援をより充実したものにしていきたいと願っておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

学生総合支援センター長

中川 正

目次

発刊にあたって	学生総合支援センター長 中川 正
---------	------------------

I 学生総合支援センター

・組織図	01
・学生総合支援センター会議 委員名簿	02
・学生委員会 委員名簿	02

II 学生生活支援室

・活動報告(平成23年度)	
奨学生数	03
留学生数	04
入学科・授業料免除者数	06
学生寄宿舎入寮許可状況	07
学生教育研究災害障害保険・学生教育研究賠償責任保険加入者数	08
クラブ・サークル一覧	09
東海地区国立大学体育大会成績	11
その他の活動	12
・資料(平成19年度～平成22年度)	13

III 学生なんでも相談室

・活動報告(平成23年度)	27
・活動報告(平成19年度～平成23年度)	29
・教員に対する学生相談・学生支援に関する意識調査の結果分析	31

IV キャリア支援センター

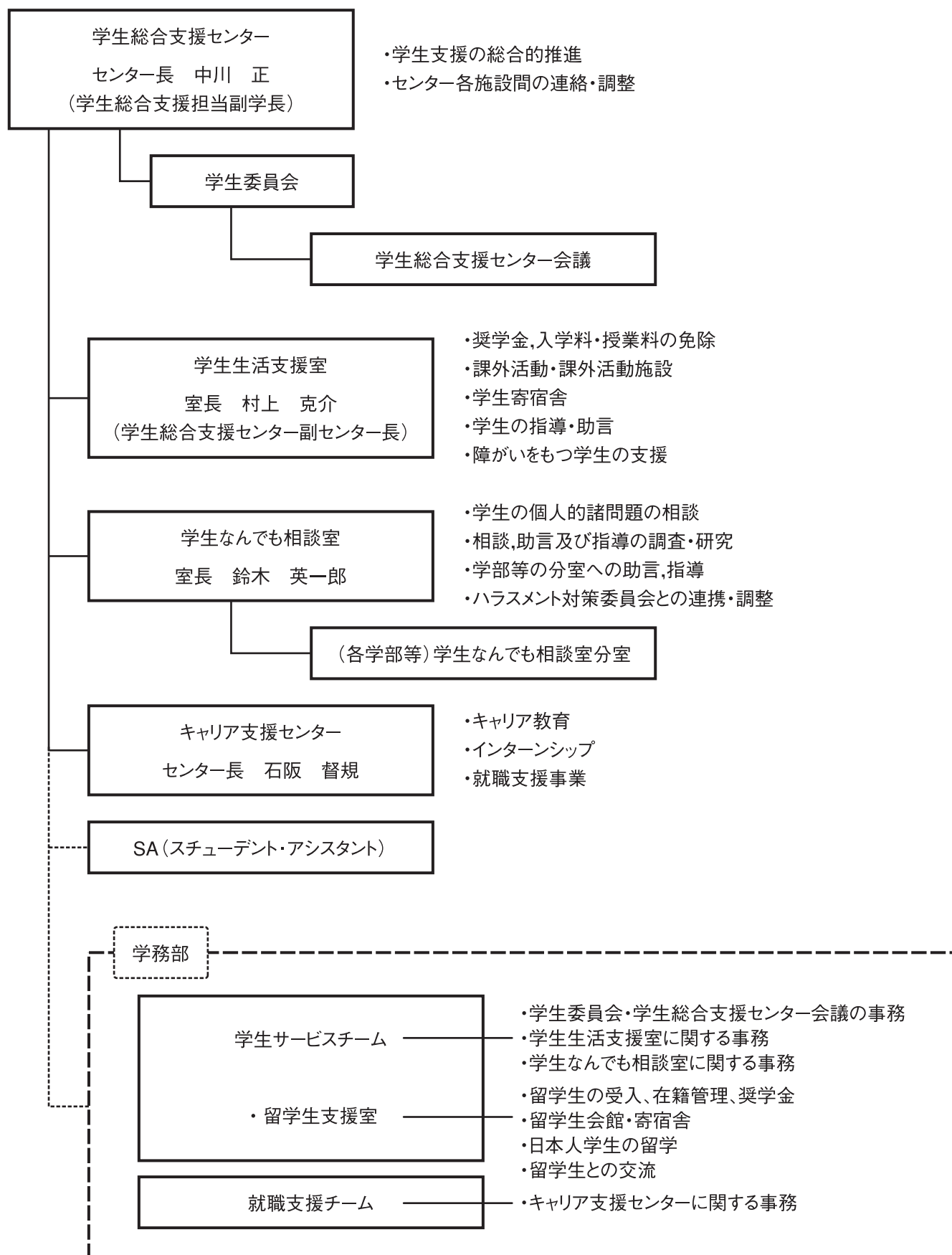
・活動報告(平成19年度～平成23年度)	39
----------------------	----

V SA(スチューデント・アシスタント)

・活動報告(平成23年度)	50
---------------	----

I 学生総合支援センター

平成23年度 学生総合支援センター 組織図



平成23年度 学生総合支援センター会議 委員名簿

		氏 名	備 考
委員	学生総合支援センター長	中川 正	議長 学生総合支援担当 副学長
	学生生活支援室長	村上 克介	副センター長
	学生なんでも相談室長	鈴木 英一郎	
	キャリア支援センター長	石阪 督規	
	学務部長	久保田 達夫	
陪席	学生生活支援室	荒川 哲郎	
	学生サービス課長	中島 英雄	
	就職支援課長	河原 滋	
	学生サービスチーム副課長	竹谷 吉弘	
	学生生活支援室 学生生活指導・地域連携担当	萩野 三明	

平成23年度 学生委員会 委員名簿

		氏 名	備 考
委員	学生総合支援センター長	中川 正	委員長 教育担当副学長
	人文学部	森 久綱	
	教育学部	秋元 ひろと	
	医学部	成田 有吾	
	工学研究科	高橋 裕	
	生物資源学研究科	古丸 明	
	保健管理センター	住田 安弘	
	国際交流センター	松岡 知津子	
	学生生活支援室	村上 克介	
	学生なんでも相談室	鈴木 英一郎	
	キャリア支援センター	石阪 督規	
	学務部長	久保田 達夫	
陪席	学生サービス課長	中島 英雄	
	就職支援課長	河原 滋	
	学生サービスチーム副課長	竹谷 吉弘	

II

学生生活支援室

平成23年度 奨学生数

平成24年3月1日現在

区分 学部等		在学生数 (H23.5.1 現在)	日本学生支援機構			地方公共団体 民間育英団体	合計	在学生に 対する 百分率	
			第一種 (無利子)	第二種 (有利子)	計				
学部	人文学部	1,249	172	251	423	8	431	34.5%	
	教育学部	920	129	162	291	6	297	32.3%	
	医学部	1,019	132	195	327	362	689	67.6%	
	工学部	1,873	220	340	560	7	567	30.3%	
	生物資源学部	1,106	154	172	326	11	337	30.5%	
大学院	人文社会科学研究科		44	5	1	6	0	6	13.6%
	教育学研究科		67	13	2	15	0	15	22.4%
	医学系研究科	修士	66	10	2	12	0	12	18.2%
		博士	196	8	2	10	0	10	5.1%
	工学研究科	前期	498	143	75	218	0	218	43.8%
		後期	58	10	0	10	0	10	17.2%
	生物資源学研究科	前期	233	62	18	80	2	82	35.2%
		後期	55	4	0	4	0	4	7.3%
	地域イノベーション学研究科	前期	24	10	4	14	0	14	58.3%
		後期	12	1	0	1	0	1	8.3%
計		7,420	1,073	1,224	2,297	396	2,693	36.3%	
特別支援教育特別専攻科		6	0	0	0	0	0	0.0%	

平成23年度 学部別留学生数 一覧表

5月1日現在

		1	2	3	4	5	6	7	
		人文学部	教育学部	医学部	工学部	生物資源学部	地域イノベーション学研究科	国際交流センター	計
学部	正規	12(7)	19(18)		27(7)	3(1)			61(33)
	非正規	16(9)	12(10)		4(1)	8(5)		10(8)	50(33)
計		28(16)	31(28)	0(0)	31(8)	11(6)	0(0)	10(8)	111(66)

修士	正規	12(11)	20(19)	2(2)	13(3)	22(16)			69(51)
	非正規	4(2)			3(0)	3(2)			10(4)
計		16(13)	20(19)	2(2)	16(3)	25(18)	0(0)	0(0)	79(55)

博士	正規			13(4)	15(4)	20(8)			48(16)
	非正規						1(1)		1(1)
計		0(0)	0(0)	13(4)	15(4)	20(8)	1(1)	0(0)	49(17)

合計		44(29)	51(47)	15(6)	62(15)	56(32)	1(1)	10(8)	239(138)
----	--	--------	--------	-------	--------	--------	------	-------	----------

()内は、女子を内数で示す。

平成23年度 国籍別外国人留学生数調

21ヶ国・地域

239 (138)

5月1日現在

国・地域			【学 部】		【大 学 院】		【国際交流センター】			計
			正規生	非正 規生	正規生	非正 規生	日本語・ 日本文化 研修生	日本語 研修生	特別聴 講学生	
アジア	1	中国	41 (26)	31 (19)	84 (55)	7 (4)	2 (2)		2 (2)	167 (108)
	2	ベトナム	12 (3)		3 (1)			1 (0)		16 (4)
	3	バングラデシュ			4					4 (0)
	4	韓国	5 (3)	6 (4)	3 (0)					14 (7)
	5	タイ			7 (4)	2 (1)	1 (1)		2 (2)	12 (8)
	6	ミャンマー			1 (1)					1 (1)
	7	マレーシア	2 (0)		5 (1)					7 (1)
	8	アフガニスタン			1 (0)			1 (0)		2 (0)
	9	インドネシア			1 (1)					1 (1)
	10	シンガポール			1 (0)					1 (0)
	11	インド			1 (0)					1 (0)
	12	ネパール			1 (1)					1 (1)
中東	13	ヨルダン			1 (0)					1 (0)
アフリカ	14	マリ共和国			1 (1)					1 (1)
中・南米	15	コスタリカ	1 (1)							1 (1)
	16	アルゼンチン					1 (1)			1 (1)
	17	ドミニカ共和国			1 (1)					1 (1)
ヨーロッパ	18	ドイツ		4 (2)						4 (2)
	19	フランス				1 (0)				1 (0)
	20	スペイン			1 (0)					1 (0)
	21	モルドバ共和国			1 (1)					1 (1)
合 計			61 (33)	41 (25)	117 (67)	10 (5)	4 (4)	2 (0)	4 (4)	239 (138)
			102 (58)		127 (72)		10 (8)			

() 内は、女子を内数で示す。

正規生 178 (100)

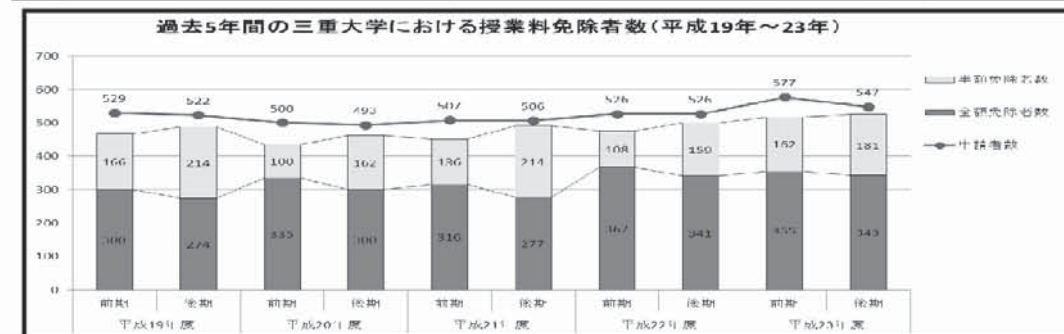
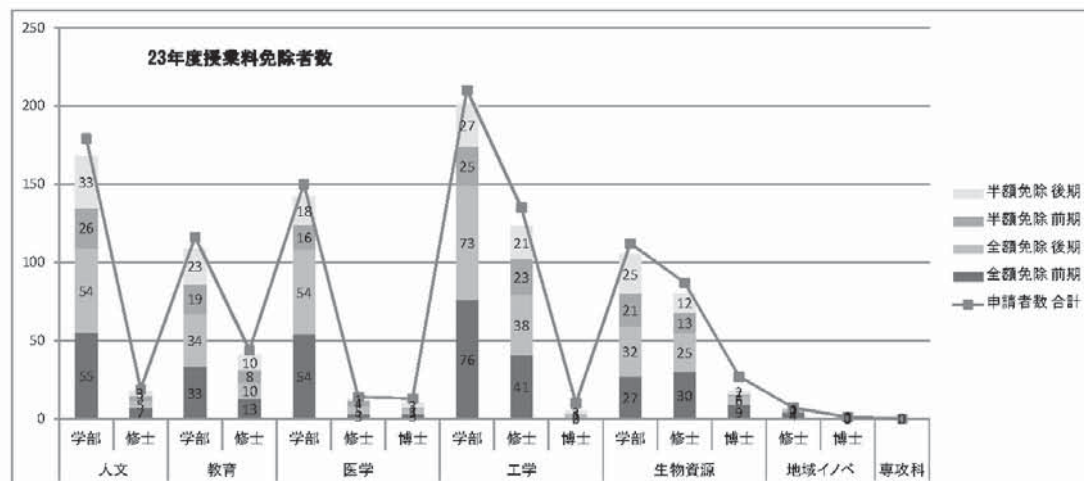
非正規生 61 (38)

平成23年度 入学科・授業料免除者数(学部・研究科別)

入学科免除		※23年度より半額免除優先制度導入	
学部・研究科名		申請者数	全額免除
人文	修士	3	0
教育	修士	12	0
医学	修士	4	0
	博士	1	0
工学	学部	2	1
	博士前期	35	0
	博士後期	3	0
生物資源	博士前期	15	0
	博士後期	0	0
地域イノベ	博士前期	3	0
	博士後期	0	0
専攻科		0	0
合 計		78	1

※風水害による申請

授業料免除		申請者数			全額免除		半額免除		免除者計	
学部・研究科名		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	92	87	179	55	54	26	33	81	87
	修士	11	8	19	7	5	3	3	10	8
教育	学部	55	61	116	33	34	19	23	52	57
	修士	23	21	44	13	10	8	10	21	20
医学	学部	74	76	150	54	54	16	18	70	72
	修士	7	7	14	3	5	4	1	7	6
	博士	7	6	13	3	3	1	3	4	6
工学	学部	105	105	210	76	73	25	27	101	100
	博士前期	74	61	135	41	38	23	21	64	59
	博士後期	6	4	10	0	2	1	2	1	4
生物資源	学部	53	59	112	27	32	21	25	48	57
	博士前期	47	40	87	30	25	13	12	43	37
	博士後期	18	9	27	9	6	1	2	10	8
地域イノベ	博士前期	4	3	7	4	2	0	1	4	3
	博士後期	1	0	1	0	0	1	0	1	0
専攻科		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		577	547	1,124	355	343	162	181	517	524



平成23年度 学生寄宿舍 入寮許可状況報告

男子学生寄宿舍



定員：109名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成23年度	30	53	30	

女子学生寄宿舍



定員：60名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成23年度（H23.9入寮）	24	25	24	改修工事のため4月募集せず

国際女子学生寄宿舍



定員：日本人学生50名 留学生25名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成23年度	日本人学生	24	24	24	
	留学生	20	20	20	

平成23年度 学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険 加入者数

学 部	入学者数	加入者数	加入率
人文学部	315	226	72%
教育学部	213	189	89%
医学部	213	174	82%
工学部	451	299	66%
生物資源学部	274	177	65%
小 計	1,466	1,065	73%

大学院	入学者数	加入者数	加入率
人文社会科学研究科	14	6	43%
教育学研究科	40	19	48%
医学系研究科			
（博士課程）	28	8	29%
（修士課程）	20	12	60%
工学研究科			
（博士後期課程）	14	2	14%
（博士前期課程）	243	144	59%
生物資源学研究科			
（博士後期課程）	10	8	80%
（博士前期課程）	96	73	76%
地域イノベーション学研究科			
（博士後期課程）	6	1	17%
（博士前期課程）	12	3	25%
特別支援教育特別専攻科	14	12	86%
小計	497	288	58%

合計	1,963	1,353	69%
----	-------	-------	-----

●平成23年度 クラブ・サークル一覧(体育系・全学)

平成24年6月1日現在

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	陸上競技部	38	9	47	34	ビーンズ(硬式テニス)	45	35	80
2	水泳部	23	14	37	35	ブルーマリン(スキンダイビング)	31	16	47
3	硬式野球部	42	5	47	36	バスケットボール同好会	19	12	31
4	準硬式野球部	24	6	30	37	ダイビングサークル	39	24	63
5	サッカー部	22	3	25	38	ボウリング部	7	0	7
6	ラクビー部	26	8	34	39	まいのり(テニス,バドミントン)	33	23	56
7	アメリカンフットボール部	36	8	44	40	ラインブレイク(釣り)	22	10	32
8	馬術部	2	9	11	41	極津	0	39	39
9	硬式テニス部	19	6	25	42	WILL(テニス)	27	15	42
10	ソフトテニス部	22	14	36	43	球技サークル～MARIMO～	19	10	29
11	ハンドボール部	13	13	26	44	合気研究会	3	7	10
12	バレーボール部	22	11	33	45	ブルーロゼット(テニス)	19	1	20
13	バスケットボール部	17	16	33	46	ハンドボールサークル(FTH)	19	9	28
14	バドミントン部	16	8	24	47	BiSuKe(ビースケ)(バスケット)	14	4	18
15	卓球部	26	6	32	48	Wild Geese(アウトドア)	33	19	52
16	体操競技部	12	2	14	49	サイクリングサークル	23	3	26
17	ダンス部	21	13	34	50	ジャグリングサークル	48	21	69
18	柔道部	7	1	8	51	Links(ソフトテニス)	13	1	14
19	剣道部	20	7	27	52	狩る!マッチョ(サッカー)	29	2	31
20	空手道部	4	2	6	53	Hoop(バスケット)	10	7	17
21	少林寺拳法部	16	10	26	54	フラメンコサークル OLe!	2	6	8
22	日本拳法部	3	3	6	55	PLUS STYLE(筋力・体カトレーニング)	7	0	7
23	合気道部	11	11	22	56	NEXT(ストリートダンス)	23	19	42
24	ワンダーフォーゲル部	13	4	17	57	天狗う	18	15	33
25	ゴルフ部	16	1	17	58	RED HAPPINESS(軟式野球)	12	0	12
26	弓道部	24	12	36	59	伊織(バスケット)	16	10	26
27	アーチェリー部	27	11	38	60	FCバルデラマ(フットサル)	19	11	30
28	ヨット部	6	5	11	61	ホームスチール(軟式野球)	37	6	43
29	ボート部	4	2	6	62	Mulcy(バレーボール)	7	6	13
30	カッター部	16	9	25	63	CRAB boarder's Life(ボードスポーツ)	20	2	22
31	自動車部	14	1	15	64	MONO(フットサル)	10	0	10
32	トライアスロン部	21	6	27	65	DAISUKE(フットサル)	18	0	18
33	応援団	29	19	48					

●平成23年度 クラブ・サークル一覧(体育系・医学部)

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	山岳部	5	4	9	10	ラクビー部	27	15	42
2	競技スキー部	19	16	35	11	ゴルフ部	32	24	56
3	剣道部	23	18	41	12	陸上競技部	26	26	52
4	バレーボール部	16	15	31	13	野球部	19	8	27
5	バドミントン部	30	27	57	14	サッカー部	36	12	48
6	バスケットボール部	17	27	44	15	弓道部	24	29	53
7	硬式テニス部	35	29	64	16	卓球部	34	23	57
8	ソフトテニス部	12	19	31	17	空手道部	10	1	11
9	ハンドボール部	18	13	31					

●平成23年度 クラブ・サークル一覧(文化系・全学)

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	管弦楽団	26	47	73	32	Blue Planet(本のリユース)	5	2	7
2	吹奏楽団	16	30	46	33	Transfer(編入生サポート)	3	6	9
3	ギターマンドリン	22	31	53	34	天文サークルSOLA	35	15	50
4	ギター	17	9	26	35	BBS(児童ボランティア)	18	24	42
5	邦楽部	6	12	18	36	アンサンブルサークル「ぶるさあ」	20	17	37
6	室内楽団	8	14	22	37	聖書研究会	2	1	3
7	写真部	16	5	21	38	Pioneer(アカペラ)	22	33	55
8	合唱団	29	18	47	39	みえ・シネマアーカイブ	11	6	17
9	美術部	7	19	26	40	ジョイア(外国人の子供への学習支援)	3	9	12
10	漫画倶楽部	29	8	37	41	三重大学ユネスコクラブ	6	18	24
11	E.S.S	20	27	47	42	三重大学農業サークル翠	1	3	4
12	軽音楽部	71	33	104	43	アンビシャスカード(マジック)	4	0	4
13	めばえサークル	6	5	11	44	Silhouette(ジャズ)	6	1	7
14	人形劇団つくし	3	8	11	45	三重大学ベンチャーサークル	6	1	7
15	ピアノ同好会	11	10	21	46	ぶらり旅サークル	5	0	5
16	表千家茶道部	1	10	11	47	カードゲームサークルDUEL	12	2	14
17	裏千家茶道部	4	24	28	48	DTMサークル JACK	2	0	2
18	SF研究会	14	3	17	49	START(外国人労働者・難民支援)	0	6	6
19	リカゲル(創作活動)	39	52	91	50	三重大学災害ボランティア支援団体MUS-net	0	5	5
20	囲碁・将棋部	17	0	17	51	High Tone	8	3	11
21	HELLO FM	14	13	27	52	食農サークル農らく	4	1	5
22	小笠原流華道部	2	8	10	53	ヴァンパイア	6	6	12
23	エレクトーンサークル23-two・three-	8	6	14	54	ドットジェイピー三重	1	2	3
24	万葉旅行の会	7	6	13	55	MAFF(留学生関係)	6	7	13
25	プラスバンドサークルBB研究会	13	6	19	56	ロボコンクラブ	8	0	8
26	かめつぷり	26	20	46	57	Global Eyes(国際交流イベント等)	2	7	9
27	心太(書道)	10	14	24	58	PAR-TAN	9	0	9
28	劇団クレスト	7	3	10	59	MBC(MathBasicClub)	5	0	5
29	卓上文化研究会	8	2	10	60	キンモクセイ(ダーツサークル)	10	1	11
30	ねこサークル	22	26	48	61	White ant(音楽)	10	14	24
31	落語研究会	8	0	8	62	自由人(音楽)	9	1	10

●平成23年度 クラブ・サークル一覧(文化系・医学部)

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	美術部	5	4	9	7	sessionサークルBAG	15	14	29
2	東洋医学研究会	9	10	19	8	ロック部	12	10	22
3	インターネット研究会	9	0	9	9	きゅうめい部	8	4	12
4	軽音楽部	19	19	38	10	スキルズラボ学生インストラクターズ	4	10	14
5	医療 学生研究会	23	24	47	11	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ三重学生部会	5	8	13
6	小児医療を考える会	9	3	12					

第60回東海地区国立大学体育大会成績結果一覧

①日時 平成23年5月22日(日)・28日(土)・29日(日),6月18日(土)・19日(日)・25日(土)・26日(日)
7月2日(土)・3日(日)・9日(土)・10(日)・17日(土)・18(日)

②場所 静岡県営草薙陸上競技場他19会場

③幹事大学 愛知教育大学

④成績

(男子)

大学名		愛教大	三重大	名古屋大	岐阜大	名工大	豊技大	静岡大	浜医大	備考
競技種目		順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	
1	陸上競技	1	5	3	4	6	7	2	8	
2	水泳	6	3	1	2	7	8	4	5	
3	硬式野球	3	3	2	1	5	5	5		
4	準硬式野球									雨天中止
5	硬式テニス	5	5	5	2	3	4	1	5	
6	ソフトテニス	1	3		2	5	7	4	6	
7	バスケットボール	7	4	6	1	5	2	3		
8	バレーボール		6	5	1	7	3	2	4	
9	卓球	7	4	2	3	5	6	1		
10	バドミントン	3	2	6	4	5	7	1	8	
11	サッカー	1	8	7	3	4	6	5	2	
12	ハンドボール	3	6	1	2	4		5		
13	柔道	4	5	1	5	5	3	2		
14	剣道	5	3	2	1	5	4	5		
15	空手道	2	6	4	5	7	8	1	3	
16	弓道	6	1	4	8	5	7	2	3	
17	体操									オープン競技
18	馬術	3	6	1	5	4		2		
19	アーチェリー	4	2	1	3			5		
20	少林寺拳法	1	3		2			4		
男子順位		4	5	3	2	6	7	1	8	

(女子)

大学名		愛教大	三重大	名古屋大	岐阜大	名工大	豊技大	静岡大	浜医大	備考
競技種目		順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	
1	陸上競技	1	4	5	2			3	6	
2	水泳	4	1	2	3			5	6	
5	硬式テニス	4	5	3	5			1	2	
6	ソフトテニス	4	1		2			3		
7	バスケットボール	1	3	4	2					
8	バレーボール	1		4	2			3	5	
9	卓球	6	4	3	1	5		2		
10	バドミントン	5	2	4	3	6		1	7	
12	ハンドボール									オープン競技
13	柔道									オープン競技
14	剣道	1	3	5	4			2		
15	空手道	4		1	2			3	5	
16	弓道	3	2	6	4	7		1	5	
17	体操									オープン競技(個人戦のみ)
19	アーチェリー									オープン競技
女子順位		3	4	5	2	7	8	1	6	

平成23年度 その他の活動

- ①東日本大震災に関する学生のボランティア活動支援
- ②新入生に対するオリエンテーション等の見直し
 - ・全学共通オリエンテーションを廃止
 - ・学生生活支援説明会の新設
 - ・新入生に対するほとんどの配布物についてWeb化を図った
- ③留学生支援室の設置(事務組織再編)
- ④入学料の免除対象を学部と大学院を同じとする改正を行った
- ⑤自転車搭乗・駐輪マナー向上を図った
 - ・新入生オリエンテーションにおいて指導
 - ・担当職員による日常的な指導を随時実施
- ⑥地域住民の方とのコミュニケーションについて,担当職員が随時実施
- ⑦環境ISO学生委員会に対する各種支援
 - ・12月17日～ 放置自転車の撤去を開始
 - ・3月13日～ リユース用電化製品の受付開始
- ⑧飲酒事故等に対する学生指導
 - ・毎月定例開催しているクラブ・サークル連絡会において周知徹底
 - ・大学祭における飲酒の禁止
- ⑨学生生活の支援方法に関する資料収集
 - ・全国カルト対策ネットワークに加入し情報収集
 - ・三重県警及び津警察署からカルト及び学生運動に関する情報収集
- ⑩薬物乱用及び盗難防止に対する学生指導
 - ・新入生オリエンテーションにおいて津警察署による指導
- ⑪少年警察学生ボランティア及び防犯ボランティアの活動支援

資料

●平成19年度 奨学生数

平成20年3月1日現在

学部等		区分	在学生数 (H19.5.1 現在)	日本学生支援機構			地方公共団体 その他	合計	在学生に 対する 百分率
				第一種 (無利子)	第二種 (有利子)	計			
学部	人 文 学 部		1,231	147	152	299	6	305	24.8%
	教 育 学 部		1,012	124	122	246	6	252	24.9%
	医 学 部		967	132	165	297	18	315	32.6%
	工 学 部		1,914	203	261	464	15	479	25.0%
	生 物 資 源 学 部		1,088	169	162	331	10	341	31.3%
大学院	人 文 社 会 学 研 究 科		56	6	2	8	0	8	14.3%
	教 育 学 研 究 科		80	10	4	14	1	15	18.8%
	医 学 系 研 究 科	修士	71	9	2	11	0	11	15.5%
		博士	159	12	1	13	0	13	8.2%
	工 学 研 究 科	前期	439	108	49	157	0	157	35.8%
		後期	56	8	1	9	0	9	16.1%
	生 物 資 源 学 研 究 科	前期	256	54	37	91	2	93	36.3%
		後期	65	12	1	13	0	13	20.0%
計			7,394	994	959	1,953	58	2,011	27.2%
特別支援教育特別専攻科			15	0	0	0	0	0	0.0%

●平成20年度 奨学生数

平成21年3月1日現在

学部等		区分	在学生数 (H20.5.1 現在)	日本学生支援機構			地方公共団体 その他	合計	在学生に 対する 百分率
				第一種 (無利子)	第二種 (有利子)	計			
学部	人 文 学 部		1,242	148	188	336	6	342	27.5%
	教 育 学 部		976	129	133	262	8	270	27.7%
	医 学 部		977	137	183	320	71	391	40.0%
	工 学 部		1,921	203	316	519	9	528	27.5%
	生 物 資 源 学 部		1,114	164	198	362	13	375	33.7%
大学院	人 文 社 会 学 研 究 科		60	3	2	5	0	5	8.3%
	教 育 学 研 究 科		80	8	5	13	1	14	17.5%
	医 学 系 研 究 科	修士	79	16	5	21	0	21	26.6%
		博士	178	10	1	11	0	11	6.2%
	工 学 研 究 科	前期	422	105	68	173	1	174	41.2%
		後期	57	8	0	8	0	8	14.0%
	生 物 資 源 学 研 究 科	前期	231	57	38	95	3	98	42.4%
		後期	67	13	1	14	0	14	20.9%
計			7,404	1,001	1,138	2,139	112	2,251	30.4%
特別支援教育特別専攻科			17	0	0	0	0	0	0.0%

●平成21年度 奨学生数

平成22年3月1日現在

学部等			区分	在学生数 (H21.5.1 現在)	日本学生支援機構			地方公共団体 その他	合計	在学生に 対する 百分率
					第一種 (無利子)	第二種 (有利子)	計			
学部	人 文 学 部		1,240	155	228	383	7	390	31.5%	
	教 育 学 部		947	150	155	305	12	317	33.5%	
	医 学 部		992	139	198	337	148	485	48.9%	
	工 学 部		1,903	201	343	544	13	557	29.3%	
	生 物 資 源 学 部		1,118	168	208	376	11	387	34.6%	
大学院	人 文 社 会 学 研 究 科		58	4	3	7	0	7	12.1%	
	教 育 学 研 究 科		58	8	2	10	1	11	19.0%	
	医 学 系 研 究 科	修士	75	14	2	16	0	16	21.3%	
		博士	196	12	2	14	0	14	7.1%	
	工 学 研 究 科	前期	471	135	59	194	1	195	41.4%	
		後期	58	11	0	11	0	11	19.0%	
	生 物 資 源 学 研 究 科	前期	228	65	24	89	3	92	40.4%	
		後期	60	11	0	11	0	11	18.3%	
	地 域 イ ノ ベー シ ョ ン 学 研 究 科	前期	13	4	2	6	0	6	46.2%	
		後期	6	0	0	0	0	0	0.0%	
計			7,423	1,077	1,226	2,303	196	2,499	33.7%	
特別支援教育特別専攻科			10	1	0	1	0	1	10.0%	

●平成22年度 奨学生数

平成23年3月1日現在

学部等			区分	在学生数 (H22.5.1 現在)	日本学生支援機構			地方公共団体 その他	合計	在学生に 対する 百分率
					第一種 (無利子)	第二種 (有利子)	計			
学部	人 文 学 部		1,249	163	243	406	8	414	33.1%	
	教 育 学 部		920	139	160	299	8	307	33.4%	
	医 学 部		1,019	131	190	321	276	597	58.6%	
	工 学 部		1,873	200	332	532	11	543	29.0%	
	生 物 資 源 学 部		1,106	149	192	341	9	350	31.6%	
大学院	人文社会科学 研究科		44	4	2	6	0	6	13.6%	
	教 育 学 研 究 科		67	11	0	11	0	11	16.4%	
	医 学 系 研 究 科	修士	66	9	2	11	0	11	16.7%	
		博士	196	11	3	14	1	15	7.7%	
	工 学 研 究 科	前期	498	131	66	197	0	197	39.6%	
		後期	58	8	0	8	0	8	13.8%	
	生物資源学 研究科	前期	233	69	20	89	3	92	39.5%	
		後期	55	7	0	7	0	7	12.7%	
	地域イノベーション学 研究科	前期	24	9	4	13	0	13	54.2%	
		後期	12	1	0	1	0	1	8.3%	
計			7,420	1,042	1,214	2,256	316	2,572	34.7%	
特別支援教育特別専攻科			6	0	0	0	0	0	0.0%	

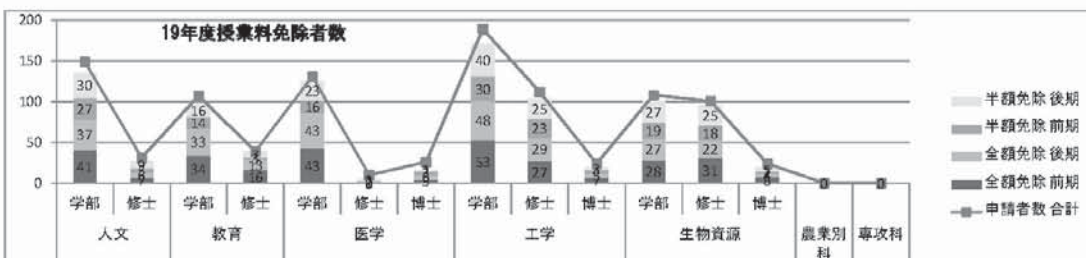
平成19年～22年度 入学料・授業料免除者数(学部・研究科別)

【19年度】

入学料免除			
研究科名		申請者数	全額免除
人文	修士	7	1
教育	修士	6	1
医学	修士	4	0
	博士	2	0
工学	博士前期	24	5
	博士後期	4	2

研究科名		申請者数	全額免除
生物資源	博士前期	18	7
	博士後期	0	0
専攻科		0	0
合 計		85	16

授業料免除		申請者数			全額免除		半額免除		免除者計	
学部・研究科名		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	75	74	149	41	37	27	30	68	67
	修士	16	15	31	7	6	5	9	12	15
教育	学部	54	53	107	34	33	14	16	48	49
	修士	19	20	39	18	13	3	7	19	20
医学	学部	64	67	131	43	43	16	23	59	66
	修士	5	5	10	0	1	2	2	2	3
	博士	16	10	26	5	6	3	2	8	8
工学	学部	96	93	189	53	48	30	40	83	88
	博士前期	54	58	112	27	29	23	25	50	54
	博士後期	14	10	24	7	5	4	3	11	8
生物資源	学部	49	59	108	28	27	19	27	47	54
	博士前期	53	48	101	31	22	18	25	49	47
	博士後期	14	10	24	8	4	2	5	10	9
専攻科		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		529	522	1,051	300	274	166	214	466	488

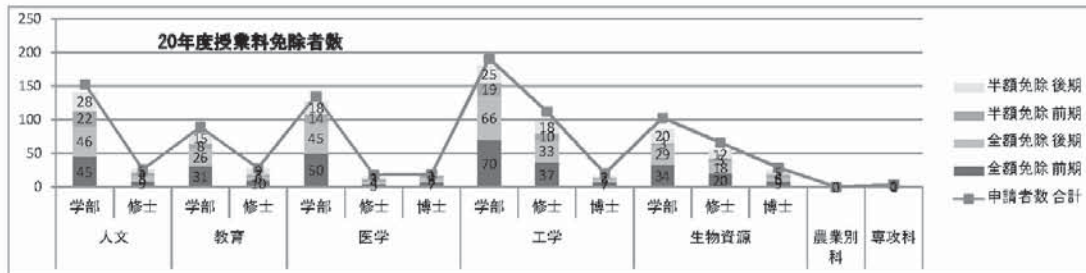


【20年度】

入学料免除			
研究科名		申請者数	全額免除
人文	修士	5	1
教育	修士	4	0
医学	修士	2	2
	博士	2	1
工学	博士前期	18	6
	博士後期	0	0

研究科名		申請者数	全額免除
生物資源	博士前期	9	3
	博士後期	1	0
専攻科		0	0
合 計		42	14

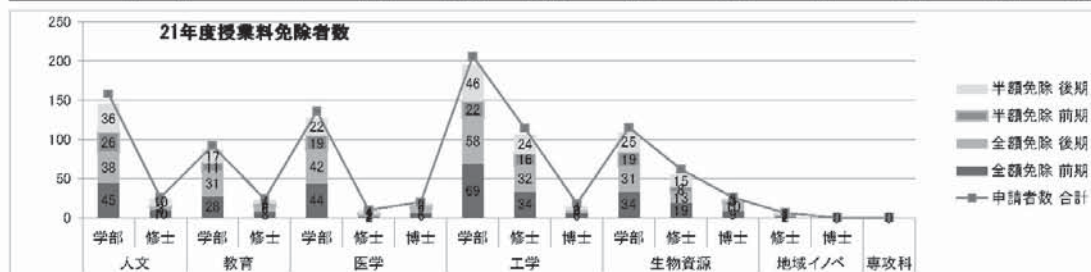
授業料免除		申請者数			全額免除		半額免除		免除者計	
学部・研究科名		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	74	79	153	45	46	22	28	67	74
	修士	13	13	26	9	8	4	5	13	13
教育	学部	46	43	89	31	26	8	15	39	41
	修士	13	15	28	10	6	3	9	13	15
医学	学部	67	68	135	50	45	14	18	64	63
	修士	10	8	18	5	4	3	3	8	7
	博士	9	10	19	7	8	2	1	9	9
工学	学部	95	96	191	70	66	19	25	89	91
	博士前期	57	55	112	37	33	10	18	47	51
	博士後期	13	7	20	7	5	2	2	9	7
生物資源	学部	52	51	103	34	29	3	20	37	49
	博士前期	32	34	66	20	18	5	12	25	30
	博士後期	17	12	29	9	6	4	5	13	11
専攻科		2	2	4	1	0	1	1	2	1
合 計		500	493	993	335	300	100	162	435	462



【21年度】

入学科免除						
研究科名			研究科名			
	申請者数	全額免除		申請者数	全額免除	
人文	修士	7	0	博士前期	15	5
教育	修士	4	2	博士後期	0	0
医学	修士	3	0	博士前期	2	0
	博士	3	0	博士後期	0	0
工学	博士前期	18	7	専攻科	0	0
	博士後期	0	0	合 計	52	14

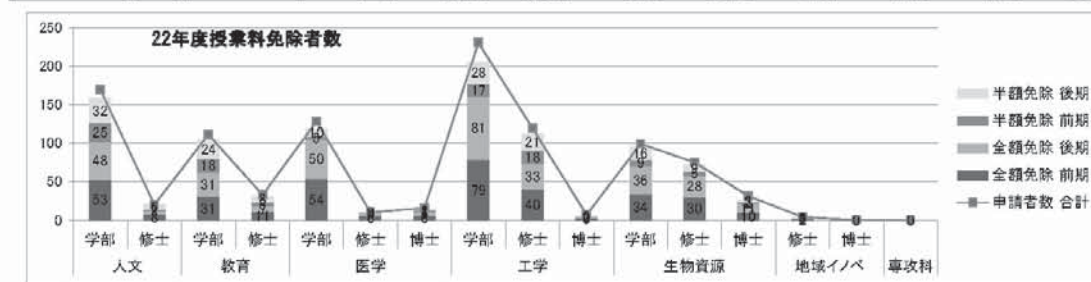
授業料免除										
学部・研究科名		申請者数			全額免除		半額免除		免除者計	
		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	83	75	158	45	38	26	36	71	74
	修士	13	13	26	10	3	2	10	12	13
教育	学部	43	49	92	28	31	11	17	39	48
	修士	13	11	24	8	6	4	4	12	10
医学	学部	69	67	136	44	42	19	22	63	64
	修士	5	5	10	2	1	2	4	4	5
	博士	11	9	20	6	7	3	2	9	9
工学	学部	98	108	206	69	58	22	48	91	104
	博士前期	57	57	114	34	32	16	24	50	56
	博士後期	9	9	18	6	4	0	4	6	8
生物資源	学部	57	58	115	34	31	19	25	53	56
	博士前期	33	29	62	19	13	8	15	27	28
	博士後期	13	13	26	9	10	3	3	12	13
地域イノベ	博士前期	3	3	6	2	1	1	2	3	3
	博士後期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専攻科		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		507	506	1,013	316	277	136	214	452	491



【22年度】

入学科免除							
研究科名			研究科名				
	申請者数	全額免除		申請者数	全額免除		
人文	修士	3	0	生物資源	博士前期	13	8
教育	修士	10	0		博士後期	0	0
医学	修士	3	3	地域イノベ	博士前期	0	0
	博士	0	0		博士後期	0	0
工学	博士前期	24	6	専攻科		0	0
	博士後期	0	0	合 計	53	17	

授業料免除										
学部・研究科名		申請者数			全額免除		半額免除		免除者計	
		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	84	85	169	53	48	25	32	78	80
	修士	10	10	20	8	4	2	6	10	10
教育	学部	56	55	111	31	31	18	24	49	55
	修士	18	15	33	11	7	5	8	16	15
医学	学部	64	64	128	54	50	5	10	59	60
	修士	6	4	10	6	4	0	0	6	4
	博士	9	7	16	6	5	2	1	8	6
工学	学部	112	118	230	79	81	17	28	96	109
	博士前期	62	57	119	40	33	18	21	58	54
	博士後期	5	2	7	3	2	0	0	3	2
生物資源	学部	46	53	99	34	36	9	16	43	52
	博士前期	36	39	75	30	28	5	9	35	37
	博士後期	16	15	31	10	11	2	3	12	14
地域イノベ	博士前期	2	2	4	2	1	0	1	2	2
	博士後期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専攻科		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		526	526	1,052	367	341	108	159	475	500



平成19年度～平成22年度 学生寄宿舍 入寮許可状況報告

●男子学生寄宿舍（定員:218名 H21年度より109名）

	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成19年度	162	60	60	
平成20年度	147	61	61	
平成21年度 (H22.4 入寮)	若干名	3	3	改修工事のため4月募集せず
平成22年度	39	47	39	

●女子学生寄宿舍（定員:66名）

	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成19年度	41	35	35	
平成20年度	36	41	35	
平成21年度	39	41	36	
平成22年度	29	39	28	

●国際女子学生寄宿舍（定員:日本人学生50名 留学生25名）

		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成19年度	日本人学生	36	34	34	
	留学生	8	4	4	
平成20年度	日本人学生	17	17	17	
	留学生	12	10	10	
平成21年度	日本人学生	29	26	26	
	留学生	13	13	13	
平成22年度	日本人学生	24	22	22	
	留学生	16	15	15	

学生教育研究災害傷害保険

●平成19年度

学部・研究科	入学者数	加入者数	加入率
人文学部	317	140	44%
教育学部	246	143	58%
医学部	194	105	54%
工学部	460	241	52%
生物資源学部	267	139	52%
人文社会科学研究科	18	7	39%
教育学研究科	37	18	49%
医学系研究科			
（博士課程）	35	7	20%
（修士課程）	31	12	39%
工学研究科			
（博士後期課程）	20	5	25%
（博士前期課程）	196	84	43%
生物資源学研究科			
（博士後期課程）	17	8	47%
（博士前期課程）	119	51	43%
特別支援教育特別専攻科	15	14	93%
農業別科	0	0	0%
計	1,972	974	49%

学生教育研究賠償責任保険

●平成19年度

学部・研究科	入学者数	加入者数	加入率
人文学部	317	128	40%
教育学部	246	136	55%
医学部	194	92	47%
工学部	460	230	50%
生物資源学部	267	131	49%
人文社会科学研究科	18	6	33%
教育学研究科	37	17	46%
医学系研究科			
（博士課程）	35	6	17%
（修士課程）	31	11	35%
工学研究科			
（博士後期課程）	20	3	15%
（博士前期課程）	196	81	41%
生物資源学研究科			
（博士後期課程）	17	8	47%
（博士前期課程）	119	48	40%
特別支援教育特別専攻科	15	14	93%
農業別科	0	0	0%
計	1,972	911	46%

学生教育研究災害傷害保険

●平成20年度

学部・研究科	入学者数	加入者数	加入率
人文学部	327	179	55%
教育学部	214	138	64%
医学部	202	108	53%
工学部	465	267	57%
生物資源学部	285	159	56%
人文社会科学研究科	24	11	46%
教育学研究科	34	22	65%
医学系研究科			
（博士課程）	57	19	33%
（修士課程）	37	22	59%
工学研究科			
（博士後期課程）	12	4	33%
（博士前期課程）	221	114	52%
生物資源学研究科			
（博士後期課程）	19	13	68%
（博士前期課程）	107	64	60%
特別支援教育特別専攻科	17	15	88%
農業別科	2	2	100%
計	2,023	1,137	56%

学生教育研究賠償責任保険

●平成20年度

学部・研究科	入学者数	加入者数	加入率
人文学部	327	159	49%
教育学部	214	132	62%
医学部	202	101	50%
工学部	465	246	53%
生物資源学部	285	148	52%
人文社会科学研究科	24	9	38%
教育学研究科	34	20	59%
医学系研究科			
（博士課程）	57	19	33%
（修士課程）	37	20	54%
工学研究科			
（博士後期課程）	12	3	25%
（博士前期課程）	221	108	49%
生物資源学研究科			
（博士後期課程）	19	10	53%
（博士前期課程）	107	59	55%
特別支援教育特別専攻科	17	15	88%
農業別科	2	2	100%
計	2,023	1,051	52%

学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険

●平成21年度

学部・研究科	入学者数	入学者数	加入率
人文学部	312	230	74%
教育学部	221	203	92%
医学部	213	163	77%
工学部	443	312	70%
生物資源学部	281	192	68%
人文社会科学研究科	23	10	43%
教育学研究科	18	11	61%
医学系研究科			
（博士課程）	34	18	53%
（修士課程）	32	18	56%
工学研究科			
（博士後期課程）	12	6	50%
（博士前期課程）	243	151	62%
生物資源学研究科			
（博士後期課程）	11	8	73%
（博士前期課程）	108	87	81%
地域イノベーション学研究科			
（博士後期課程）	6	3	50%
（博士前期課程）	13	7	54%
特別支援教育特別専攻科	10	9	90%
計	1,980	1,428	72%

学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険

●平成22年度

学部・研究科	入学者数	入学者数	加入率
人文学部	308	212	69%
教育学部	218	200	92%
医学部	220	175	80%
工学部	440	286	65%
生物資源学部	273	176	64%
人文社会科学研究科	13	7	54%
教育学研究科	46	24	52%
医学系研究科			
（博士課程）	36	16	44%
（修士課程）	23	10	43%
工学研究科			
（博士後期課程）	12	4	33%
（博士前期課程）	246	147	60%
生物資源学研究科			
（博士後期課程）	5	4	80%
（博士前期課程）	113	95	84%
地域イノベーション学研究科			
（博士後期課程）	6	2	33%
（博士前期課程）	12	5	42%
特別支援教育特別専攻科	6	5	83%
計	1,977	1,368	69%

●クラブ・サークル一覧(体育系・全学)

	クラブ名	2007年度			2008年度			2009年度			2010年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	陸上競技部	40	9	49	33	6	39	43	6	49	40	6	46
2	水泳部	18	11	29	23	13	36	20	15	35	23	14	37
3	硬式野球部	35	8	43	42	6	48	55	8	63	48	7	55
4	準硬式野球部	22	7	29	20	6	26	21	6	27	22	3	25
5	サッカー部	26	0	26	25	2	27	26	3	29	19	0	19
6	ラグビー部	31	4	35	34	5	39	22	8	30	25	6	31
7	アメリカンフットボール部	45	8	53	45	7	52	43	10	53	33	11	44
8	馬術部	8	5	13	7	5	12	4	6	10	1	6	7
9	硬式テニス部	28	9	37	31	11	42	26	8	34	19	8	27
10	ソフトテニス部	41	11	52	14	6	20	23	12	35	27	13	40
11	ハンドボール部	19	12	31	16	5	21	15	1	16	16	10	26
12	バレーボール部	11	9	20	10	11	21	14	12	26	20	13	33
13	バスケットボール部	19	20	39	19	19	38	25	19	44	23	18	41
14	バドミントン部	32	13	45	24	9	33	25	9	34	18	3	21
15	卓球部	32	6	38	28	6	34	23	5	28	23	6	29
16	体操競技部	7	6	13	14	3	17	10	2	12	13	3	16
17	ダンス部	20	18	38	17	16	33	12	18	30	19	13	32
18	柔道部	9	2	11	9	4	13	11	4	15	9	4	13
19	剣道部	25	6	31	26	8	34	28	6	34	25	7	32
20	空手道部	12	4	16	13	5	18	5	5	10	6	4	10
21	少林寺拳法部	15	12	27	12	13	25	10	13	23	16	9	25
22	日本拳法部	8	0	8	6	0	6	6	0	6	3	0	3
23	合気道部	22	16	38	11	9	20	8	11	19	11	14	25
24	ワンダーフォーゲル部	11	4	15	7	4	11	10	6	16	10	6	16
25	ゴルフ部	21	1	22	24	2	26	17	2	19	17	1	18
26	弓道部	28	16	44	30	15	45	24	17	41	25	12	37
27	アーチェリー部	13	7	20	23	9	32	27	9	36	30	9	39
28	ヨット部	4	6	10	8	3	11	5	3	8	5	1	6
29	ボート部	5	0	5	6	0	6	6	0	6	4	0	4
30	カッター部	12	2	14	13	5	18	15	7	22	16	7	23
31	自動車部	18	2	20	24	2	26	21	2	23	16	1	17
32	トライアスロン部	13	3	16	14	4	18	11	4	15	14	2	16
33	応援団	36	34	70	38	37	75	30	31	61	28	29	57
34	ビーンズ(硬式テニス)	26	24	50	28	20	48	31	17	48	31	24	55
35	ブルーマリン(スキンタ化`ンク`)	27	21	48	26	14	40	24	11	35	25	13	38
36	バスケットボール同好会	19	14	33	29	17	46	22	13	35	23	17	40
37	ダイビングサークル	11	6	17	15	4	19	19	14	33	33	20	53
38	ボウリング部	10	0	10	6	0	6	6	0	6	7	0	7
39	まいのり(テニス,バドミントン)	13	2	15	14	3	17	13	8	21	21	8	29
40	ラインブレイク(釣り)	32	9	41	33	11	44	25	7	32	22	9	31
41	極津	0	29	29	0	33	33	0	44	44	0	38	38
42	WILL(テニス)	8	2	10	14	11	25	18	14	32	20	12	32
43	球技サークル~MARIMO~	27	15	42	21	18	39	21	14	35	37	9	46
44	合気研究会	2	0	2	3	0	3	3	1	4	2	4	6
45	ブルーロゼット(テニス)	25	10	35	29	7	36	31	20	51	28	1	29

	クラブ名	2007年度			2008年度			2009年度			2010年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
46	ハンドボールサークル (FTH)	16	4	20	6	3	9	6	5	11	12	6	18
47	BiSuKe (ビ`スカ)(バスケット)				23	19	42	20	7	27	17	8	25
48	Wild Geese(アウト`ア)				18	14	32	19	10	29	34	22	56
49	サイクリングサークル	30	6	36	34	4	38	36	5	41	25	4	29
50	ジャグリアーノ							8	2	10	26	13	39
51	Links (ソフトテニス)										14	0	14
52	狩る!マッチョ(サッカー)	34	8	42	32	5	37	40	8	48	26	3	29
53	Hoop (バスケ)	18	5	23	21	6	27	27	9	36	24	7	31
54	NEXT (ストリートダンス)										22	19	41
55	天狗う	35	12	47	39	19	58	29	18	47	28	22	50
56	i-space	17	13	30	14	9	23	25	17	42			
57	FCバルデラマ	21	3	24	25	8	33	9	6	15	15	10	25
58	ゲシュ	16	2	18									
59	ホームスチール	19	4	23	23	4	27	18	1	19	20	2	22
60	ポケット	4	1	5									
61	ステビア	3	1	4									
62	WHITE CROSS	18	0	18	16	2	18	20	3	23	23	2	25
63	ブラジリアン柔術	11	3	14									
64	OZ	19	0	19									
65	CRAB Boarder's Life	10	3	13	25	10	35	25	3	28	20	10	30
66	相撲部	10	2	12									
67	ローバースカウトサークル	2	1	3	3	1	4						
68	ひらめG	9	3	12	9	3	12	30	20	50	16	2	18
69	PES (ペス)	11	5	16	5	5	10						
70	りんりん	14	4	18									
71	ぶれいぽおーいず	7	0	7									
72	ハンドボールサークル	16	4	20									
73	ビリヤードサークル	4	0	4									
74	3×3×3 フットサル	13	3	16	23	10	33						
75	月蹴				14	1	15	12	1	13			
76	航空部				3	3	6	2	3	5			
77	G2				4	0	4						
78	HandBallサークル				6	5	11						
79	颯FREEDOM				8	3	11	11	9	20			
80	バレーボールサークル				19	29	48	25	25	50	23	20	43
81	じゃいあんち (ゴルフ)				8	0	8						
82	ウェルカムオールスターズ				5	5	10	5	7	12	8	10	18
83	イル・バイオ				23	0	23	31	1	32	29	1	30
84	RAIDZ				10	2	12	10	2	12	12	0	12
85	New Wave							6	1	7			
86	ガッツ							4	0	4			
87	ミタバ							15	0	15	16	0	16
88	チェストパス							7	0	7	5	0	5
89	Gamain							24	7	31			
90	ブサメン										8	0	8

●クラブ・サークル一覧(体育系・医学部)

	クラブ名	2007年度			2008年度			2009年度			2010年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	山岳部	10	7	17	13	11	24	5	12	17	14	10	24
2	競技スキー部	16	8	24	19	10	29	17	9	26	19	12	31
3	剣道部	5	5	10	11	10	21	16	12	28	20	16	36
4	バレーボール部	15	30	45	16	27	43				9	13	22
5	バドミントン部	20	19	39	16	20	36	17	22	39	25	23	48
6	バスケットボール部	25	25	50	28	26	54	24	29	53	20	25	45
7	硬式テニス部	28	25	53	23	27	50	35	30	65	42	29	71
8	ソフトテニス部	20	15	35	19	19	38	18	23	41	13	19	32
9	ハンドボール部	13	6	19	14	7	21	13	8	21	15	13	28
10	ラグビー部	27	16	43	24	19	43	27	17	44	30	19	49
11	ゴルフ部	24	19	43	24	16	40	26	15	41	29	22	51
12	陸上競技部	24	23	47	23	24	47	23	20	43	24	26	50
13	野球部	18	8	26	18	7	25	15	8	23	20	9	29
14	サッカー部	33	12	45	32	15	47	32	15	47	37	11	48
15	弓道部	19	23	42	21	23	44	23	19	42	20	23	43
16	卓球部	20	10	30	26	9	35	25	12	37	25	18	43
17	空手道部							4	0	4	9	2	11

●クラブ・サークル一覧(文化系・全学)

	クラブ名	2007年度			2008年度			2009年度			2010年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	管弦楽団	29	48	77	26	45	71	22	48	70	35	51	86
2	吹奏楽団	31	38	69	29	44	73	18	36	54	15	32	47
3	ギターマンドリン	17	24	41	26	33	59	22	23	45	18	21	39
4	ギター	34	16	50	27	13	40	21	8	29	23	12	35
5	邦楽部	1	11	12	2	15	17	5	10	15	5	14	19
6	室内楽団	7	11	18	4	14	18	6	14	20	7	14	21
7	写真部	12	14	26	14	5	19	19	12	31	16	9	25
8	合唱団	19	21	40	21	20	41	19	26	45	28	19	47
9	美術部	8	17	25	2	15	17	12	24	36	9	26	35
10	漫画倶楽部	36	11	47	23	4	27	16	7	23	15	0	15
11	E.S.S	32	16	48	37	22	59	7	15	22	18	27	45
12	軽音楽部	47	21	68	56	22	78	34	18	52	40	13	53
13	めばえサークル	2	9	11	3	12	15	1	6	7	2	9	11
14	人形劇団つくし	2	8	10	0	7	7	1	8	9	1	7	8
15	ピアノ同好会	9	10	19	9	10	19	7	6	13	12	7	19
16	表千家茶道部	2	15	17	2	19	21	1	17	18	1	11	12
17	裏千家茶道部	1	14	15	3	13	16	4	20	24	5	25	30
18	SF研究会	13	0	13	19	2	21	16	2	18	13	2	15
19	リカゲル(創作活動)	13	23	36	19	27	46	29	45	74	29	45	74
20	囲碁・将棋部	17	0	17	13	0	13	16	0	16	14	0	14
21	HELLO FM	15	9	24	17	12	29	15	14	29	14	16	30
22	小笠原流華道部	3	10	13	3	12	15	4	14	18	3	8	11
23	エレクトーンサークル23-two・three-	4	5	9	4	3	7	3	4	7	6	5	11
24	万葉旅行の会	12	4	16	10	8	18	8	5	13	9	5	14
25	ブラスバンドサークルBB研究会	6	9	15	7	9	16	11	7	18	13	6	19
26	かめっぶり	28	20	48	15	10	25	7	7	14	11	5	16
27	心太(書道)	2	8	10	3	6	9	5	4	9	8	3	11
28	劇団クレスト	2	3	5	6	10	16	8	9	17	10	8	18
29	卓上文化研究会	21	0	21	19	0	19	13	1	14	10	1	11
30	ねこサークル	1	9	10	9	15	24	19	20	39	20	29	49
31	落語研究会	9	2	11	4	1	5	4	1	5	3	1	4
32	Blue Planet(本のリユース)	13	4	17	13	6	19	12	6	18	8	2	10
33	Transfer(編入生サート)				12	3	15	17	7	24	6	4	10
34	天文サークルSOLA							17	6	23	19	3	22
35	BBS(児童ボランティア)							12	23	35	17	26	43
36	アンサンブルサークル「ぶるさあ」							1	5	6	4	6	10
37	聖書研究会							1	2	3	2	3	5
38	Pioneer(アパ°ラ)				6	5	11	16	14	30	23	33	56
39	みえ・シネマアーカイブ	8	5	13	11	6	17	10	4	14	11	3	14
40	ジョイア(外国人の子供への学習支援)	2	8	10	2	10	12	1	14	15	1	14	15
41	三重大学ベンチャーサークル				3	1	4	13	5	18			
42	てらこや				5	2	7	6	14	20	7	25	32
43	まなびや	12	29	41									
44	ねばぎぶ	9	3	12	5	1	6						
45	Wild Geese	13	7	20									

●クラブ・サークル一覧（文化系・全学）

	クラブ名	2007年度			2008年度			2009年度			2010年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
46	ヴァンパイア	11	7	18	8	11	19	12	12	24	9	11	20
47	つくしんぼ	8	44	52	6	46	52				6	20	26
48	HOMES	3	5	8	3	3	6						
49	アミティエ	11	0	11									
50	グルメサークル	8	4	12	14	5	19						
51	mie-bb	6	0	6									
52	SCRATCH CREW	7	1	8									
53	古今博物研究会	1	5	6	1	7	8						
54	中国語を学び合うサークル	5	7	12									
55	MAFF	9	5	14	9	13	22	4	8	12	6	11	17
56	South Side	2	1	3									
57	ドットジェイピー三重	3	4	7	2	2	4	3	0	3	0	1	1
58	三重地区中国人留学生学友会	36	12	48									
59	おえかきサークル クレヨン	7	0	7									
60	たいよう	0	5	5									
61	スケッチフィルム	8	0	8									
62	ロボコンクラブ	7	0	7	18	0	18	14	0	14	10	0	10
63	SOY団	9	0	9	5	0	5						
64	フリまちゅ				3	2	5						
65	ユネスコクラブ				2	6	8	6	17	23	4	14	18
66	みかん				2	0	2						
67	書道部				2	3	5						
68	ALBA STYLE編集室				0	2	2	0	2	2	0	2	2
69	続・よんちゃんず							0	12	12			
70	橋梁（ちゃおりゃん）							2	3	5			
71	Global Eyes（国際交流イベント等）										4	6	10
72	クッキングアシスト										9	2	11

●クラブ・サークル一覧（文化系・医学部）

	クラブ名	2007年度			2008年度			2009年度			2010年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	美術部	2	4	6	1	4	5	3	5	8	2	5	7
2	東洋医学研究会	24	26	50	24	22	46	15	18	33	16	18	34
3	軽音楽部	22	22	44	25	21	46	25	24	49	25	21	46
4	医療 学生研究会	41	31	72	23	19	42	41	39	80	20	23	43
5	sessionサークルBAG				6	2	8	15	9	24	22	15	37
6	ロック部	11	2	13	12	5	17	8	2	10	8	6	14
7	きゅうめい部							8	12	20	10	15	25
8	こどもと一緒に小児医療を考える会	3	1	4	6	3	9	7	4	11	8	5	13
9	国際保健医療研究会	4	4	8	7	8	15						
10	三重大学医学インターネット研究会	10	12	22	4	0	4	5	0	5	6	0	6
11	スキルズラボ学生インストラクターズ										4	10	14

●東海地区国立大学体育大会優勝校一覧(2001年～2011年)

男女別 種目	回 当 番 大 学 年	岐 阜 大 学 第 五 十 回 二 〇 〇 一	名 古 屋 工 業 大 学 第 五 二 回 二 〇 〇 二	豊 橋 技 術 科 学 大 学 第 五 三 回 二 〇 〇 三	愛 知 教 育 大 学 第 五 四 回 二 〇 〇 四	静 岡 大 学 第 五 五 回 二 〇 〇 五	三 重 大 学 第 五 六 回 二 〇 〇 六	名 古 屋 大 学 第 五 七 回 二 〇 〇 七	岐 阜 大 学 第 五 八 回 二 〇 〇 八	豊 橋 技 術 科 学 大 学 第 五 九 回 二 〇 〇 九	静 岡 大 学 第 六 十 回 二 〇 一 〇	愛 知 教 育 大 学 第 六 十 回 二 〇 一 一
		岐 大	岐 大	岐 大	岐 大	愛 教 大	岐 大	愛 教 大	静 大	愛 教 大	静 大	愛 教 大
陸上競技	男	岐大	岐大	岐大	岐大	愛教大	岐大	愛教大	静大	愛教大	静大	愛教大
	女	愛教大	愛教大	愛教大	静大	愛教大	愛教大	愛教大	愛教大	愛教大	愛教大	愛教大
水泳	男	名大	名大	名大	名大	名大	名大	名大	名大	名大	名大	名大
	女	岐大	岐大	岐大	岐大	岐大	岐大	岐大	愛教大	三重大	愛教大	三重大
硬式野球		雨天中止	静大	静大	静大	三重大	名工大	雨天OP	静大	静大	岐大 名工大	岐大
準硬式野球		三重大	雨天中止	静大	三重大	三重大	名工大	愛教大	名大	愛教大	雨天中止	雨天中止
硬式テニス	男	静大	名大	オープン	名大	名大	名大	三重大	豊技大	浜医大	名大	静大
	女	浜医大 名大	名大	オープン	浜医大		名大	名大	静大	静大	三重大	静大
ソフトテニス	男	名大	静大	オープン	静大	静大	愛教大	静大	名大	三重大	雨天中止	愛教大
	女	名大	三重大	愛教大	愛教大	愛教大	オープン	三重大	静大	愛教大	雨天中止	三重大
バスケットボール	男	名工大	岐大	岐大	岐大	岐大	岐大	静大	岐大	三重大	岐大	岐大
	女	静大	静大	静大	静大	愛教大	静大	静大	静大	静大	静大	愛教大
バレーボール	男	名大	愛教大	静大	静大	愛教大	愛教大	岐大	岐大	岐大	静大	岐大
	女	愛教大	岐大	愛教大	岐大	愛教大	愛教大	静大	愛教大	岐大	愛教大	愛教大
卓球	男	名大	名大	名大	岐大	岐大	岐大	岐大	三重大	名大	静大	静大
	女	愛教大	愛教大	岐大	静大	三重大	三重大	三重大	三重大	名大	名大	岐大
バドミントン	男	名大	岐大	名大	岐大	名大	岐大	岐大	静大	岐大	三重大	静大
	女	愛教大	三重大	三重大	静大	名大	愛教大	愛教大	名大	静大	静大	静大
サッカー		静大	愛教大	静大	名大	静大	名大	三重大	愛教大	浜医大	静大	愛教大
ハンドボール	男	名大	名大	愛教大	岐大	愛教大	愛教大	愛教大	愛教大	愛教大	名大	名大
	女		オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン
柔道	男	岐大	名大	岐大	岐大	岐大	岐大	名大	名大	岐大	名大	名大
	女						オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン
剣道	男	岐大	名大	名大	名大	名大	岐大	岐大	岐大	岐大	岐大	岐大
	女	岐大	岐大	愛教大	愛教大	静大	名大	岐大	愛教大	愛教大	愛教大	愛教大
空手道	男	名大	名大	静大	静大	浜医大	浜医大	浜医大	静大	名大	浜医大	静大
	女	浜医大	浜医大	浜医大	静大	浜医大	浜医大	浜医大	浜医大	浜医大	浜医大	名大
弓道	男	静大	静大	静大	静大	岐大	静大	名工大	名工大	三重大	静大	三重大
	女	岐大	三重大	岐大	三重大	三重大	三重大	三重大	三重大	三重大	三重大	静大
体操	男	静大	岐大	オープン	岐大	岐大	岐大	岐大	岐大	オープン	岐大	オープン
	女	静大	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン	オープン
馬術		三重大	静大	名大	岐大	三重大	愛教大	静大	名工大	岐大	名大	名大
アーチェリー	男	岐大	名大	岐大	三重大	名大	静大	三重大	愛教大	名大	名大	名大
	女		岐大	岐大	愛教大	名大	オープン	三重大	オープン	岐大	名大	オープン
少林寺拳法		名大	名大	名大	名大	名大	三重大	三重大	三重大	愛教大	静大	愛教大

総合優勝	男	名大	名大	名大	岐大	名大	名大	静大	静大	静大	静大	静大
	女	愛教大	静大	愛教大 岐大	静大	三重大	愛教大	愛教大	静大	愛教大	名大	静大

*第1回～第49回は省略

Ⅲ 学生なんでも相談室

平成23年度 学生なんでも相談室 活動報告

I. 平成23年度の来談者に関する統計

	新規相談受付						案内	Co.による 継続面接	その他の 継続対応	peer 対応	合計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計					
4月	5	16	2	1	2	26	163	25	27	51	292
5月	3	6	1	1	0	11	44	24	28	—	107
6月	3	7	3	4	2	19	49	48	30	—	146
7月	1	1	0	0	0	2	22	36	28	4	92
8月	1	2	1	0	2	6	21	14	12	—	53
9月	0	0	0	0	0	0	26	27	35	—	88
10月	3	2	1	0	0	6	33	26	27	1	93
11月	3	2	0	0	0	5	33	21	17	—	76
12月	3	6	0	0	0	9	31	30	30	—	100
1月	3	2	2	0	2	9	33	36	22	—	100
2月	5	1	1	0	0	7	26	32	36	—	101
3月	4	2	0	1	0	7	36	28	42	—	113
合計	34	47	11	7	8	107	517	347	334	56	1,361

※数字はいずれも延べ件数、延べ人数を示す。

※「新規相談受付」件数の「その他」は、心理テスト・箱庭療法体験、分類困難な相談等の総数を示す。

※「案内」は事務的な案内やガイダンス、および比較的軽微な相談等の総数を示す。

※「その他の継続対応」は、主にCo.による担当事例に関する面接室外のケースワーク活動等の総数を示す。

→「新規相談受付件数」について、昨年度と比較して、「心理相談」が大幅に増えて、「その他（心理テスト体験等）」が減った。

→「Co.による継続面接」件数については、例年と比較して減少した。

→「peer対応」件数は、昨年と比べて若干増加した。

II. ピアサポート活動の状況

CPSとの共同企画により、今年度以下のような相談活動を実施した（利用学生数は上述のとおり）。

①「新生活なんでも相談フェア」

（主に新入生を対象とした履修・生活相談窓口）

※4月中の月・水・金 12時～14時（履修登録（修正登録）締切日は延長）

②「夏に頑張る！君を応援フェア」

（前期試験・レポート対策相談、夏休みのボランティア情報紹介）

※7月4日～22日の間の水・木曜（各2時間ずつ）

③「後期デビュー★フェア ～秋らめない あなたへ～」

（後期履修・生活相談窓口、ボランティア情報紹介）

※10月中の火曜・木曜・金曜（各1～2時間ずつ）

→場所は、いずれも「ラーニングコモンズ」を利用。利用学生数は先述のとおり。

→相談活動を通じて、CPSメンバーにとっても、他団体（環境ISO学生委員会、人文学部自治会、生協学生委員会など）と連携を取る良い機会となった。

Ⅲ.その他(23年度事業計画に照らして)

◎相談業務

- ・学生の様々な相談への対応
- ・学生の保護者・教職員を対象としたコンサルテーション
- ・各部局(学部)との連携・協働の調整
- ・各種心理テスト・箱庭療法体験 <随時>
- ・相談室スタッフと分室相談員による定期ミーティングの実施 <毎月>
- ・学内の各種カウンセラーとの情報交換会の実施 <2月>

→相談業務に関しては、上述のとおり。

→定期ミーティングでは、従来のスタッフに加えて、医学部分室担当カウンセラーが今年度より参加。12月度のミーティングでは、学部からもお一人ご参加いただいた。

→「各種カウンセラーとの情報交換会」については、3月中に実施できないか検討中。

◎相談室広報

- ・新入生に対する相談室PRカード、学生生活ガイドブックの配布 <4月>
- ・インターネット(ホームページ)の活用 <随時>
- ・ニュースレター等の季刊配布物の作成、配布 <10月>
- ・各部局(学部)の要請を受けた形での各種講演やFDの担当 <随時>

→新入生に対する配布物は4月に対応。来年度についても、PRカードは配布予定。

→「ニュースレター等季刊配布物」に関しては残念ながら準備することができなかった。

ただし、学生支援アンケート結果にもあるように、相談室のPRを学内向け、特に教職員に対して行うことは重要であると考え。インターネットの活用を含めて、今後も継続的に検討したい。

→「各種講演・FD」については、2月8日に医学部にて「ハラスメント対応」に関する講演を予定。

◎キャリアピアサポート活動支援

- ・ピアサポーターによる自主的な学生支援活動に対するサポート <随時>
(ex.新入生を対象とした相談窓口、修学支援デスク等)
- ・アカデミックフェアの運営に対する協力 <後期>

→前述のような「相談活動」については、共同企画として3回実施。

→アカデミックフェアについては、交流会の担当を指示。

◎授業の担当

- ・「こころのサポート」、「学生生活支援実践」(いずれも共通教育)の担当
- ・「学生生活と社会」(共通教育)における「ハラスメント」に関する回の担当

→いずれも滞りなく実施。

→「学生生活支援実践」における成果は、アカデミックフェア2012の中で発表予定。

平成19～22年度 学生なんでも相談室 活動報告

●平成19年度の来談者に関する統計

	新規相談受付						案内	Co.による 継続面接	その他の 継続対応	peer 対応	合計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計					
4月	4	0	1	0	1	6	179	27	13	76	301
5月	5	5	1	1	0	12	58	28	31	2	131
6月	3	5	1	0	3	12	40	41	43	5	141
7月	7	2	0	2	2	13	70	41	31	30	185
8月	3	4	0	2	1	10	41	30	23	0	104
9月	1	0	1	1	0	3	48	28	20	0	99
10月	6	3	1	1	1	12	54	41	35	1	143
11月	3	2	1	3	5	14	57	39	21	6	137
12月	6	0	1	4	4	15	27	30	32	6	110
1月	4	3	2	2	4	15	31	36	49	10	141
2月	2	1	1	0	0	4	26	33	42	—	105
3月	1	0	3	0	0	4	72	27	43	—	146
合計	45	25	13	16	21	120	703	401	383	136	1,743

●平成20年度の来談者に関する統計

	新規相談受付						案内	Co.による 継続面接	その他の 継続対応	peer 対応	合計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計					
4月	4	3	4	5	2	18	167	33	32	58	308
5月	4	2	2	2	7	17	71	42	29	5	164
6月	4	3	3	2	10	22	56	43	50	11	182
7月	7	8	1	1	10	27	71	53	68	9	228
8月	0	1	1	1	1	4	35	29	20	0	88
9月	4	1	2	1	2	10	50	38	47	1	146
10月	9	1	1	0	3	14	65	50	57	1	187
11月	3	0	0	1	1	5	29	46	41	7	128
12月	1	3	0	2	4	10	42	47	44	7	150
1月	4	0	1	0	2	7	53	25	26	12	123
2月	0	3	2	0	3	8	42	42	42	—	134
3月	3	0	2	4	0	9	75	29	34	—	147
合計	43	25	19	19	45	151	756	477	490	111	1,985

●平成21年度の来談者に関する統計

	新規相談受付						案内	Co.による 継続面接	その他の 継続対応	peer 対応	合計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計					
4月	1	3	2	3	7	16	138	47	29	25	255
5月	6	5	2	1	2	16	43	31	26	3	119
6月	5	8	2	3	0	18	54	46	39	6	163
7月	6	4	3	1	0	14	65	44	40	4	167
8月	0	1	2	1	0	4	15	17	13	0	49
9月	0	1	0	0	0	1	47	23	31	1	103
10月	1	7	1	1	2	12	51	42	41	5	151
11月	5	1	0	1	3	10	29	35	23	6	103
12月	2	4	0	0	0	6	22	40	21	2	91
1月	0	2	0	0	0	2	32	27	50	2	113
2月	3	0	1	0	1	5	29	25	32	—	91
3月	1	3	1	0	2	7	43	29	25	—	104
合計	30	39	14	11	17	111	568	406	370	54	1,509

●平成22年度の来談者に関する統計

	新規相談受付						案内	Co.による 継続面接	その他の 継続対応	peer 対応	合計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計					
4月	5	5	2	1	3	16	129	59	41	26	271
5月	2	1	1	0	3	7	42	39	34	3	125
6月	5	3	2	1	3	14	64	35	52	9	174
7月	3	3	2	4	0	12	42	39	36	3	132
8月	0	1	1	0	0	2	19	28	26	0	75
9月	2	1	3	0	4	10	28	32	24	0	94
10月	4	3	0	0	5	12	49	35	25	2	123
11月	1	0	1	0	3	5	47	40	25	0	117
12月	4	0	0	0	3	7	38	36	24	2	107
1月	3	2	1	1	0	7	26	34	30	1	98
2月	6	2	2	0	1	11	39	36	20	0	106
3月	1	3	4	0	0	8	31	41	44	0	124
合計	36	24	19	7	25	111	554	454	381	46	1,546

教員に対する学生相談・学生支援に関する意識調査の結果分析

学生総合支援センター（学生なんでも相談室） 鈴木英一郎
学生総合支援センター 川島一晃

学生総合支援センターでは、より効果的な学生支援企画策定のための基礎資料とするために、2011年12月に、本学に所属する全教員を対象とした学生相談や学生支援に関する意識調査を行った。本稿は、その調査結果を報告するものである。

方法

「学生相談・学生支援に関するアンケート」と題する質問紙を、全学学生委員会を通じて、各部局の教員へと配布し、回答を求めた。回収は、全学学生委員会の各部局の代表教員（または事務）に依頼をして、学生なんでも相談室宛に学内便により郵送してもらうこととした。

結果と考察

◆回答者とその内訳

有効回答者数 261名（配布数751名：回収率34.8%）

＊所属学部・研究科ごとの内訳

人文学部（文化）	25名	人文学部（法経）	21名	教育学部	45名
医学部	70名	工学部	14名	生物資源学部	80名
				未記入	6名

＊職階ごとの内訳

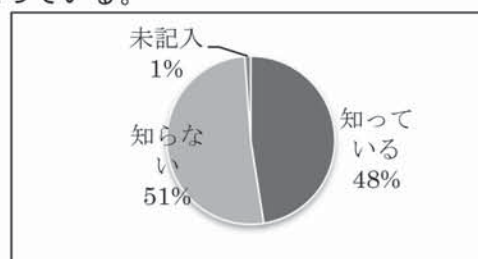
教授	98名	准教授	83名	講師	18名	助教	47名	その他	5名
未記入	10名								

◆設問と回答分布（単位は人）

I. 学内の各種学生支援制度に関する認識

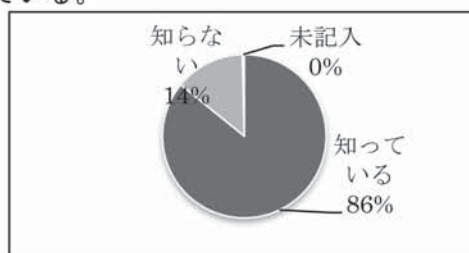
1. 「三重大学学生支援方針」を知っている。

知っている	124
知らない	134
未記入	3



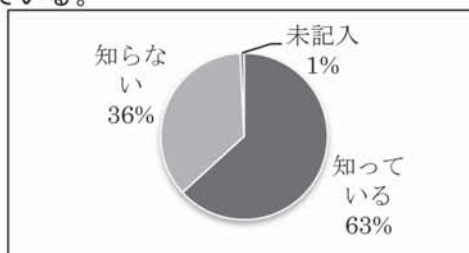
2. 「学生なんでも相談室」を知っている。

知っている	224
知らない	36
未記入	1



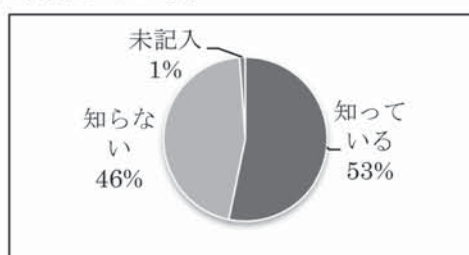
3. 「ピアサポーター制度」を知っている。

知っている	165
知らない	94
未記入	2



4. 「学生指導・支援担当教員制度」を知っている。

知っている	139
知らない	119
未記入	3



Ⅱ. 困難学生への対応経験

5. 学力不振・学力低下の学生の対応にあたったことがある。

ある	158
ない	102
未記入	1



6. 不登校の学生の対応にあたったことがある。

ある	149
ない	110
未記入	2



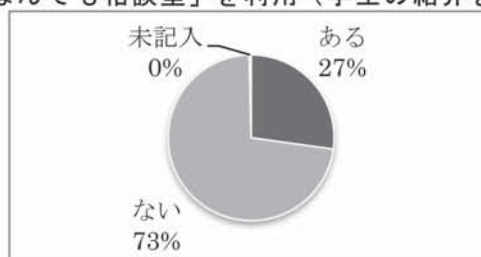
7. 「うつ病」など、精神疾患を持つ（または疑わしい）学生の対応にあたったことがある。

ある	168
ない	93
未記入	0



8. 学生に対応するに当たり、「学生なんでも相談室」を利用（学生の紹介を含む）したことがある。

ある	71
ない	189
未記入	1



9. 学生対応において経験したことの立場（複数回答可）

授業担当者	【 199 名／261 名 】	担任	【 141 名／261 名 】
ゼミ・研究等指導担当教員	【 199 名／261 名 】	講座・コース・学科・専攻レベルの長	【 64 名／261 名 】
学部・各部局レベルの長	【 8 名／261 名 】	所属部局の学務関係委員等	【 58 名／261 名 】
各種課外活動の顧問	【 38 名／261 名 】	学生対応をしたことがない	【 4 名／261 名 】
その他	【 14 名／261 名 】		

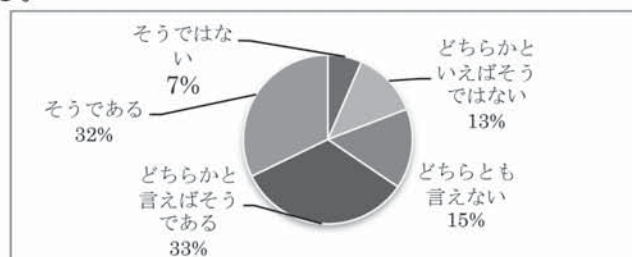
※実習指導担当者、臨床クラークシップ、ハラスメント相談員、顔見知り、同じ学科講座研究室、学年主任、個人的に来る学生への対応、等。

多くの教員が、学内にある様々な学生支援制度の存在を知っており、対応困難な学生の指導に当たった経験を持っているにもかかわらず、学生なんでも相談室を利用したことがある割合は、それほど多くないことが明らかとなった。

Ⅲ. 学生対応に関しての困り感

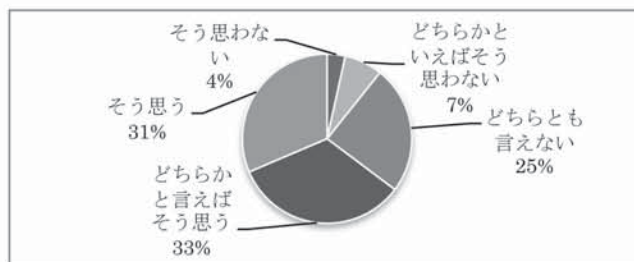
10. 学生に対応するに当たり、困った経験がある。

そうではない	17
どちらかといえばそうではない	33
どちらとも言えない	40
どちらかといえばそうである	87
そうである	84



11. 学生の対応は難しくなっていると感じる。

そう思わない	9
どちらかといえばそう思わない	19
どちらとも言えない	64
どちらかと言えばそう思う	87
そう思う	82

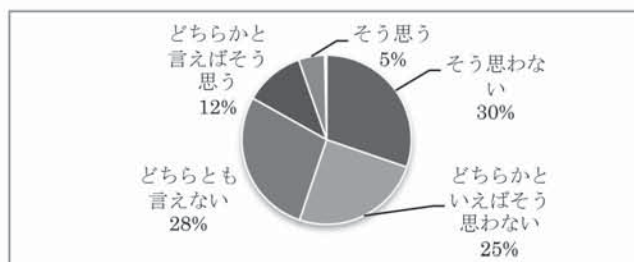


半数以上の教員が、学生の対応に困った経験を持っており、さらに以前と比べてそれが難しくなっていると感じていることが明らかとなった。

Ⅳ. 学生対応に関する意識

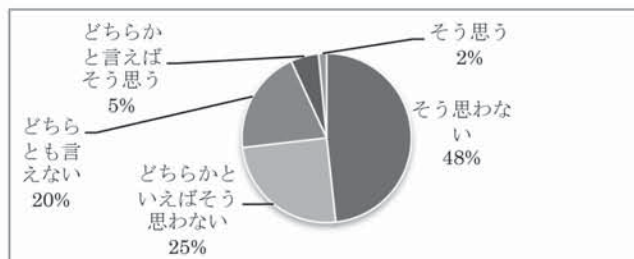
12. 学生の対応をするのは億劫である。

そう思わない	79
どちらかといえばそう思わない	65
どちらとも言えない	73
どちらかと言えばそう思う	30
そう思う	13
未回答	1



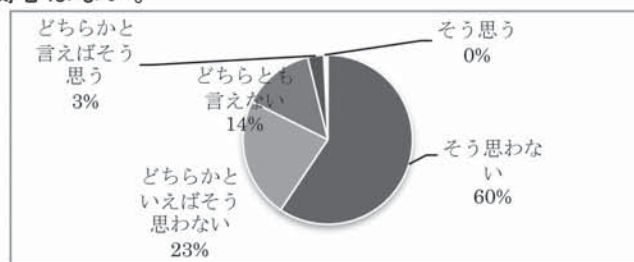
13. 学生の対応をするのは損である。

そう思わない	126
どちらかといえばそう思わない	65
どちらとも言えない	52
どちらかと言えばそう思う	14
そう思う	4



14. 担当（指導）学生の生活状況・修学状況に関心はない。

そう思わない	155
どちらかといえばそう思わない	60
どちらとも言えない	36
どちらかと言えばそう思う	8
そう思う	1
未回答	1

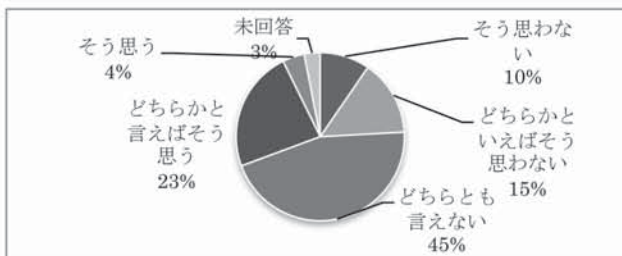


多くの教員が、学生対応を教員の職務として前向きに捉えていることが明らかとなった。

V. 学生対応に関するサポート体制

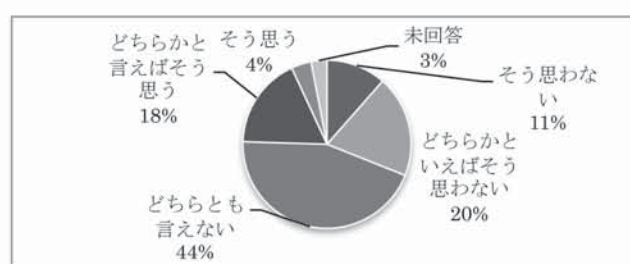
15. 学生に対応するに当たり、所属部局（学部・研究科）内において十分なサポートを受けることができる。

そう思わない	25
どちらかといえばそう思わない	38
どちらとも言えない	118
どちらかと言えばそう思う	61
そう思う	11
未回答	8



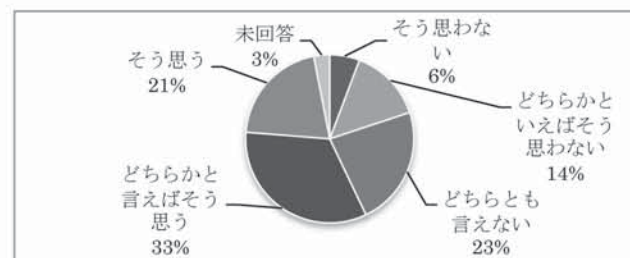
16. 学生に対応するに当たり、所属部局（学部・研究科）内には十分な援助リソース（ノウハウ）がある。

そう思わない	30
どちらかといえばそう思わない	51
どちらとも言えない	116
どちらかと言えばそう思う	46
そう思う	10
未回答	8



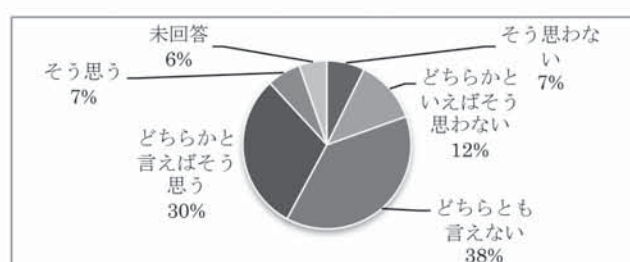
17. 学生に対応するに当たり、所属部局（学部・研究科）内に、その内容を相談できる相手（教職員）がいる。

そう思わない	15
どちらかといえばそう思わない	37
どちらとも言えない	60
どちらかと言えばそう思う	87
そう思う	54
未回答	8



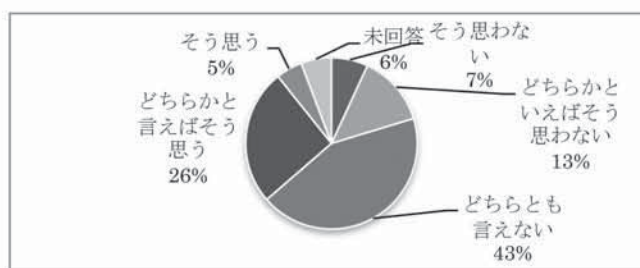
18. 学生に対応するに当たり、全学的に見れば、本学では十分なサポートを受けることができる。

そう思わない	19
どちらかといえばそう思わない	32
どちらとも言えない	100
どちらかと言えばそう思う	79
そう思う	17
未回答	14



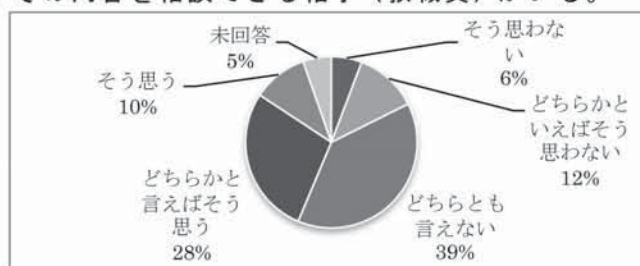
19. 学生に対応するに当たり、全学的に見れば、本学には十分な援助リソース（ノウハウ）がある。

そう思わない	18
どちらかといえばそう思わない	35
どちらとも言えない	113
どちらかといえばそう思う	67
そう思う	13
未回答	15



20. 学生に対応するに当たり、全学的に見れば、その内容を相談できる相手（教職員）がいる。

そう思わない	15
どちらかといえばそう思わない	31
どちらとも言えない	101
どちらかといえばそう思う	73
そう思う	27
未回答	14



21. もっとも「相談しやすい」と感じられる相手

所属部局内の教育ユニット(コースや講座レベル)の教員 【172 名 (65.9%)】

所属部局内の教育ユニット外の教員 【29 名 (11.1%)】

所属部局内の事務職員 【36 名 (13.8%)】

所属部局外(他学部等)の教員 【2 名 (0.8%)】

所属部局外(他学部等)の事務職員

【1 名 (0.3%)】

所属部局内の学生支援組織(部局内の学務委員会、相談室分室等) 【27 名 (10.3%)】

全学の学生支援組織(学生なんでも相談室・保健管理センターの教職員等) 【39 名 (14.9%)】

他者に相談する必要を感じない 【7 名 (2.7%)】

※一部、複数回答をした回答者があったため、割合の合計も 100%を超えていることに注意ください。

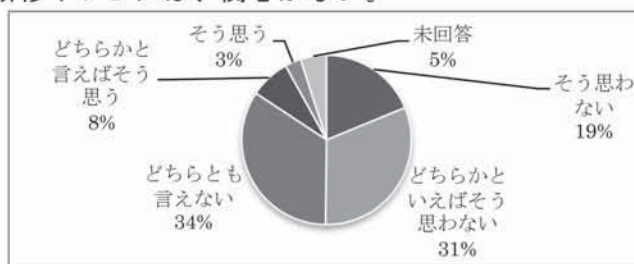
知覚されたサポート感やリソースの存在に関する認識について、「どちらともいえない」という回答が多く見られていることから、学内の学生支援リソースに関する情報が十分に届いていない可能性が示唆された。

また、「相談しやすい相手」として、所属している教育ユニット内の教員や所属部局の事務職員が多く選択されている状況から、部局内の教職員間での支え合える環境が重要であることが示唆された。

Ⅵ. 学生対応に関する研修やFDへの評価

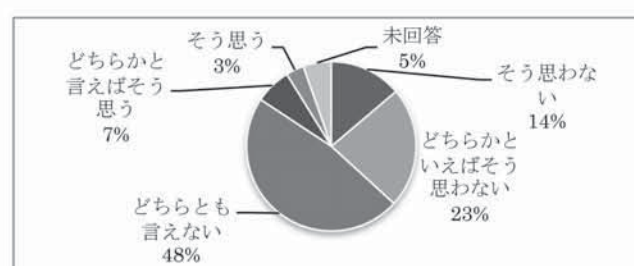
22. 大学や所属部局が行う学生支援に関する研修やFDには、関心がない。

そう思わない	49
どちらかといえばそう思わない	82
どちらとも言えない	89
どちらかといえばそう思う	20
そう思う	8
未回答	13



23. 大学や所属部局が行う学生支援に関する研修やFDは、学生に対応する上で役に立っていない。

そう思わない	36
どちらかといえばそう思わない	60
どちらとも言えない	124
どちらかといえばそう思う	18
そう思う	9
未回答	14



学生支援に関する研修やFDについて、多くの教員が関心を持ちながらも、現状行われているものについては、十分に評価されている訳ではないことが示唆された。

Ⅶ. 学生とのコンタクトの手段

24. 1) 担当（指導）学生とコンタクトを取る手段について

授業やゼミなどで直接声をかける	【223 名 (85.4%)】	学生本人に電話を入れる	【149 名 (57.1%)】
学生本人にメールを入れる	【211 名 (80.8%)】	当該学生の友人に伝言を依頼する	【158 名 (60.5%)】
当該学生の家族(保護者)に連絡する	【73 名 (28.0%)】	学生本人の自宅(下宿)を訪問する	【18 名 (6.9%)】
こちらからコンタクトを取ることはない	【6 名 (2.3%)】	その他	【12 名】

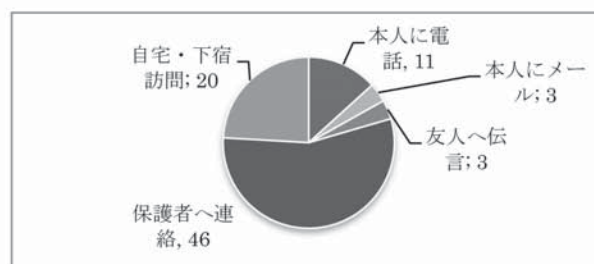
「その他」の内訳

- ・Moodle 上に担任学年(クラス)のHPを作ってそこで情報伝達を行う、合宿に行く、飲みニュケーションする。
- ・学務担当者より連絡を依頼する。
- ・学生委員のとき触法学生の下を訪れた(留置場)。ストーカーに大学が対応できない時は、学生と警察に相談にいった(ハラスメント委員)。
- ・近くに住む同僚に下宿の様子を見てきてもらう。

- ・研究室ノート
- ・伝言板(掲示板)に貼り出す
- ・机上にメモを残す
- ・他の教員を通じた間接的なコンタクト
- ・手紙を書く
- ・ML 利用

24. 2)「基本的には使わないが、場合によっては使うかもしれない(使ったことがある)」と思われる手段

本人に電話	11
本人にメール	3
友人へ伝言	3
保護者へ連絡	46
自宅・下宿訪問	20



多くの教員が、メールや電話等によるコンタクトは日常的に行っている一方で、保護者への連絡や自宅(下宿)訪問という手段を取ることにに関して、判断を迷っている現状が示唆された。

まとめ

今回の調査において、多くの教員が、学生相談や学生支援に関して前向きに考えていることが明らかとなった。ただし、年々学生への対応が難しくなっている反面、各教員にとって十分なサポートが感じられていない、という現実も同時に明らかとなった。学生相談や学生支援という仕事は、必ずしも努力が報われるとは限らない難しい面も持ち合わせているものの、だからこそ、多忙な中ご尽力いただいている教員をきちんとサポートするようなシステムを、全学レベルはもとより、各部局レベルにおいても今後検討していく必要があるものとする。

一方、学生総合支援センターにおいても、保健管理センター等の他の学生支援組織との連携や、各施設の周知の方法など、多くの課題を含んでいることが示唆された。こうした課題への対応は、引き続き学生総合支援センターの中で議論を続けることとして、今後も継続的に、こうした調査によって、本学の学生支援体制の在り方について検証していくこととしたい。

Ⅳ キャリア支援センター

キャリア支援センター活動報告 (H19' ~ 23')

三重大大学キャリア支援センターは、平成17年4月に設置され、学生が低学年から主体的に進路選択ができるよう、全学的な立場からキャリア教育、インターンシップ及び就職活動の支援を推進している。

1. キャリア教育について

キャリア支援センターでは、学生自らが人生の在り方を考え、また、それを将来の職業、そして生活へと結びつけていくことを可能にするために、学生のキャリア形成並びに修学を支援する授業計画を策定し、平成17年度に共通教育において2科目開講し、平成18年度から本格的に「大学とキャリア形成」授業群として5科目(受講生延351名)開講、平成19年度は7科目(受講生延665名)開講した。

平成20年度は、前期8科目、後期7科目、合計15科目(受講生延1,352名)開講し、キャリア教育を充実させるため共通教育センターにキャリア教育を担当する特任教授(教育担当)を配置し、学部1,2年生のインターンシップを推進及びキャリア・ピア・サポート(学生同士によるキャリア支援)体制を整備した。

平成21年度は、キャリア形成特論Ⅳ、(組織・社会を知る)、ボランティア実践論、PBLセミナー(コミュニケーションとリーダーシップ)(キャリア・ピア・サポート)を新規に開講し、前期6科目、後期6科目合計12科目(受講生延942名)を開講した。

平成22年度は、新たに共通教育において主題I「生きる力とキャリア形成」科目群を開設し、前期8科目、後期13科目合計21科目(受講生延1,344名)を開講した。

平成23年度の「生きる力とキャリア形成」科目群については、前期11科目、後期14科目合計25科目を(受講生延 1,846名)開講した。

● 共通教育キャリア授業科目

(1) 平成20年度開講科目

科目名	担当教員	開講時期	単位数	受講学生数
①キャリア形成概論Ⅰ (働くということ)	人文学部 准教授 石阪 督規	前期	2単位	236
②キャリア形成概論Ⅱ (大学で学ぶということ)	特任教授(教育担当) 宮崎 冴子	前期・後期	各2単位	前期 116 後期 45
③キャリア形成特論Ⅰ (自分を知る)	特任教授(教育担当) 宮崎 冴子	前期・後期	各2単位	前期 197 後期 105
⑥⑦キャリア形成特論Ⅱ (コミュニケーションとリーダーシップ)	特任教授(教育担当) 宮崎 冴子	前期・後期	各2単位	前期 39 後期 67
⑧⑨キャリア形成特論Ⅲ (仕事を知る)	特任教授(教育担当) 宮崎 冴子	前期・後期	各2単位	前期 21 後期 34
⑩キャリア・インターンシップ	特任教授(教育担当) 宮崎 冴子	前期	2単位	28
⑪共通セミナーA (キャリア・ピア・サポート基礎)	特任教授(教育担当) 宮崎 冴子	前期	2単位	8
⑫キャリア・ピア・サポート応用Ⅰ	特任教授(教育担当) 宮崎 冴子	後期	2単位	24

⑬キャリア・ピア・サポート応用Ⅱ	特任教授(教育担当) 宮崎 冴子	後期	2単位	22
⑭理系女子学生の未来予想図	生物資源学部 准教授 宮崎 多恵子 生物資源学部 准教授 板谷 明美 人文学部 教授 小川 眞里子	前期	2単位	182
⑮就職とキャリア形成	医学部 教授 西村 訓弘	後期	2単位	228
合計		前期8科目 後期7科目		1,352

(2) 平成21年度開講科目

科目名	担当教員	開講時期	単位数	受講学生数
①キャリア形成概論Ⅰ (働くということ)	人文学部 准教授 石阪 督規	前期	2単位	201
②③キャリア形成概論Ⅱ (大学で学ぶということ)	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期・後期	各2単位	前期 111 後期 49
④キャリア形成特論Ⅰ (自分を知る)	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期・後期	各2単位	前期 144 後期 74
⑤キャリア形成特論Ⅲ (仕事を知る)	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	後期	2単位	22
⑥キャリア形成特論Ⅳ (組織・社会を知る)	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期	2単位	11
⑦キャリア・インターンシップ	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期	2単位	20
⑧ボランティア実践論	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	後期	2単位	37
⑨PBLセミナー (コミュニケーションとリーダーシップ)	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期	4単位	15
⑫⑬PBLセミナー (キャリア・ピア・サポート)	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	後期	4単位	24
⑮就職とキャリア形成	医学部 教授 西村 訓弘	後期	2単位	234
合計		前期6科目 後期6科目		942

(3) 平成22年度開講科目

科目名	担当教員	開講時期	単位数	受講学生数
アントレプレナー論	教育学部 教授 山根 栄次 他	前期	2単位	33
三重ブランドの創出	人文学部 教授 朴 恵淑 他	後期	2単位	80
「4つの力」 スタートアップセミナー	高等教育創造開発センター 長濱 文与・中島 誠・ 中山 留美子・長澤 多代	前期 (クラス指定)	2単位	1年必修 (人文除く)
キャリアプランニング	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期(3コマ) 後期	各2単位	327
キャリア・イベント実践	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	後期	2単位	16
ボランティア実践	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	後期	2単位	27
リーダーシップ実践	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	後期	2単位	34
学生生活支援実践	学生なんでも相談室 助教 鈴木 英一郎	後期	2単位	41
地域づくり実践	人文学部 准教授 石阪 督規	後期	2単位	29
広報誌編集実践	生物資源学部 教授 村上 克介	後期	2単位	16
学習支援実践	人文学部 教授 中川 正 他	前期	2単位	7
こころのサポート	学生なんでも相談室 助教 鈴木 英一郎	前期・後期	各2単位	506
キャリア形成・能力開発	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期	2単位	46
仕事・社会を知る	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	後期	2単位	27
法則探検入門	人文学部 教授 中川 正	前期	2単位	98
法則探検I	人文学部 教授 中川 正	前期	2単位	8
法則探検II	人文学部 教授 中川 正	後期	2単位	5
大学紹介実践	高等教育創造開発センター 客員教授 佐藤 之彦	後期	2単位	9
学生生活と社会	人文学部 教授 中川 正	後期	2単位	21
キャリア・インターンシップ	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期	2単位	14
合計		前期 8 科目 後期 13科目		1,344 (4つのカスタートアップセミナーを除く)

(4) 平成23年度開講科目

科目名	担当教員	開講時期	単位数	受講学生数
アントレプレナー論	教育学部 教授 山根 栄次 他	前期	2単位	19
三重ブランドの創出	人文学部 教授 朴 恵淑 他	後期	2単位	23
「4つの力」 スタートアップセミナー	高等教育創造開発センター 長濱 文与・中島 誠・ 中山 留美子・長澤 多代	前期 (クラス指定)	2単位	1年必修 (人文除く)
キャリアプランニング	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期(3コマ) 後期(2コマ)	各2単位	512
こころのサポート	学生なんでも相談室 助教 鈴木 英一郎	前期・後期	各2単位	604
学習支援実践	高等教育創造開発センター 長濱 文与 他	前期	2単位	15
学生生活支援実践	学生なんでも相談室 助教 鈴木 英一郎	後期	2単位	20
大学紹介実践	高等教育創造開発センター 客員教授 佐藤 之彦	後期	2単位	19
広報誌編集実践	生物資源学部 教授 村上 克介	後期	2単位	32
障がい学生支援実践	教育学部 准教授 菊池 紀彦 他	後期	2単位	29
環境ISO実践	人文学部 教授 朴 恵淑	前期	2単位	119
地域づくり実践	人文学部 准教授 石阪 督規	後期	2単位	41
「美し国おこし・三重」実践	人文学部 教授 中川 正	後期	2単位	9
法則探検入門	人文学部 教授 中川 正	後期	2単位	8
AI-人と組織を生かす発想法-	人文学部 教授 中川 正 他	前期	2単位	86
就職とキャリア形成	医学部 教授 西村 訓弘	後期	2単位	113
キャリア形成・能力開発	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期	2単位	39
仕事・社会を知る	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	後期	2単位	51
キャリア・インターンシップ	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	前期	2単位	41
法則探検入門	人文学部 教授 中川 正	前期	2単位	29
現代の消費生活と消費者自立	教育学部 教授 吉本敏子	前期	2単位	10
PBLセミナーI (週2コマ履修すること)	共通教育 特任教授 宮崎 冴子	後期	4単位	12
留学生支援実践	人文学部 教授 中川 正	後期	2単位	15
合計		前期11科目 後期14科目		1,846 (4つのカスタートアップセミナーを除く)

2. インターンシップについて

本学の中期目標・中期計画では、インターンシップを推進し、平成15年度の参加学生数50名を基準にして、毎年2割、10名増しとして、平成20年度までに2倍の100名とすることを掲げている。

平成18年度から、これまで各学部・研究科が主体となって実施してきたインターンシップをキャリア支援センターが中心となり、各学部・研究科のインターンシップ指導教員等と連携して、事前及び事後研修会の開催、学生のマッチング相談、受入企業の開拓及び企業と学生又は教員との連絡調整、覚書の締結等を行っている。

● インターンシップ参加者数

所属		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
人文	学部	(5) 22	(18) 66	(11) 48	(17) 51	(28) 61
	大学院		3	(0) 1	0	0
	小計	(5) 22	(18) 69	(11) 49	(17) 51	(28) 61
教育	学部	(2) 42	(0) 31	(3) 33	(0) 27	(3) 34
	大学院		1		2	1
	小計	(2) 42	(0) 32	(3) 33	(0) 29	(3) 35
医学	学部			(0) 1	(0) 0	(1) 1
	大学院					0
	小計	0	0	(0) 1	(0) 0	(1) 1
工学	学部	(2) 51	(2) 47	(16) 57	(0) 43	(1) 19
	大学院	31	26	44	50	39
	小計	(0) 82	(2) 73	(16) 101	(0) 93	(1) 58
生物資源	学部	(1) 35	(25) 46	(21) 49	(13) 51	(17) 56
	大学院	11	9	3	2	13
	小計	(1) 45	(25) 55	(21) 52	(13) 53	(17) 69
合計	学部	(8) 150	(46) 192	(46) 188	(30) 172	(50) 171
	大学院	4	40	60	54	53
	小計	(8) 192	(46) 232	(51) 252	(30) 246	(50) 224

備考：()内は共通教育のキャリア・インターンシップ及び環境インターンシップ受講者で内数
：23年度合計には、国際交流センター6名・地域イノベーション12名を含む。

3. 求人件数について

年 度	企業等 件 数	備 考
平成18年度～平成19年度 (平成20年3月卒業・修了予定者向け)	2,359	企業等・公務員・教員
平成19年度～平成20年度 (平成21年3月卒業・修了予定者向け)	2,463	企業等・公務員・教員
平成20年度～平成21年度 (平成22年3月卒業・修了予定者向け)	1,957	企業等・公務員・教員
平成21年度～平成22年度 (平成23年3月卒業・修了予定者向け)	1,768	企業等・公務員・教員
平成22年度～平成23年度 (平成24年3月卒業・修了予定者向け)	1,880	企業等・公務員・教員

4.就職ガイダンス実施状況について

●就職ガイダンス等参加学生数

ガイダンス等の 区分	H19	H20	H21	H22	H23
公務員志望者向け	445	435	527	527	546
企業志望者向け	2,078	2,110	2,674	3,028	3,028
学内企業研究会	1,225	1,666	1,785	1,431	3,498
合計	4,348	4,912	5,471	4,986	7,072

5.就職相談について

キャリア支援センターでは、平成19年度からキャリア・カウンセラー1名を派遣契約により雇用し、原則として予約制で学生の進路・就職相談に応じている。

●キャリア・カウンセラー就職相談件数

月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4	44	69	62	97	87
5	32	54	66	62	69
6	29	39	55	69	92
7	39	44	51	55	80
8		5	6		33
9		9	4		36
10	28	35	27	52	63
11	21	44	40	47	64
12	23	25	52	86	82
1	49	89	93	89	96
2	65	77	104	100	128
3	76	88	85	67	130
合計	406	578	645	724	960

6.キャリア・ピアサポーターについて

●認定者数

	初級	上級
平成21年前期	2	
平成21年後期	11	
平成22年前期	1	
平成22年後期	29	8
平成23年前期	8	3
平成23年後期	64	6
計	115	17

平成19年度三重大学就職状況

平成20年5月1日現在

学部等		年度	卒業生		卒業生の内訳				就職希望者の内訳				就職者の就職先内訳						就職先		就職率 (B)／(A)	学部						
			就職希望者(A)	進学者	臨床研修医	その他	就職者(B)	未定者	企業等	官公庁	教員	その他	県内	県外														
人文学部	人文学部	19	307(199)	249(157)	17(14)	0	0	23	241	152	8	5	202	131	31	16	8	5	0	0	60	42	181	110	96.8%	96.8%	人	
	人文学部	18	311(196)	261(167)	16(11)	0	0	34	18	248	160	15	7	210	138	25	13	10	8	1	1	54	41	192	119	94.3%	95.8%	人
教育学部	教育学部	19	238(137)	195(112)	23(15)	0	0	13	10	193	112	2	0	67	38	18	13	108	61	0	0	101	71	92	41	99.0%	100.0%	教
	教育学部	18	218(141)	173(114)	23(16)	0	0	22	11	168	111	5	3	70	46	12	10	85	55	0	0	79	59	89	52	97.1%	97.4%	教
医学部	医学部	19	98(27)	0	0	96	25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	医
	医学部	18	97(29)	0	0	94	27	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	医
看護学部	看護学部	19	92(89)	87(84)	3	0	0	2	87	84	0	0	82	79	3	3	2	2	0	0	27	25	60	59	100.0%	100.0%	医	
	看護学部	18	89(84)	84(79)	4	0	0	1	84	79	0	0	81	76	3	3	0	0	0	0	33	30	51	49	100.0%	100.0%	医	
工学部	工学部	19	425(51)	180(32)	233(19)	0	0	12	0	171	31	3	1	174	31	3	0	0	0	0	0	3	156	28	98.3%	99.9%	工	
	工学部	18	402(58)	187(44)	202(12)	0	0	13	2	188	44	0	0	173	38	11	5	2	1	0	0	23	8	163	36	99.5%	100.0%	工
生物資源学部	生物資源学部	19	244(108)	132(71)	103(35)	0	0	9	2	123	65	9	6	104	54	14	8	4	3	1	0	18	8	105	57	93.2%	91.5%	生
	生物資源学部	18	258(104)	135(67)	106(29)	0	0	16	8	126	61	10	6	113	55	10	3	3	0	0	24	10	102	51	92.6%	91.0%	生	
合計	合計	19	1404(611)	843(456)	381(86)	96	25	84	44	821	444	22	12	629	333	69	40	122	71	1	0	227	149	594	295	97.4%	97.4%	計
	合計	18	1375(612)	841(471)	351(72)	94	27	89	42	810	455	31	16	647	353	61	34	101	67	1	1	213	148	537	307	96.3%	96.6%	計
			平成19年度公立大学卒業生就職率																					97.5%		98.0%		
			平成18年度公立大学卒業生就職率																					94.4%		93.5%		

平成19年度国立大学卒業生就職率
平成18年度国立大学卒業生就職率

年度	修了者	修了者の内訳			就職希望者の内訳			就職希望者の就職先内訳				就職先		就職率(B)／(A)	科										
		就職希望者(A)	進学者	その他	就職者(B)	未定者	企業等	官公庁	教員	その他	県内	県外													
19	20	15	9	2	1	3	2	14	8	1	1	7	5	2	0	4	3	1	0	8	4	6	4	93.3%	人
18	12	10	9	1	2	1	1	9	7	0	0	3	2	3	2	3	3	4	0	5	4	4	3	100.0%	人
19	34	14	30	1	1	3	2	29	11	1	0	7	0	0	0	0	22	11	0	18	8	11	3	96.7%	教
18	55	27	45	20	1	0	9	7	32	10	13	10	22	14	0	0	18	4	0	21	6	11	4	71.1%	教
19	13	5	9	3	3	1	1	1	3	1	0	1	8	3	0	0	0	0	0	4	3	4	0	88.9%	医
18	20	12	11	7	8	5	1	0	9	6	2	1	9	6	0	0	0	0	0	3	1	6	5	81.8%	医
19	15	14	14	0	0	1	1	14	14	0	0	8	8	1	1	5	5	0	0	9	9	5	5	100.0%	医
18	10	10	10	0	0	0	0	0	5	5	5	4	4	1	1	0	0	0	0	3	3	2	2	50.0%	医
19	36	3	35	3	0	0	1	0	33	2	2	1	31	1	0	0	1	1	0	26	1	7	1	94.3%	医
18	35	9	35	9	0	0	0	0	35	9	0	1	32	8	2	1	1	0	0	31	8	4	1	100.0%	医
19	229	25	216	23	10	2	3	0	215	23	1	0	213	23	1	0	1	0	0	16	2	199	21	99.5%	工
18	217	19	209	17	5	0	3	2	209	17	0	0	205	16	4	1	0	0	0	16	3	193	14	100.0%	工
19	13	4	11	2	0	0	2	2	10	1	1	1	8	1	1	0	1	0	0	4	0	6	1	90.9%	工
18	22	2	20	1	0	0	2	1	19	1	1	0	11	0	2	1	6	0	0	8	1	11	0	95.0%	工
19	122	36	99	26	11	3	12	7	92	23	7	3	81	21	10	2	1	0	0	17	4	75	19	92.9%	生物資源学(前期)
18	87	21	72	19	9	1	6	1	69	18	3	1	63	13	4	4	2	1	0	13	5	58	13	95.8%	生物資源学(前期)
19	19	3	14	2	0	0	5	1	10	1	4	1	4	0	3	1	3	0	0	0	0	1	0	71.4%	生物資源学(後期)
18	19	7	13	4	0	0	0	0	13	4	0	0	1	1	0	8	3	0	0	6	1	7	3	100.0%	生物資源学(後期)
19	501	117	443	93	27	8	31	16	425	86	18	7	367	62	18	4	38	20	2	102	31	323	55	95.9%	計
18	477	117	424	94	25	8	22	12	400	77	24	17	353	64	17	10	38	11	0	106	32	294	45	94.3%	計

学部等	区分	年度	修了者				修了者の内訳				就職希望者の内訳				就職先		就職率 (B)／(A)	科	
			就職希望者(A)	進学者	その他	就職希望者(B)	未定者	企業等	官公庁	教員	その他	県内	県外						
特別支援教育特別専攻科	特別支援教育特別専攻科	19	14	11	13	11	1	0	0	1	1	1	9	0	0	11	9	2	100.0%
		18	12	8	6	4	1	1	5	3	6	4	1	5	3	0	6	4	0

農薬別	科	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度		33年度		34年度		35年度		36年度		37年度		38年度		39年度		40年度		41年度		42年度		43年度		44年度		45年度		46年度		47年度		48年度		49年度		50年度		51年度		52年度		53年度		54年度		55年度		56年度		57年度		58年度		59年度		60年度		61年度		62年度		63年度		64年度		65年度		66年度		67年度		68年度		69年度		70年度		71年度		72年度		73年度		74年度		75年度		76年度		77年度		78年度		79年度		80年度		81年度		82年度		83年度		84年度		85年度		86年度		87年度		88年度		89年度		90年度		91年度		92年度		93年度		94年度		95年度		96年度		97年度		98年度		99年度		100年度		101年度		102年度		103年度		104年度		105年度		106年度		107年度		108年度		109年度		110年度		111年度		112年度		113年度		114年度		115年度		116年度		117年度		118年度		119年度		120年度		121年度		122年度		123年度		124年度		125年度		126年度		127年度		128年度		129年度		130年度		131年度		132年度		133年度		134年度		135年度		136年度		137年度		138年度		139年度		140年度		141年度		142年度		143年度		144年度		145年度		146年度		147年度		148年度		149年度		150年度		151年度		152年度		153年度		154年度		155年度		156年度		157年度		158年度		159年度		160年度		161年度		162年度		163年度		164年度		165年度		166年度		167年度		168年度		169年度		170年度		171年度		172年度		173年度		174年度		175年度		176年度		177年度		178年度		179年度		180年度		181年度		182年度		183年度		184年度		185年度		186年度		187年度		188年度		189年度		190年度		191年度		192年度		193年度		194年度		195年度		196年度		197年度		198年度		199年度		200年度		201年度		202年度		203年度		204年度		205年度		206年度		207年度		208年度		209年度		210年度		211年度		212年度		213年度		214年度		215年度		216年度		217年度		218年度		219年度		220年度		221年度		222年度		223年度		224年度		225年度		226年度		227年度		228年度		229年度		230年度		231年度		232年度		233年度		234年度		235年度		236年度		237年度		238年度		239年度		240年度		241年度		242年度		243年度		244年度		245年度		246年度		247年度		248年度		249年度		250年度		251年度		252年度		253年度		254年度		255年度		256年度		257年度		258年度		259年度		260年度		261年度		262年度		263年度		264年度		265年度		266年度		267年度		268年度		269年度		270年度		271年度		272年度		273年度		274年度		275年度		276年度		277年度		278年度		279年度		280年度		281年度		282年度		283年度		284年度		285年度		286年度		287年度		288年度		289年度		290年度		291年度		292年度		293年度		294年度		295年度		296年度		297年度		298年度		299年度		300年度		301年度		302年度		303年度		304年度		305年度		306年度		307年度		308年度		309年度		310年度		311年度		312年度		313年度		314年度		315年度		316年度		317年度		318年度		319年度		320年度		321年度		322年度		323年度		324年度		325年度		326年度		327年度		328年度		329年度		330年度		331年度		332年度		333年度		334年度		335年度		336年度		337年度		338年度		339年度		340年度		341年度		342年度		343年度		344年度		345年度		346年度		347年度		348年度		349年度		350年度		351年度		352年度		353年度		354年度		355年度		356年度		357年度		358年度		359年度		360年度		361年度		362年度		363年度		364年度		365年度		366年度		367年度		368年度		369年度		370年度		371年度		372年度		373年度		374年度		375年度		376年度		377年度		378年度		379年度		380年度		381年度		382年度		383年度		384年度		385年度		386年度		387年度		388年度		389年度		390年度		391年度		392年度		393年度		394年度		395年度		396年度		397年度		398年度		399年度		400年度		401年度		402年度		403年度		404年度		405年度		406年度		407年度		408年度		409年度		410年度		411年度		412年度		413年度		414年度		415年度		416年度		417年度		418年度		419年度		420年度		421年度		422年度		423年度		424年度		425年度		426年度		427年度		428年度		429年度		430年度		431年度		432年度		433年度		434年度		435年度		436年度		437年度		438年度		439年度		440年度		441年度		442年度		443年度		444年度		445年度		446年度		447年度		448年度		449年度		450年度		451年度		452年度		453年度		454年度		455年度		456年度		457年度		458年度		459年度		460年度		461年度		462年度		463年度		464年度		465年度		466年度		467年度		468年度		469年度		470年度		471年度		472年度		473年度		474年度		475年度		476年度		477年度		478年度		479年度		480年度		481年度		482年度		483年度		484年度		485年度		486年度		487年度		488年度		489年度		490年度		491年度		492年度		493年度		494年度		495年度		496年度		497年度		498年度		499年度		500年度		501年度		502年度		503年度		504年度		505年度		506年度		507年度		508年度		509年度		510年度		511年度		512年度		513年度		514年度		515年度		516年度		517年度		518年度		519年度		520年度		521年度		522年度		523年度		524年度		525年度		526年度		527年度		528年度		529年度		530年度		531年度		532年度		533年度		534年度		535年度		536年度		537年度		538年度		539年度		540年度		541年度		542年度		543年度		544年度		545年度		546年度		547年度		548年度		549年度		550年度		551年度		552年度		553年度		554年度		555年度		556年度		557年度		558年度		559年度		560年度		561年度		562年度		563年度		564年度		565年度		566年度		567年度		568年度		569年度		570年度		571年度		572年度		573年度		574年度		575年度		576年度		577年度		578年度		579年度		580年度		581年度		582年度		583年度		584年度		585年度		586年度		587年度		588年度		589年度		590年度		591年度		592年度		593年度		594年度		595年度		596年度		597年度		598年度		599年度		600年度		601年度		602年度		603年度		604年度		605年度		606年度		607年度		608年度		609年度		610年度		611年度		612年度		613年度		614年度		615年度		616年度		617年度		618年度		619年度		620年度		621年度		622年度		623年度		624年度		625年度		626年度		627年度		628年度		629年度		630年度		631年度		632年度		633年度		634年度		635年度		636年度		637年度		638年度		639年度		640年度		641年度		642年度		643年度		644年度		645年度		646年度		647年度		648年度		649年度		650年度		651年度		652年度		653年度		654年度		655年度		656年度		657年度		658年度		659年度		660年度		661年度		662年度		663年度		664年度		665年度		666年度		667年度		668年度		669年度		670年度		671年度		672年度		673年度		674年度		675年度		676年度		677年度		678年度		679年度		680年度		681年度		682年度		683年度		684年度		685年度		686年度		687年度		688年度		689年度		690年度		691年度		692年度		693年度		694年度		695年度		696年度		697年度		698年度		699年度		700年度		701年度		702年度		703年度		704年度		705年度		706年度		707年度		708年度		709年度		710年度		711年度		712年度		713年度		714年度		715年度		716年度		717年度		718年度		719年度		720年度		721年度		722年度		723年度		724年度		725年度		726年度		727年度		728年度		729年度		730年度		731年度		732年度		733年度		734年度		735年度		736年度		737年度		738年度		739年度		740年度		741年度		742年度		743年度		744年度		745年度		746年度		747年度		748年度		749年度		750年度		751年度		752年度		753年度		754年度		755年度		756年度		757年度		758年度		759年度		760年度		761年度		762年度		763年度		764年度		765年度		766年度		767年度		768年度		769年度		770年度		771年度		772年度		773年度		774年度		775年度		776年度		777年度		778年度		779年度		780年度		781年度		782年度		783年度		784年度		785年度		786年度		787年度		788年度		789年度		790年度		791年度		792年度		793年度		794年度		795年度		796年度		797年度		798年度		799年度		800年度		801年度		802年度		803年度		804年度		805年度		806年度		807年度		808年度		809年度		810年度		811年度		812年度		813年度		814年度		815年度		816年度		817年度		818年度		819年度		820年度		821年度		822年度		823年度		824年度		825年度		826年度		827年度		828年度		829年度		830年度		831年度		832年度		833年度		834年度		835年度		836年度		837年度		838年度		839年度		840年度		841年度		842年度		843年度		844年度		845年度		846年度		847年度		848年度		849年度		850年度		851年度		852年度		853年度		854年度		855年度		856年度		857年度		858年度		859年度		860年度		861年度		862年度		863年度		864年度		865年度		866年度		867年度		868年度		869年度		870年度		871年度		872年度		873年度		874年度		875年度		876年度		877年度		878年度		879年度		880年度		881年度		882年度		883年度		884年度		885年度		886年度		887年度		888年度		889年度		890年度		891年度		892年度		893年度		894年度		895年度		896年度		897年度		898年度		899年度		900年度		901年度		902年度		903年度		904年度		905年度		906年度		907年度		908年度		909年度		910年度		911年度		912年度		913年度		914年度		915年度		916年度		917年度		918年度		919年度		920年度		921年度		922年度		923年度		924年度		925年度		926年度		927年度		928年度		929年度		930年度		931年度		932年度		933年度		934年度		935年度		936年度		937年度		938年度		939年度		940年度		941年度		942年度		943年度		944年度		945年度		946年度		947年度		948年度		949年度		950年度		951年度		952年度		953年度		954年度		955年度		956年度		957年度		958年度		959年度		960年度		961年度		962年度		963年度		964年度		965年度		966年度		967年度		968年度		969年度		970年度		971年度		972年度		973年度		974年度		975年度		976年度		977年度		978年度		979年度		980年度		981年度		982年度		983年度		984年度		985年度		986年度		987年度		988年度		989年度		990年度		991年度		992年度		993年度		994年度		995年度		996年度		997年度		998年度		999年度		1000年度		1001年度		1002年度		1003年度		1004年度		1005年度		1006年度		1007年度		1008年度		1009年度		1010年度		1011年度		1012年度		1013年度		1014年度		1015年度		1016年度		1017年度		1018年度		1019年度		1020年度		1021年度		1022年度		1023年度		1024年度		1025年度		1026年度		1027年度		1028年度		1029年度		1030年度		1031年度		1032年度		1033年度		1034年度		1035年度		1036年度		1037年度		1038年度		1039年度		1040年度		1041年度		1042年度		1043年度		1044年度		1045年度		1046年度		1047年度		1048年度		1049年度		1050年度		1	
-----	---	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	---	--

備考1. ()内は、女子を内数で示す。
2. 「卒業生の内訳」の「その他」欄は、大学(短大含む)・研究生・専門学校等入学、留学、家事手伝い、進学・公務員・国家資格試験不合格者、フリーター及び就職を希望しない者を示す。
3. 「就職者の就職先内訳」の「その他」欄は、自営業及び家業継承を示す。

学部	学科等	卒業生			卒業者の内訳			就職希望者の内訳			就職者の就職先内訳				就職率B/A%
		就職希望者(A)	進学者	その他	臨床研修医	その他	就職者(B)	未定着	企業	官公庁	教員	その他	県内	県外	
人文学部	文化学科	112 (83)	89 (73)	10 (5)	()	13 (7)	81 (67)	8 ()	69 (57)	10 (8)	2 (2)	()	26 (24)	55 (43)	91.8%
	社会科学部	191 (90)	163 (79)	20 (9)	()	18 (7)	152 (75)	11 (4)	121 (60)	30 (14)	1 (1)	()	54 (26)	98 (49)	93.3%
教育学部	学校教育課程	303 (175)	252 (152)	20 (9)	0 ()	31 (14)	233 (142)	19 (10)	190 (117)	40 (22)	3 (3)	0 ()	80 (50)	153 (92)	92.3%
	情報教育課程	127 (75)	111 (66)	11 (6)	()	5 (3)	106 (65)	5 ()	22 (16)	6 (5)	78 (44)	()	57 (34)	49 (31)	95.5%
経済学部	経済学課程	64 (32)	57 (28)	2 (1)	()	5 (3)	51 (25)	6 (3)	39 (21)	3 (1)	9 (3)	()	12 (6)	39 (19)	89.3%
	生涯教育課程	24 (12)	18 (10)	1 (1)	()	5 (1)	17 (9)	1 ()	8 (7)	6 (0)	3 (2)	()	6 (3)	11 (6)	94.4%
医学部	人間発達学課程	22 (16)	17 (13)	3 (2)	()	2 (1)	16 (12)	1 ()	9 (7)	3 (2)	4 (3)	()	9 (7)	7 (5)	92.3%
	計	237 (135)	203 (117)	17 (10)	0 ()	17 (8)	190 (111)	13 (6)	78 (51)	18 (8)	94 (52)	0 ()	84 (50)	106 (61)	93.6%
工学部	医学部	107 (31)	()	()	102 (28)	5 (3)	()	()	()	()	()	()	()	()	—
	看護学科	87 (84)	81 (3)	3 (3)	()	()	84 (81)	()	75 (72)	9 (9)	()	()	39 (37)	45 (44)	100.0%
工学部	環境工学科	194 (115)	84 (81)	3 (3)	102 (28)	5 (3)	84 (81)	0 ()	75 (72)	9 (9)	0 ()	0 ()	39 (37)	45 (44)	100.0%
	電気電子工学科	92 (4)	37 (3)	54 (1)	()	1 (0)	36 (3)	1 ()	0 ()	35 (3)	()	()	1 (0)	35 (3)	97.3%
工学部	化学工学科	98 (7)	42 (3)	55 (4)	()	1 (0)	42 (3)	()	39 (2)	3 (1)	()	()	1 (0)	41 (3)	100.0%
	分子系工学科	99 (20)	30 (3)	63 (17)	()	4 (0)	28 (3)	2 ()	25 (3)	3 (0)	()	()	4 (0)	24 (3)	93.3%
生物資源学部	建築学	41 (13)	15 (1)	23 (11)	()	3 (1)	14 (1)	1 ()	12 (1)	2 (0)	()	()	1 (0)	13 (1)	93.3%
	情報工学科	55 (4)	25 (3)	28 (0)	()	1 (1)	24 (3)	1 ()	0 ()	24 (3)	()	()	1 (0)	23 (3)	96.0%
生物資源学部	物理工学科	40 (1)	18 (1)	20 (0)	()	2 (0)	18 (1)	()	18 (1)	()	()	()	1 (0)	17 (1)	100.0%
	計	425 (49)	167 (14)	246 (33)	0 ()	12 (2)	162 (14)	5 ()	153 (13)	9 (1)	0 ()	0 ()	9 (0)	153 (14)	97.0%
生物資源学部	資源循環学科	66 (31)	42 (23)	21 (6)	()	3 (2)	40 (21)	2 ()	33 (19)	6 (2)	1 (0)	()	14 (10)	26 (11)	95.2%
	共生環境学科	96 (22)	62 (17)	32 (4)	()	2 (1)	58 (14)	4 ()	3 (3)	19 (2)	1 (1)	()	11 (4)	47 (13)	93.3%
生物資源学部	生物生命科学科	105 (30)	50 (15)	53 (13)	()	2 (2)	45 (15)	5 ()	0 ()	38 (13)	7 (2)	()	8 (4)	37 (11)	90.0%
	計	267 (83)	154 (55)	108 (23)	0 ()	7 (5)	143 (50)	11 (5)	109 (43)	32 (6)	2 (1)	0 ()	33 (15)	110 (35)	92.9%
合計		1426 (557)	860 (419)	392 (78)	102 (28)	72 (32)	812 (398)	48 (21)	605 (296)	108 (46)	99 (56)	0 ()	245 (152)	567 (246)	94.4%

特別支援教育特別専攻科	17 (14)	16 (14)	()	()	()	1 (0)	16 (14)	()	()	()	()	()	10 (8)	6 ()	100.0%
農業別科	2 (0)	2 (0)	()	()	()	()	2 (0)	()	()	()	()	()	1 (0)	1 (0)	100.0%

大学院

学部	研究科等	修了者			修了者の内訳			就職希望者の内訳			就職者の就職先内訳				就職率B/A%
		修了者	就職希望者(A)	進学者	進学者	その他	就職者(B)	未定着	企業	官公庁	教員	その他	県内	県外	
人文社会科学部	地域文化論専攻	16 (7)	12 (6)	2 (1)	()	2 (0)	11 (6)	1 ()	0 ()	7 (3)	3 (3)	1 (0)	7 (5)	4 (1)	91.7%
	社会科学専攻	7 (5)	5 (3)	()	()	2 (2)	5 (3)	()	5 (3)	()	()	()	2 (1)	3 (2)	100.0%
教育学部	学校教育専攻	23 (12)	17 (9)	2 (1)	()	4 (2)	16 (9)	1 ()	0 ()	12 (6)	3 (3)	1 (0)	9 (6)	7 (3)	94.1%
	教育相談専攻	14 (11)	9 (6)	1 (1)	()	4 (4)	7 (5)	2 ()	1 ()	1 (1)	()	()	5 (4)	2 (1)	77.8%
医学系	医学専攻	21 (12)	18 (10)	()	()	3 (2)	17 (10)	1 ()	0 ()	3 (1)	1 (1)	8 ()	11 (7)	6 (3)	94.4%
	看護専攻	37 (24)	29 (17)	1 (1)	()	7 (6)	26 (16)	3 ()	4 (2)	3 (1)	19 (13)	0 ()	17 (11)	9 (5)	89.7%
工学部	博士課程	10 (10)	10 (10)	()	()	()	9 (9)	1 ()	7 (7)	2 (2)	()	()	5 (2)	2 (2)	100.0%
	博士課程	34 (8)	32 (7)	()	()	2 (1)	31 (6)	1 ()	25 (6)	6 (0)	()	()	28 (5)	3 (1)	96.9%
工学部	環境工学専攻	63 (23)	56 (21)	5 (1)	()	2 (1)	54 (19)	2 ()	46 (17)	2 (2)	8 (0)	0 ()	40 (14)	14 (5)	96.4%
	電気電子工学専攻	51 (0)	50 (0)	1 (0)	()	()	50 (0)	()	49 (0)	()	()	()	2 (0)	48 (0)	100.0%
工学部	分子系工学専攻	35 (1)	34 (0)	1 (1)	()	()	34 (0)	()	34 (0)	()	()	()	1 (0)	33 (0)	100.0%
	建築工学専攻	41 (9)	38 (7)	3 (2)	()	()	38 (7)	()	38 (7)	()	()	()	7 (2)	31 (5)	100.0%
工学部	情報工学専攻	17 (2)	15 (1)	1 (0)	()	1 (1)	15 (1)	()	12 (1)	2 (0)	()	()	3 (0)	12 (1)	100.0%
	物理工学専攻	18 (0)	18 (0)	()	()	()	18 (0)	()	18 (0)	()	()	()	()	18 (0)	100.0%
工学部	材料科学専攻	24 (1)	22 (1)	1 (0)	()	1 (0)	22 (1)	()	22 (1)	()	()	()	()	22 (1)	100.0%
	システム工学専攻	186 (13)	177 (9)	7 (3)	()	2 (1)	177 (9)	0 ()	173 (9)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	13 (2)	164 (7)	100.0%
生物資源学部	生物資源学専攻	7 (1)	4 (1)	()	()	3 (0)	4 (1)	()	2 ()	1 (1)	1 (1)	()	1 (0)	3 (1)	100.0%
	資源循環学専攻	13 (1)	10 (1)	0 (0)	()	3 (0)	10 (1)	0 ()	6 (0)	3 (0)	1 (1)	0 ()	1 (0)	9 (1)	100.0%
生物資源学部	共生環境学専攻	26 (11)	17 (8)	5 (1)	()	4 (2)	17 (8)	()	14 (7)	3 (1)	()	()	5 (3)	12 (5)	100.0%
	生物生命科学専攻	46 (17)	42 (16)	2 (0)	()	2 (1)	41 (2)	1 ()	29 (2)	2 (0)	()	()	31 (2)	2 (2)	96.9%
生物資源学部	生物資源学専攻	106 (32)	91 (27)	9 (2)	()	6 (3)	88 (25)	3 ()	79 (23)	9 (2)	0 (0)	0 ()	9 (4)	79 (21)	96.7%
	生物資源学専攻	2 (0)	2 (0)	()	()	()	1 (0)	1 ()	1 (0)	()	()	()	()	1 (0)	50.0%
生物資源学部	生物資源学専攻	3 (1)	2 (1)	()	()	1 ()	1 (0)	1 ()	1 (1)	()	()	()	1 ()	()	50.0%
	生物資源学専攻	2 (2)	3 (1)	()	()	2 (2)	3 (1)	()	1 (0)	1 (0)	1 (1)	()	1 (1)	2 (0)	100.0%
生物資源学部	共生環境学専攻	3 (1)	3 (1)	()	()	()	2 (0)	()	3 (1)	()	()	()	4 (1)	1 (1)	100.0%
	生物生命科学専攻	6 (2)	5 (2)	()	()	1 ()	5 (2)	()	3 (1)	()	()	()	4 (1)	1 (1)	100.0%
生物資源学部	生命学専攻	18 (6)	14 (4)	0 (0)	()	4 (2)	12 (3)	2 ()	7 (1)	1 (0)	4 (2)	0 ()	6 (2)	6 (1)	65.7%
	計	446 (111)	394 (88)	24 (8)	()	28 (15)	383 (82)	11 (6)	327 (58)	23 (8)	32 (16)	1 (0)	95 (39)	268 (43)	97.2%

平成21年度就職状況
学部等

学部	学科等	卒業生 就職希望者(A)	卒業生の内訳			就職希望者の内訳			就職者の就職先内訳					就職率B/A%	
			進学者	臨床研修医	その他	就職者(B)	未定者	企業	官公庁	教員	その他	県内	県外		
人文学部	文化学科	104 (86)	87 (73)	11 (10)	()	6 (3)	82 (69)	5 (4)	64 (54)	14 (11)	4 (4)	()	24 (19)	58 (50)	94.3% (94.5%)
	社会科学部 計	181 (102)	151 (90)	6 (3)	()	24 (9)	144 (86)	7 (4)	112 (68)	29 (17)	()	3 (1)	46 (26)	98 (60)	95.4% (95.6%)
	学校教育課程 計	283 (188)	238 (103)	17 (13)	0 (0)	30 (12)	226 (155)	12 (6)	176 (122)	43 (28)	4 (4)	3 (1)	70 (45)	156 (110)	95.0% (95.1%)
教育学部	学校教育課程	192 (105)	134 (81)	16 (7)	12 (7)	129 (88)	5 (3)	18 (15)	9 (6)	102 (67)	()	()	83 (56)	44 (32)	96.3% (96.7%)
	情報教育課程	24 (12)	18 (9)	1 (0)	()	5 (2)	18 (9)	0 (0)	8 (3)	2 (1)	8 (5)	()	6 (3)	12 (6)	100.0% (100.0%)
	生涯教育課程	18 (9)	16 (9)	1 (0)	()	1 (0)	15 (8)	1 (1)	10 (6)	2 (1)	3 (1)	()	11 (6)	4 (2)	93.8% (88.9%)
医学部	人間発達科学課程 計	25 (23)	21 (20)	2 (1)	()	2 (2)	20 (19)	1 (1)	7 (6)	2 (2)	11 (11)	()	11 (11)	9 (8)	95.2% (95.0%)
	医学科	229 (149)	189 (129)	20 (9)	0 (0)	20 (11)	182 (124)	7 (5)	43 (30)	15 (10)	124 (84)	0 (0)	111 (76)	71 (48)	96.3% (96.1%)
	看護学科	98 (37)	()	1 (0)	95 (36)	2 (1)	()	()	()	()	()	()	()	()	()
工学部	看護学科 計	93 (90)	86 (83)	5 (5)	()	2 (2)	85 (82)	1 (1)	81 (78)	4 (4)	()	()	39 (38)	46 (44)	98.8% (98.8%)
	機械工学科	191 (127)	86 (83)	6 (5)	95 (36)	4 (3)	85 (82)	1 (1)	81 (78)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	39 (38)	46 (44)	98.8% (98.8%)
	電気電子工学科	74 (1)	18 (0)	54 (1)	()	2 (0)	18 (0)	()	18 (0)	()	()	()	2 (0)	16 (0)	100.0% ()
工学部	電気電子工学科	89 (2)	27 (2)	58 (0)	()	4 (0)	27 (2)	2 (0)	24 (2)	2 (0)	()	1 (0)	7 (1)	20 (1)	100.0% (100.0%)
	分子系理工学科	112 (17)	33 (9)	74 (8)	()	5 (0)	31 (9)	2 (0)	26 (8)	4 (0)	1 (1)	()	2 (0)	29 (9)	93.9% (100.0%)
	建築学科	59 (16)	28 (9)	31 (7)	()	()	26 (9)	2 (0)	23 (9)	2 (0)	()	1 (0)	2 (1)	24 (8)	92.9% (100.0%)
工学部	情報工学科	56 (9)	23 (7)	30 (2)	()	3 (0)	22 (7)	1 (0)	19 (6)	3 (1)	()	5 (2)	17 (5)	95.7% (100.0%)	
	物理工学科	46 (3)	23 (1)	22 (2)	()	1 (0)	22 (1)	1 (0)	21 (1)	1 (0)	()	1 (0)	5 (1)	17 (5)	95.7% (100.0%)
	計	436 (48)	152 (28)	269 (20)	0 (0)	15 (0)	146 (28)	6 (0)	131 (26)	11 (1)	2 (1)	2 (0)	23 (5)	123 (23)	96.1% (100.0%)
生物資源学部	資源循環工学科	71 (27)	50 (20)	16 (5)	()	5 (2)	47 (18)	3 (2)	39 (15)	5 (1)	1 (1)	2 (1)	8 (4)	39 (14)	94.0% (90.0%)
	共生環境学科	92 (25)	44 (15)	43 (9)	()	5 (1)	43 (15)	1 (0)	22 (9)	21 (6)	()	11 (1)	32 (14)	97.7% (100.0%)	
	共生環境学科	111 (38)	51 (19)	59 (19)	()	1 (0)	47 (18)	4 (1)	32 (12)	11 (5)	4 (1)	12 (6)	29 (12)	94.7% (94.7%)	
生物資源学部	生物生命科学科	274 (90)	145 (54)	118 (33)	0 (0)	11 (3)	137 (51)	8 (3)	93 (36)	37 (12)	5 (2)	2 (1)	37 (11)	100 (40)	94.5% (94.4%)
	計	1415 (602)	810 (457)	430 (80)	95 (36)	80 (29)	776 (440)	34 (17)	524 (292)	110 (55)	135 (91)	7 (2)	280 (175)	496 (265)	95.8% (96.3%)
	特別支援教育特別専門攻	8 (5)	6 (3)	()	()	2 (2)	6 (3)	()	()	()	6 (3)	()	6 (3)	()	100.0% (100.0%)

特別支援教育特別専攻科	8 (5)	6 (3)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	100.0% (100.0%)
-------------	---------	---------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------------------

大学院

学部	研究科等	修了者			修了者の内訳			就職希望者の内訳			就職者の就職先内訳					就職率B/A%
		就職希望者(A)	進学者	修了者	就職希望者(A)	進学者	修了者	就職希望者(B)	未定者	その他	官公庁	教員	その他	県内	県外	
人文学部	地域文化研究科	15 (6)	9 (5)	3 (1)	()	()	()	3 (0)	8 (5)	1 (0)	4 (2)	3 (2)	()	4 (3)	4 (2)	88.9% (100.0%)
	社会科学研究科	5 (3)	3 (3)	3 (1)	()	()	()	2 (2)	3 (3)	()	2 (2)	1 (1)	()	1 (1)	2 (2)	100.0% (100.0%)
教育学部	学校教育課程	20 (11)	12 (6)	3 (1)	()	()	()	5 (2)	11 (8)	1 (0)	6 (4)	4 (3)	0 (0)	5 (4)	6 (4)	91.7% (100.0%)
	特別支援教育専攻	10 (6)	5 (3)	4 (2)	()	()	()	1 (1)	5 (3)	()	1 (1)	1 (1)	()	4 (2)	1 (1)	100.0% (100.0%)
教育学部	特別支援教育専攻	2 (1)	2 (1)	()	()	()	()	2 (1)	2 (1)	()	1 (0)	()	()	2 (1)	()	100.0% (100.0%)
	総合教育専攻	23 (13)	24 (13)	1 (0)	()	()	()	22 (11)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	19 (8)	()	13 (6)	9 (5)	91.7% (84.6%)
医学部	医学専攻	37 (20)	31 (17)	5 (2)	()	()	()	1 (1)	29 (15)	2 (2)	5 (4)	1 (1)	23 (10)	0 (0)	19 (9)	88.2% (100.0%)
	看護学専攻	20 (12)	17 (11)	3 (1)	()	()	()	17 (11)	1 (0)	16 (11)	1 (0)	1 (0)	()	6 (6)	8 (5)	100.0% (100.0%)
医学部	看護学専攻	10 (9)	10 (9)	()	()	()	()	10 (9)	()	()	5 (5)	1 (1)	4 (3)	()	4 (3)	100.0% (100.0%)
	博士課程	41 (14)	40 (13)	1 (1)	()	()	()	39 (13)	1 (0)	22 (11)	1 (1)	7 (2)	()	31 (10)	8 (3)	97.5% (100.0%)
工学部	機械工学専攻	71 (35)	67 (33)	4 (2)	()	()	()	0 (0)	66 (33)	1 (0)	53 (27)	1 (1)	12 (5)	46 (22)	20 (11)	98.5% (100.0%)
	電気電子工学専攻	53 (0)	51 (0)	1 (0)	()	()	()	1 (0)	51 (0)	()	51 (0)	()	()	4 (0)	47 (0)	100.0% (0.0%)
工学部	分子系理工学専攻	39 (2)	37 (1)	2 (1)	()	()	()	37 (1)	4 (0)	()	37 (1)	1 (0)	()	4 (0)	33 (1)	100.0% (0.0%)
	材料工学専攻	61 (8)	60 (6)	1 (0)	()	()	()	60 (8)	()	()	58 (8)	1 (0)	1 (0)	7 (1)	53 (7)	100.0% (100.0%)
工学部	機械工学専攻	16 (2)	12 (1)	2 (1)	()	()	()	2 (0)	12 (1)	()	10 (0)	2 (1)	()	1 (0)	11 (1)	100.0% (100.0%)
	情報工学専攻	28 (4)	25 (3)	2 (0)	()	()	()	1 (1)	25 (3)	()	25 (3)	()	()	1 (0)	24 (3)	100.0% (0.0%)
工学部	物理工学専攻	19 (2)	18 (2)	()	()	()	()	1 (0)	18 (2)	()	17 (2)	1 (0)	()	6 (0)	12 (2)	100.0% (100.0%)
	材料工学専攻	216 (18)	203 (15)	8 (2)	()	()	()	5 (1)	203 (15)	0 (0)	198 (14)	4 (1)	1 (0)	23 (1)	180 (14)	100.0% (100.0%)
工学部	システム工学専攻	10 (0)	9 (0)	()	()	()	()	1 (0)	9 (0)	()	5 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (0)	6 (0)	100.0% (0.0%)
	システム工学専攻	6 (0)	6 (0)	()	()	()	()	()	6 (0)	()	2 (0)	2 (0)	()	3 (0)	3 (0)	100.0% (—)
工学部	資源循環工学専攻	16 (0)	15 (0)	0 (0)	()	()	()	1 (0)	15 (0)	0 (0)	7 (0)	3 (0)	5 (0)	6 (0)	9 (0)	100.0% (—)
	共生環境工学専攻	18 (3)	16 (3)	1 (0)	()	()	()	1 (0)	14 (2)	2 (1)	14 (2)	2 (0)	()	1 (0)	13 (2)	87.5% (66.7%)
生物資源学部	生物資源学専攻	29 (7)	27 (2)	0 (0)	()	()	()	26 (6)	1 (1)	24 (6)	2 (0)	()	()	3 (1)	23 (5)	96.3% (85.7%)
	生物資源学専攻	33 (25)	47 (20)	4 (3)	()	()	()	2 (4)	18 (3)	2 (3)	34 (14)	9 (3)	1 (1)	9 (3)	35 (15)	93.0% (90.0%)
生物資源学部	生物資源学専攻	100 (35)	90 (30)	7 (3)	()	()	()	2 (2)	84 (26)	6 (4)	72 (22)	11 (3)	1 (1)	0 (0)	71 (22)	93.3% (86.7%)
	生物資源学専攻	2 (0)	()	()	()	()	()	2 (0)	()	()	()	()	()	()	()	— (0.0%)
生物資源学部	生物資源学専攻	1 (0)	1 (0)	()	()	()	()	1 (0)	()	()	()	1 (0)	()	1 (0)	()	100.0% (—)
	生物資源学専攻	1 (0)	1 (0)	()	()	()	()	1 (0)	()	()	1 (0)	()	()	1 (0)	()	100.0% (—)
生物資源学部	共生環境学専攻	4 (1)	4 (1)	()	()	()	()	4 (1)	()	()	3 (1)	()	()	1 (0)	3 (1)	100.0% (0.0%)
	共生環境学専攻	6 (2)	5 (1)	()	()	()	()	1 (1)	4 (0)	1 (1)	2 (0)	1 (0)	()	2 (0)	2 (0)	80.0% (0.0%)
生物資源学部	生命学専攻	15 (3)	12 (2)	0 (0)	()	()	()	3 (1)	11 (1)	1 (1)	7 (1)	2 (0)	()	5 (0)	6 (1)	91.7% (50.0%)
	合計	475 (122)	430 (105)	27 (10)	()	()	()	18 (7)	419 (98)	11 (7)	348 (72)	26 (9)	44 (16)	117 (40)	302 (58)	97.4% (93.3%)

学部	学科等	卒業生			卒業者の内訳			就職希望者の内訳			就職者の就職先内訳					就職率B/A%
		就職希望者(A)	進学者	卒業者	臨床研修医	その他	就職者(B)	未定者	企業	官公庁	教員	その他	県内	県外	就職先	
人文学部	文化学科	114 (89)	97 (76)	8 (5)	()	()	9 (8)	86 (67)	11 (9)	70 (55)	9 (5)	7 (7)	37 (30)	49 (37)	88.7%	(88.2%)
	哲学科	194 (103)	169 (93)	11 (6)	()	()	14 (4)	167 (91)	2 (2)	126 (69)	37 (19)	4 (3)	62 (44)	105 (47)	98.8%	(97.8%)
	計	308 (192)	266 (169)	19 (11)	0 (0)	23 (12)	253 (158)	13 (11)	196 (124)	46 (24)	46 (24)	11 (10)	99 (74)	154 (84)	95.1%	(93.5%)
	学校教育実践養成課程	170 (100)	144 (92)	15 (3)	()	()	11 (5)	142 (91)	2 (1)	21 (16)	9 (3)	11 (12)	84 (51)	58 (40)	98.6%	(98.9%)
	情報教育課程	22 (7)	20 (7)	()	()	()	2 (0)	17 (6)	3 (1)	8 (3)	2 (1)	2 (2)	3 (3)	9 (3)	85.0%	(85.7%)
教育学部	生涯教育課程	17 (9)	16 (9)	1 (0)	()	()	16 (9)	()	6 (5)	5 (2)	5 (2)	()	6 (3)	10 (6)	100.0%	(100.0%)
	人間発達科学課程	26 (22)	19 (17)	6 (4)	()	()	1 (1)	18 (16)	1 (1)	8 (8)	1 (1)	9 (7)	8 (6)	10 (10)	94.7%	(94.1%)
	計	235 (138)	199 (125)	22 (7)	0 (0)	14 (6)	193 (122)	6 (3)	43 (32)	17 (7)	133 (83)	0 (0)	106 (63)	87 (59)	97.0%	(97.6%)
医学部	医学科	94 (18)	()	()	()	()	89 (17)	5 (1)	()	()	()	()	()	()	()	()
	看護学科	89 (85)	84 (80)	()	()	()	5 (5)	83 (80)	1 (0)	81 (78)	1 (1)	1 (1)	36 (35)	47 (45)	98.8%	(100.0%)
	計	183 (103)	84 (80)	0 (0)	89 (17)	10 (6)	83 (80)	1 (0)	81 (78)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	36 (35)	47 (45)	98.8%	(100.0%)
工学部	機械工学科	87 (1)	19 (0)	68 (1)	()	()	()	19 (0)	()	18 (0)	()	()	3 (0)	16 (0)	()	()
	電気工学科	99 (3)	45 (1)	53 (2)	()	()	1 (0)	45 (1)	()	42 (1)	3 (0)	()	13 (0)	32 (1)	100.0%	(100.0%)
	分子理工学科	98 (21)	31 (12)	64 (8)	()	()	3 (1)	30 (12)	1 (0)	25 (11)	4 (0)	1 (1)	6 (1)	24 (1)	96.8%	(100.0%)
	建築学科	46 (17)	18 (8)	25 (8)	()	()	3 (1)	18 (8)	()	16 (8)	2 (0)	()	3 (2)	15 (6)	100.0%	(100.0%)
	情報工学科	57 (9)	32 (6)	24 (3)	()	()	1 (0)	32 (6)	()	30 (6)	2 (0)	()	6 (3)	26 (3)	100.0%	(100.0%)
	物理工学科	38 (5)	14 (3)	20 (2)	()	()	4 (0)	13 (3)	1 (0)	12 (3)	1 (0)	()	2 (1)	11 (1)	92.9%	(100.0%)
	計	425 (56)	159 (30)	234 (24)	0 (0)	12 (2)	157 (30)	2 (2)	143 (29)	13 (0)	1 (1)	0 (0)	33 (8)	124 (22)	98.7%	(100.0%)
生物資源学部	資源環境学系	59 (36)	35 (23)	23 (11)	()	()	0 (0)	35 (23)	2 (2)	24 (18)	7 (4)	1 (1)	1 (0)	21 (18)	94.3%	(92.0%)
	共生環境学系	82 (29)	39 (21)	31 (8)	()	()	2 (0)	56 (19)	3 (2)	31 (9)	24 (10)	()	1 (0)	15 (7)	94.9%	(90.5%)
	生物国土学系	97 (44)	45 (26)	48 (16)	()	()	4 (2)	41 (23)	4 (3)	30 (16)	10 (6)	1 (1)	14 (9)	27 (14)	91.1%	(88.5%)
	計	248 (109)	139 (72)	102 (35)	0 (0)	7 (2)	130 (65)	9 (7)	85 (43)	41 (20)	2 (2)	2 (2)	2 (0)	41 (21)	93.5%	(90.3%)
	合計	1399 (598)	847 (476)	397 (77)	89 (17)	66 (28)	816 (455)	31 (21)	548 (306)	118 (52)	148 (97)	2 (0)	315 (201)	501 (254)	96.3%	(95.6%)

特別支援教育特別専攻科

大学院	専攻等	修了者		修了者の内訳			就職希望者の内訳			就職者の就職先内訳					就職率B/A%	
		修了者	就職希望者(A)	進学者	その他	就職者(B)	未定者	企業	官公庁	教員	その他	県内	県外			
研究科	地域文化論専攻	9 (6)	5 (3)	1 (1)		3 (2)	4 (3)	1 (0)	3 (2)		1 (1)	2 (2)	2 (1)	80.0%	(100.0%)	
	社会科学専攻	8 (2)	6 (0)	1 (1)		1 (1)	5 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)		4 (0)	1 (0)	83.3%	()	
	計	17 (8)	11 (3)	2 (2)		4 (3)	9 (3)	2 (0)	5 (2)	2 (0)	1 (0)	6 (2)	3 (1)	81.8%	(100.0%)	
	学校教育専攻	4 (3)	3 (2)			1 (1)	3 (2)			1 (0)	2 (2)	2 (2)	1 (0)	100.0%	(100.0%)	
	特別支援教育専攻	1 (0)	1 (0)										1 (0)		100.0%	()
教育学	教科教育専攻	12 (6)	10 (4)			2 (2)	8 (3)	2 (1)	3 (2)	1 (1)	4 (0)	5 (1)	3 (2)	80.0%	(75.0%)	
	計	17 (9)	14 (6)	0 (0)		3 (3)	12 (5)	2 (1)	3 (2)	2 (1)	7 (2)	8 (3)	4 (2)	85.7%	(83.3%)	
	医学専攻	13 (8)	11 (8)	2 (0)			10 (7)	1 (0)	10 (7)			9 (8)	4 (3)	92.9%	(91.7%)	
	看護学専攻	14 (12)	14 (12)				13 (11)	1 (1)	9 (7)	2 (2)	2 (2)	9 (8)	4 (3)	92.9%	(91.7%)	
	博士課程(生命医科学)	29 (7)	29 (7)				29 (7)		24 (5)	5 (2)		24 (4)	5 (3)	100.0%	(100.0%)	
医学系	機械工学専攻	56 (27)	54 (27)	2 (0)		0 (0)	52 (25)	2 (2)	43 (19)	2 (2)	7 (4)	0 (0)	41 (17)	11 (8)	96.3%	(92.6%)
	電気電子工学専攻	55 (1)	55 (1)				55 (1)		55 (1)			5 (0)	50 (1)	100.0%	(100.0%)	
	分子材料工学専攻	50 (4)	49 (4)	1 (0)			49 (4)		48 (4)	1 (0)		2 (0)	47 (4)	100.0%	(100.0%)	
	計	64 (16)	61 (13)	1 (1)		2 (2)	61 (13)		61 (13)			7 (2)	54 (11)	100.0%	(100.0%)	
	情報工学専攻	21 (9)	20 (8)			1 (0)	20 (8)		19 (5)	4 (3)		2 (1)	16 (7)	100.0%	(100.0%)	
工学	情報工学専攻	27 (2)	24 (1)	2 (1)		1 (0)	24 (1)		23 (1)	1 (0)		3 (0)	21 (1)	100.0%	(100.0%)	
	物理工学専攻	15 (0)	15 (0)				15 (0)		15 (0)			1 (0)	14 (0)	100.0%	()	
	計	232 (32)	224 (27)	4 (2)		4 (3)	224 (27)	0 (0)	217 (24)	6 (3)	0 (0)	1 (0)	20 (3)	204 (24)	100.0%	(100.0%)
	材料科学専攻	7 (1)	7 (1)			2 (0)	3 (1)		3 (1)			3 (1)	4 (0)	100.0%	(100.0%)	
	システム工学専攻	12 (2)	10 (2)	0 (0)		2 (0)	10 (2)	0 (0)	8 (1)	0 (0)	2 (1)	3 (1)	4 (0)	100.0%	(100.0%)	
生物資源学	資源環境工学専攻	23 (8)	16 (5)	2 (0)		5 (3)	14 (3)	2 (2)	13 (3)	1 (0)		2 (0)	12 (3)	87.5%	(60.0%)	
	共生環境工学専攻	34 (4)	27 (2)	7 (2)			24 (1)	3 (1)	21 (0)	3 (1)		2 (0)	22 (1)	88.9%	(50.0%)	
	生物圏生命科学専攻	49 (11)	45 (10)	4 (1)		4 (0)	10 (5)	0 (0)	29 (9)	9 (1)	2 (0)	14 (3)	26 (7)	88.9%	(100.0%)	
	計	106 (23)	88 (17)	13 (3)		5 (3)	78 (14)	10 (3)	63 (12)	12 (2)	3 (0)	18 (3)	60 (11)	88.6%	(82.4%)	
	生物圏保全科学専攻	1 (0)	1 (0)				1 (0)		1 (0)			1 (0)		100.0%	()	
地域イノベーション学	資源環境工学専攻	9 (6)	5 (2)			4 (4)	5 (2)		3 (1)		1 (1)	3 (1)	2 (1)	100.0%	(100.0%)	
	共生環境工学専攻	4 (1)	3 (0)			1 (1)	3 (0)		2 (0)	1 (0)		1 (0)	2 (0)	100.0%	()	
	生命圏生命科学専攻	3 (0)	3 (0)				3 (0)		1 (0)	2 (0)		1 (0)	2 (0)	100.0%	()	
	計	17 (7)	12 (2)	0 (0)		5 (5)	12 (2)	0 (0)	7 (1)	3 (0)	1 (1)	6 (1)	6 (1)	100.0%	(100.0%)	
	地域イノベーション学専攻	12 (2)	10 (1)	2 (1)			10 (1)		10 (1)			5 (0)	5 (1)	100.0%	(100.0%)	
	計	12 (2)	10 (1)	2 (1)		0 (0)	10 (1)	0 (0)	10 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	5 (1)	100.0%	(100.0%)	
	合計	469 (110)	423 (85)	23 (8)		23 (17)	407 (79)	16 (6)	356 (62)	27 (8)	22 (9)	2 (0)	107 (30)	300 (49)	96.2%	(92.9%)

平成23年度就職状況
学部等

学部	学科等	卒業生		卒業者の内訳			就職希望者の内訳			就職者の就職先内訳				就職先		就職率B/A%
		就職希望者(A)	進学者	臨床研修医	その他	就職者(B)	未定者	企業	官公庁	教員	その他	県内	県外			
人文学部	文化学科	110 (97)	92 (82)	9 (6)	()	9 (9)	85 (76)	7 (6)	35 (51)	22 (20)	8 (5)	29 (26)	56 (50)	92.4% (92.7%)		
	法律経済学科	183 (87)	164 (79)	5 (1)	()	14 (7)	159 (77)	5 (2)	111 (64)	43 (12)	2 (1)	52 (28)	107 (49)	97.0% (97.5%)		
	計	293 (184)	256 (161)	14 (7)	0 (0)	23 (16)	244 (153)	12 (8)	166 (115)	65 (32)	10 (6)	81 (54)	163 (99)	95.3% (95.6%)		
	学校教育教員養成課程	150 (85)	126 (71)	15 (9)	()	9 (5)	124 (70)	2 (1)	15 (11)	5 (3)	103 (55)	1 (1)	80 (42)	98.6% (98.6%)		
	学校教育課程	23 (13)	21 (12)	1 (1)	()	1 (0)	21 (12)	()	9 (7)	2 (1)	10 (4)	()	10 (5)	100.0% (100.0%)		
教育学部	生涯教育課程	16 (9)	12 (8)	3 (1)	()	1 (0)	12 (8)	()	7 (6)	1 (0)	4 (2)	6 (4)	100.0% (100.0%)			
	生涯教育課程	40 (36)	19 (17)	16 (14)	()	5 (5)	18 (16)	1 (1)	8 (8)	2 (2)	6 (4)	7 (5)	11 (11)	94.7% (94.1%)		
	人間発達科学課程	229 (143)	178 (108)	35 (25)	0 (0)	16 (10)	175 (106)	3 (2)	39 (32)	10 (6)	123 (65)	3 (3)	103 (56)	98.3% (98.1%)		
	計	100 (19)	()	()	95 (16)	5 (3)	()	()	()	71 (66)	8 (8)	()	32 (30)	47 (44)	100.0% (100.0%)	
医学部	看護学科	86 (81)	79 (74)	()	()	7 (7)	79 (74)	()	71 (66)	8 (8)	0 (0)	32 (30)	47 (44)	100.0% (100.0%)		
	計	186 (100)	79 (74)	0 (0)	95 (16)	12 (10)	79 (74)	0 (0)	71 (66)	8 (8)	0 (0)	32 (30)	47 (44)	100.0% (100.0%)		
工学部	機械工学科	99 (3)	37 (2)	62 (1)	()	()	37 (2)	()	37 (2)	()	()	()	33 (1)	100.0% (100.0%)		
	電気電子工学科	88 (2)	33 (2)	55 (0)	()	()	33 (2)	()	33 (2)	()	()	5 (0)	28 (2)	100.0% (100.0%)		
	分子材料工学科	97 (15)	22 (6)	74 (9)	()	1 (0)	22 (6)	()	17 (5)	3 (1)	2 (0)	5 (1)	17 (5)	100.0% (100.0%)		
	建築学科	49 (10)	21 (7)	27 (3)	()	1 (0)	21 (7)	()	18 (5)	3 (2)	()	3 (2)	18 (5)	100.0% (100.0%)		
	情報工学科	52 (3)	18 (1)	31 (1)	()	3 (1)	17 (1)	1 (0)	17 (1)	()	()	4 (0)	13 (1)	94.4% (100.0%)		
	物理工学科	46 (2)	20 (0)	24 (2)	()	2 (0)	19 (0)	1 (0)	16 (0)	2 (0)	1 (0)	3 (0)	16 (0)	95.0% ()		
	計	431 (35)	151 (18)	273 (16)	0 (0)	7 (1)	149 (18)	2 (0)	138 (15)	8 (3)	3 (0)	24 (4)	125 (14)	98.7% (100.0%)		
生物資源学部	資源循環学科	64 (29)	42 (24)	20 (5)	()	2 (0)	39 (22)	3 (2)	34 (21)	4 (1)	1 (0)	12 (7)	27 (15)	92.9% (91.7%)		
	防災環境学科	93 (26)	60 (19)	28 (3)	()	5 (4)	54 (18)	6 (1)	32 (13)	20 (4)	2 (1)	13 (3)	41 (15)	90.0% (94.7%)		
	共生環境学科	104 (43)	53 (28)	39 (11)	()	12 (4)	51 (28)	2 (0)	41 (23)	8 (5)	2 (0)	12 (7)	39 (21)	96.2% (100.0%)		
	生物園芸生命科学	261 (98)	155 (71)	87 (19)	0 (0)	19 (8)	144 (68)	11 (3)	107 (57)	32 (10)	5 (1)	37 (17)	107 (51)	92.9% (95.8%)		
	計	1400 (560)	819 (432)	409 (67)	95 (16)	77 (45)	791 (419)	28 (13)	521 (285)	123 (59)	141 (72)	6 (3)	277 (161)	514 (258)	96.6% (97.0%)	
特別支援教育特別専攻科																
		13 (10)	13 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (10)	0 (0)	4 (3)	100.0% (100.0%)		

大学院

専攻等	修了者	就職希望者(A)	修了者の内訳		就職希望者の内訳			就職者の就職先内訳				就職率B/A%			
			進学者	その他	就職者(B)	未定者	企業	官公庁	教員	その他	県内		県外		
研究科	地域文化論専攻	10 (7)	7 (5)	2 (1)		1 (1)	5 (3)	2 (2)	2 (1)	3 (2)	()	()	5 (3)	71.4% (60.0%)	
	社会科学専攻	8 (3)	7 (2)	()		1 (1)	7 (2)	()	3 (1)	2 (1)	2 (0)	4 (2)	3 (0)	100.0% (100.0%)	
	計	18 (10)	14 (7)	2 (1)		2 (2)	12 (5)	2 (2)	5 (2)	5 (3)	()	8 (3)	8 (3)	85.7% (71.4%)	
	学校教育専攻	7 (5)	4 (2)	1 (1)		2 (2)	4 (2)	()	2 (1)	2 (1)	()	3 (2)	1 (0)	100.0% (100.0%)	
	特別支援教育専攻	2 (0)	2 (0)	()		2 (0)	2 (0)	()	1 (0)	()	()	2 (0)	()	100.0% ()	
	教科教育専攻	23 (14)	20 (11)	1 (1)		2 (2)	17 (9)	3 (2)	3 (3)	()	14 (6)	13 (5)	4 (4)	85.0% (81.8%)	
	計	32 (19)	26 (13)	2 (2)		4 (4)	23 (11)	3 (2)	6 (4)	0 (0)	17 (7)	0 (0)	18 (7)	5 (4)	88.5% (84.6%)
	医学科学専攻	10 (2)	8 (2)	2 (0)		7 (2)	7 (2)	()	7 (2)	()	()	5 (1)	2 (1)	87.5% (100.0%)	
	看護学専攻	15 (14)	14 (13)	()		1 (1)	14 (13)	()	10 (9)	1 (1)	3 (3)	9 (8)	5 (5)	100.0% (100.0%)	
	博士課程(生命医科学)	53 (11)	52 (10)	()		1 (1)	52 (10)	()	43 (8)	7 (2)	2 (0)	45 (10)	7 (0)	100.0% (100.0%)	
工学	機械工学専攻	78 (27)	74 (25)	2 (0)		2 (2)	73 (25)	1 (0)	60 (19)	1 (1)	10 (5)	2 (0)	59 (19)	14 (6)	98.6% (100.0%)
	電気電子工学専攻	49 (0)	49 (0)	()		()	49 (0)	()	49 (0)	()	()	5 (0)	44 (0)	100.0% ()	
	電気電子工学専攻	50 (0)	50 (0)	()		()	50 (0)	()	50 (0)	()	()	1 (0)	49 (0)	100.0% ()	
	分子素材工学専攻	69 (8)	67 (8)	2 (0)		()	67 (8)	()	67 (8)	()	()	9 (3)	58 (5)	100.0% (100.0%)	
	建築学専攻	24 (6)	23 (6)	1 (0)		()	21 (5)	2 (1)	18 (4)	3 (1)	()	5 (1)	16 (4)	91.3% (83.3%)	
	情報工学専攻	27 (1)	27 (1)	()		()	26 (0)	1 (1)	26 (0)	()	()	26 (0)	()	96.3% (0.0%)	
	物理工学専攻	20 (2)	19 (1)	1 (1)		()	18 (1)	1 (0)	18 (1)	()	()	3 (0)	15 (1)	94.7% (100.0%)	
	計	239 (17)	235 (16)	4 (1)		0 (0)	231 (14)	4 (2)	228 (13)	3 (1)	0 (0)	23 (4)	208 (10)	98.3% (87.5%)	
	材料科学専攻	8 (3)	8 (3)	()		()	8 (3)	()	7 (1)	()	1 (2)	3 (1)	5 (2)	100.0% (100.0%)	
	システム工学専攻	6 (0)	6 (0)	()		()	6 (0)	()	2 (0)	()	4 (0)	1 (0)	5 (0)	100.0% ()	
生物資源学	資源循環学専攻	14 (3)	14 (3)	0 (0)		0 (0)	14 (3)	0 (0)	9 (1)	0 (0)	5 (2)	4 (1)	10 (2)	100.0% (100.0%)	
	計	12 (6)	10 (5)	2 (1)		()	7 (2)	3 (3)	7 (2)	()	()	2 (2)	5 (0)	70.0% (40.0%)	
	共生環境学専攻	40 (7)	32 (3)	3 (3)		5 (1)	31 (3)	3 (0)	26 (2)	4 (1)	1 (0)	3 (2)	28 (2)	96.9% (100.0%)	
	生物園生命科学専攻	54 (19)	45 (15)	4 (1)		5 (3)	42 (13)	3 (2)	39 (11)	2 (2)	1 (0)	10 (3)	32 (10)	93.3% (86.7%)	
	計	106 (32)	87 (23)	9 (5)		10 (4)	80 (18)	7 (5)	72 (15)	6 (3)	2 (0)	15 (6)	65 (12)	92.0% (78.3%)	
	資源循環学専攻	5 (2)	()	()		5 (2)	()	()	()	()	()	()	()	()	
	共生環境学専攻	4 (0)	2 (0)	()		2 (0)	2 (0)	()	2 (0)	()	()	1 (0)	1 (0)	100.0% ()	
	共生環境学専攻	2 (2)	()	()		2 (2)	()	()	()	()	()	()	()	()	
	生命園生命科学専攻	11 (4)	2 (0)	0 (0)		9 (4)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	100.0% ()	
	計	12 (4)	11 (3)	()		1 (1)	11 (3)	()	9 (2)	2 (1)	()	2 (2)	9 (1)	100.0% (100.0%)	
地域イノベーション学	地域イノベーション学専攻(博士前期)	12 (4)	11 (3)	0 (0)		1 (1)	11 (3)	0 (0)	9 (2)	2 (1)	()	2 (2)	9 (1)	100.0% (100.0%)	
	計	4 (0)	4 (0)	()		()	4 (0)	()	4 (0)	()	()	4 (0)	()	100.0% ()	
	地域イノベーション学専攻(博士後期)	4 (0)	4 (0)	0 (0)		0 (0)	4 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	100.0% ()	
	計	514 (116)	467 (90)	19 (9)		28 (17)	450 (79)	17 (11)	395 (56)	15 (8)	36 (15)	4 (0)	320 (38)	96.4% (87.8%)	

※ ()は内数で女子を示す。

目次

1. 今年度のSAの取り組みを振り返って 川島一晃

SA活動報告 -SA体験記-

2. 人文学部3年 M.S.(学習支援実践)
3. 人文学部3年 M.S.(学習支援実践・広報誌編集実践)
4. 人文学部2年 A.K.(学生生活支援実践)
5. 人文学部3年 C.T.(美し国おこし三重実践)
6. 人文学部4年 R.S.(美し国おこし三重実践)
7. 人文学部4年 M.T.(留学生支援実践)

8. おわりに 学生総合支援センター長 中川 正

付録

- ・キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド2011版
- ・キャリア・ピアサポーター宣言

今年度のSAの取り組みを振り返って -他者を支援すること、自身が支えられるということ-

共通教育センター 特任講師 川島 一晃

「先輩が後輩の面倒をみる」「困っている仲間を少し気にかける」といった仲間が仲間を支援するという営みは、極めて自然な相互支援として元来展開してきたものである。しかし、学生支援の充実を目指す全国の大学において、昨今ピアサポート(peer support)という名称で学生支援施策として展開している。当たり前であった学生相互の関係性を今日の大学では、改めて確認し、場合によっては構築する支援が必要とされていると認識せざるを得ない。逆に言えば、学生たちは各々が孤立する傾向にあり、相互のつながりや支援が希薄化する中、大学生活における不適応の多発や悩みを独りで抱えることでより深刻化するケース、年々増加傾向にある学生相談件数は彼らの声にならぬ悲痛なメッセージであるのかもしれない。筆者もキャンパスや教室、相談室で出会う学生の傍らに、そっと微笑む仲間の姿があれば、どれだけ眼前の学生の日常が輝くことであろうかと思うこともしばしばである。

全国的に展開するピアサポート活動の多くは、「学生が同じ学生の立場で悩みを一緒に考える」といった万相談所として展開している事例が多く散見される。本学では、仲間が仲間を支援するというこの相互支援の取り組みの本質は、“大学という一つの社会の中で様々な体験することは自身のキャリア(生き方)に寄与する”という観点から「キャリア・ピアサポーター」と銘打ち、学生個々人の切り口(その人らしいやり方)によって、仲間を支援することを推進している。そしてその際には、支援に関連する様々な知識・技能・構えを多様な講義群から選択し、一定の力量を保証するために資格教育プログラム(本報告書巻末参照)を作成し、初級資格、上級資格を設けている。このキャリア・ピアサポーター資格教育プログラムは、全国のピアサポート活動を展開する大学から極めて画期的であると評価を受け、現在注目されている仕組みでもある。

さて、このキャリア・ピアサポーター上級資格を取得した学生を活用する学生支援施策がSA(Student Assistant)の取り組みである。学生は上級資格を取得するまでに、学習支援(ファシリテーション)に関する実践的な講義(学習支援実践)や心理的支援に関する知識を学ぶ講義(こころのサポート)が必修であるため、一定の配慮やアプローチについてトレーニングを受けた段階で、教員とともに学びの支援者として講義に参加する。授業準備や配布物の配布補助ではなく、受講生のグループディスカッションへの参加を促進するファシリテーションや、学びの中身の充実をいかに支援するかという観点から、「教員でないSAだからこそできる学習支援」を目指している点に本学のキャリア教育、学生支援のオリジナリティがある。

本報告は、キャリアピアサポーター上級資格取得に至る学びを体験し、SAとして実際に授業の場で教員・受講生と関わったSA経験者の学生に、率直な体験を体験記という形で記載するよう求めたものである。以下Table1に平成23年度のSA採用者および活用講義一覧、Table2に学生への振り返りの質問項目を示す。

●Table1 平成23年度SAおよび活用講義一覧

	授業名	学部	学年
前期	学習支援実践	人文	3年
		人文	3年
後期	学生生活支援実践	人文	2年
	広報誌編集実践	人文	3年
	留学生支援実践	人文	4年
	美し国おこし三重実践	人文	4年
		人文	3年

●Table2 SA体験記 振り返り質問項目

-
- 質問1：SAを体験しての学び（SAの取り組みの中で何を学び、何を発見しましたか？）
- 質問2：SAを体験して「変化」したこと（SAの体験を通して自分の中で生じた変化についてできるだけ具体的に教えてください）
- 質問3：SAの体験はあなたの今後（キャリア・仕事・学生生活・将来のイメージ）にどのように影響しそうですか？
- 質問4：SAをこれからする功へのエール（SAとして工夫した点、心がけるべき点など後輩へのメッセージをお願いします）
- 質問5：SAとして活動してみて、SAの仕事内容について感じたこと、今後のSA活用に向けて提案することなど自由な意見を教えてください。
-

以下、各質問項目別に少しでも考察してみたい。

[SAとしての講義における体験について]

彼らの振り返りを読むと、受講生と同じ学生である視点と同時に、講義における学びの進行状況などを少しメタな視点から見つめ、どのように支援介入しようかと思案する点が見て取れる。そして、彼ら自身がどのように関わるかを工夫し、実際にどのような反応が得られたかを自己反芻する中で、プロジェクトの進行や他者との協調、そして後輩である受講生との関係の構築について一定のスキルや介入の自信を獲得したと読み取れる。また他者の成長や変化について客観的に見守る姿勢も伺うことができる。

[SAを通じた変化について]

講義における情報の受け手、送り手双方の視点の獲得や教員が学生に何を伝えたいのか、課題の意図といった教員側の機微をどのように受講生に届けるかに関する試行錯誤の重要性への気づきが見てとれる。またサポートしようとしている受講生との関係性の変化を振り返る中で、コミュニケーションや親密化のプロセスへの気づきも示唆された。多様な個性を持つ支援対象（受講生）へ単一的でない多様なアプローチを実践した結果から、個の中にあるニーズや方向性を活かすというサポートの本質的な意味を振り返る学生も見られた。これらの諸点は、他者との協調的作業において不可欠な要素であると同時に、社会人としてふまえるべき重要な基礎力でもあると言える。今回SA体験記で振り返ったように学生は、同じ学生を支援するプロセスの中でこのような自らの成長が育まれたことに留意する必要がある。

[SAを体験したことによる今後への影響について]

同僚、上司との関係性における反映や、自身の方向性の再確認に肯定的な影響が示唆されるコメントが多く見て取れた。同時に今後SAとして活動する後輩へのメッセージは、これら肯定的な可能性が根拠となって彼らの生き生きとした記述につながっていると考察できよう。

[今後のSAの活用について]

SA同士の交流の場の創出、SAに必要な技術研修の充実、受講生とSAの交流の機会の保証、教員とのミーティングの充実、SAに対するアンケート調査の実施など、今回SAを経験した学生が提案した項目はどれも重要かつ不可欠な諸点であった。次年度以降の実施において充実させる必要を感じる。

これまで“他者を支援するということは、いつも他者に支援されることと表裏一体である”ということを臨床や教育の場で感じてきた。少なからずSAを体験した学生たちは、自身が支援に心を傾けた受講生と関わった自分自身の中に成長を見出し、その貴重な内的体験を言葉に紡いでくれたことで、今年度のSAの活用は概ね良好な実践であったと言ってよいであろう。それは彼らの体験の記述の中に、本学の教育目標である4つの力が反映され、着実に彼らの中でその芽を育み、他者との関わりの中で実践的に成長を遂げていると考えられるからである。

●SA体験報告書

氏名：M.S. 学年：3年

担当授業名：学習支援実践

SAとしての活動の役割(箇条書きで)

- ・前期「学習支援実践」にて、SAのSAとして活動
- ・自ら授業を進行する受講生を補助(昨年度の紹介、進行の助言・軌道修正等)
- ・2班に分担後はうち1班を担当し同様に補助
- ・発表会本番の補助(進行の確認、アクシデント対応、受講生激励等)

質問1：SAを体験しての学び(SAの取り組みの中で何を学び、何を発見しましたか?)

先生方の思いに近づくことで、学生に最大限の経験をさせるためにいかに準備が重要であるかを学びました。

質問2：SAを体験して「変化」したこと(SAの体験を通してご自分の中で生じた変化についてできるだけ具体的に教えてください)

組織で活動するための打ち合わせそのものにも計画を立てるようになりました。

また、個々の考えがあるので、相手の意見ひとつひとつについてじっくり話を聞く意識を持てるようになりました。

質問3：SAの体験はあなたの今後(キャリア・仕事・学生生活・将来のイメージ)にどのように影響しそうですか?

上司に対しても後輩に対しても、考えを聞いていく姿勢が持てると思います。

質問4：SAをこれからする後輩へのエール(SAとして工夫した点、心がけるべき点など後輩へのメッセージをお願いします)

SAというポジションをどこに置くかが一番の悩みどころです。先生、学生、SA同士、それぞれとのバランスをその都度考えて、自分がやりたいことをやるのがお互いにとって最もよいのだと思います。

質問5：SAとして活動してみて、SAの仕事内容(これは大変だな、もう少しこんなことをしてみたいな etc)について感じたこと、今後のSA活用に向けて提案することなど自由な意見を教えてください。

SAが学生と接する比重がもっと多くなってもいいと思いました。

また、発表会の時のアクシデント対応を全て私がやってしまったのはもったいなかったかと思いました。もっと学生自身に対応させるべきで、そのためのリスク管理の体制を作らせるべきでした。しかし、正直、私が本番中終始動き回ってれば何かおかしいと学生側から気づいてもらいたかったという不満もあり、そのためにもSA-受講生間、そして受講生同士でさらに仲を深めておく必要があったと思います。

●SA体験報告書

氏名：M.S. 学年：3年

担当授業名：学習支援実践、広報誌編集実践

SAとしての活動の役割(箇条書きで)

- ・議事録をとる
- ・受講経験を活かしたアドバイスをする

質問1：SAを体験しての学び(SAの取り組みの中で何を学び、何を発見しましたか?)

受講していたときも授業の理解度が深まった気がします。しかしSAは授業を受けているわけではないので、受講生が主体的に取り組む中に入ってアドバイスするのが難しいと感じました。自分の意見を言えればいいというわけではないので、受講生の視野を広げてあげられるようなアドバイスの仕方を考えていく必要があると思いました。まずは話を聞いてあげられるように、自然に声かけをして信頼できる先輩になることが大切だとも思いました。

気づいたこととしては、実践的なキャリア科目は学ぶことが多いので一年生で一般教養の単位が少ない人文学部以外の学生が少ないことが残念だと思いました。また学年も1年中心でありつつ、2～4年が加われば、もっと1年時に学ぶことが多いのにと感じました。とくに『広報誌編集実践』では三重大大学についての広報誌をつくるので、1年生だけでは大学の知識がまだ浅いので在學生にとっては内容が物足りなくなるのではないかと考えていました。

質問2：SAを体験して「変化」したこと(SAの体験を通してご自分の中で生じた変化についてできるだけ具体的に教えてください)

担当した授業への思いに変化がありました。教員の方とお話することで授業の構成や意図などを知ることができて、何気なく受けていた授業が先生方によって工夫されているのだとわかり、もっと真剣に取り組むべきだったと少し後悔していました。とくに4SUSです。受講の必要性を感じない1年生が多いのですが、私自身、就職活動をしながらか4SUSは、大学生として社会に出る前につけたい力を備えるために本当に必要であったと感じています。SAをやったからこそ気づけたことですが、受講生に対してもっと授業の良さを伝える必要があると感じました。

質問3：SAの体験はあなたの今後(キャリア・仕事・学生生活・将来のイメージ)にどのように影響しそうですか?

授業を受ける際に、授業の意図を考えるようになると思います。また相手の立場にたって物事を考えたり、アドバイスをしたりしてきたことは私の中で、コミュニケーション力を鍛える良い経験になったので就職活動や仕事で活かしていけたらと思っています。そしてSAをすることで多くの学生や教員の方と出会うことができたので学生生活においても、人とのつながりが広がり、声をかけあう人が増えたという嬉しい影響がありました。

質問4：SAをこれからする後輩へのエール(SAとして工夫した点、心がけるべき点など後輩へのメッセージをお願いします)

まだまだSAの活動は普及していませんが、積極的に取り組んでほしいです。多くの学生や教員、職員と関わるきっかけになります。また私のように自分が受講していた授業の良さが改めて実感できます!

私は、まだSAとして十分な働きはできていませんが、サポートする立場として、やはり最初はその教室に馴染むことが必要だと思います。信頼されることで学生のほうから声をかけてくれることも増えるので、学生という立場を活かしてどんどん声かけをして一緒に課題に向き合うことが大切だと思います。

質問5：SAとして活動してみて、SAの仕事内容(これは大変だな、もう少しこんなことをしてみたいな etc)について感じたこと、今後のSA活用に向けて提案することなど自由な意見を教えてください。

正直、少し役割がわかりづらいです。(私が担当したのが、『学習支援実践』と『広報誌編集実践』だったので、他の授業のSAの方とは感じ方が違うかもしれません。)教室を巡回して声かけをしますが、とくに決まった仕事はなく学生自身でしっかりと進めることができれば、やることはないのかなと思います。自分で授業を見て改善点を見つけ、授業の進め方やmoodleの活用法などを提案していくなど行動して、授業にもっと深く関わるべきであったように思います。

●SA体験報告書

氏名：A.K. 学年：2年

担当授業名：学生生活支援実践

SAとしての活動の役割(箇条書きで)

・教員のサポート ・受講生のサポート ・教員と受講生の懸け橋

質問1：SAを体験しての学び(SAの取り組みの中で何を学び、何を発見しましたか?)

SAの体験を通して、コミュニケーションの重要性を学びました。SAというのは教員でもなく、受講生でもない。そのため、SAに対してどのように接すれば良いのか分からない受講生もいたように感じます。そのような受講生に対し、私自身もどのように接していけばよいのか悩んだことがあります。今一度SAという立場を見直し、地道にその受講生に対し歩み寄ることにしました。講義が進むにつれ、その受講生から話かけてくれるようになり、全講義を終えた時には「A.Kさんがいてくれて良かった、楽しかった。」と言ってくれました。その言葉を聞いた時に、SAのやりがいを非常に感じました。小さな気遣いなどコミュニケーションをとろうと努力することによって受講生から信頼を得ることができ、気軽に質問を受けるといった講義自体の雰囲気づくりにも繋がるのだと発見できたと思います。

質問2：SAを体験して「変化」したこと(SAの体験を通してご自分の中で生じた変化についてできるだけ具体的に教えてください)

講義の最初の頃は、上手くサポートを行うことができるのか不安であり、消極的な部分がありました。あるとき、留学生の受講生がなかなかグループ活動になじめておらず、どのようにサポートすべきか悩みました。しばらくの間はできるだけそのグループに関わり、留学生に話かけるよう心がけました。それから、そのグループに段々と一体感が生まれだし、講義後半ではみんなと楽しく活動していました。他のグループも同様、講義を終えていくうちにグループの絆は深まっていきました。私はその過程を身近で感じ、非常に嬉しく思い、私自身もより積極的に行動、コミュニケーションをとるようになりました。

受講生みんなの成長だけでなく、私自身の成長も感じることができ、非常に貴重な体験をすることができたと思います。

質問3：SAの体験はあなたの今後(キャリア・仕事・学生生活・将来のイメージ)にどのように影響しそうですか?

質問2でも述べたように、今後様々な環境においても、人と接することに関して積極的になれると思います。SAの経験を通して、非常にコミュニケーションの重要性を感じることができたのが大きいと思います。

また、私は1年生の時に学生生活支援実践の受講生であったので、受講生の気持ちを理解することができます。さらに、SAというのは、教員のサポートという役割もあるため、教員の気持ちも考え行動しなければなりません。そのため、相手の気持ちを考え行動することができるということも今後様々な点で活かすことができると思います。

質問4：SAをこれからする後輩へのエール(SAとして工夫した点、心がけるべき点など後輩へのメッセージをお願いします)

SAというのは、教員と受講生を繋ぐ大変な役割ではありますが、非常にやりがいのあるものです。

どのようなサポートをすべきか不安に思うかもしれませんが、あまり重荷に考えず、まずは自分自身楽しむことが大切です。SAという経験はなかなかできないものです。受講生とともに自分自身の成長も肌で感じることもできる貴重な経験なので、今後十分に活かすことができると思います。

質問5：SAとして活動してみて、SAの仕事内容(これは大変だな、もう少しこんなことをしてみたいな etc)について感じたこと、今後のSA活用に向けて提案することなど自由な意見を教えてください。

毎回とは言いませんが、SAと教員との振り返り時間などがもう少しあれば、さらに素晴らしい講義になると思います。講義内容だけでなく、講義の雰囲気はどのようであったか、各グループの進み具合はどのようであるかなどSAと教員が共有しあう時間も大事だと思います。

また、全講義を終えたときなどにSAに関してのアンケートのようなものを受講生にして頂けると今後の参考になるのではないかと思います。

●SA体験報告書

氏名：C.T. 学年：3年

担当授業名：美し国おこし・三重実践

SAとしての活動の役割(箇条書きで)

- ・学生の活動をそばで見守る。・話し合いに行き詰り、新しい視点が必要だと思った際に、アドバイスをする。
- ・慣れないグループワークの際に、方法を簡単に説明する。後は学生の方法に任ずる。
- ・時には、学生のアイデアや意見をまとめて発表をする。・授業準備や機材の片づけをする。・Moodleの学生の感想を読む。
- ・先生と県職員の方との話し合いに参加し、授業内容に考えを取り入れていただいた。・一人一人と話し、仲良くなった。

質問1：SAを体験しての学び(SAの取り組みの中で何を学び、何を発見しましたか?)

学んだことは、学生の熱い思いに耳を常に傾けくみ取ることが大切だということです。そして、その上で自分にできるサポートを瞬時に考え実践することが大切ということです。

発見したことは、学生の内に秘めた熱い思いです。また、学生が地域活動に取り組めば、地域の皆さんはとても喜んでくださるということも実感しました。継続的企画として、三重大学生と地域は今後もつながっていくことが実現したと感じ、とても嬉しいです。

質問2：SAを体験して「変化」したこと(SAの体験を通してご自分の中で生じた変化についてできるだけ具体的に教えてください)

これまでは、3年生として最前線で企画運営をしてきた立場だったため、サポートは「ミッションを達成するためにやる気のベクトルをこちらへ引っ張る、引き出す」ことを重視していました。しかし、SAを体験して、サポートするというのは学生の想いに耳を傾け、その想いを各々の形で実現するためにそっと後押しすることだと実感しました。というのも、内に秘めた想いを無理に引き出すというよりも休み時間での会話や授業中の活動の中での意見をくみ取って「さっき話していたこと、いいね、楽しそうだね。」とそっと投げかけ傾聴することで、学生は自然と自分自身で思考を整理しやってみようと思えるのだと実感したからです。具体的には、ある男子学生が授業内で出た地域活動をぜひ実践したいと言っていたのを聞いて、「あのイベントぜひやってみたいよね、楽しみだな」と話を持ちかけたところ、「いやもう絶対実現させます。話進めようと思います。」と活き活きと話してくれました。サポートとは、もともと学生が心の中で漠然と描いている想いを、対話を通じてそっと聞いてみる、方向性も実践の方法も自らのベクトルでやってみよう、と自信を持ってもらうことだと思いました。

それが学生自身のやる気と自信につながり、新たなステップへの躍動に結びつくのだと、SAを通じて思いました。

質問3：SAの体験はあなたの今後(キャリア・仕事・学生生活・将来のイメージ)にどのように影響しそうですか?

私は、「地元を元気にしたい」その想いを実現するために様々な活動に参加し、企画を実施してきました。SAを通じて同じ想いをたくさんの方々が持っていると感じ、今後は継続的企画として多くの学生が地域とつながり、元気に活動していくためのサポートをしていきたいと考えています。現在の就職活動も「地元を元気にしたい」という想いを実現できるところを重視しています。

例えば、銀行であれば、取引先の企業と三重大学を結び付け、学生が地元企業の方と対話できる機会を、イベントなどを通じて多く設けます。そうすることで、三重県の働く方々の情熱を肌で感じていただき、これから地域経済を支えていく学生にキャリアビジョンや使命感を後押ししたいです。また、鉄道やバスなどの公共交通機関であれば観光面で尽力します。各地に足を運んでもらい学生に三重の良さを実感してもらえよう、地域活動のPRを行い、アクセスの充実や旅行商品など「学生プラン」を実現します。

このように、SAを通じて、今後は働く上でも三重大学生の地域活動をサポートしたい、という夢を持つことができました。

質問4：SAをこれからする後輩へのエール(SAとして工夫した点、心がけるべき点など後輩へのメッセージをお願いします)

SAは、はじめは緊張し不安に感じることもあると思います。そんな時には、先生に相談してみてください。一緒に考えてくださるあたたかい方ばかりだと実感できると思います。そして、受講生と話してください。自分はSAという立場だけど、同じ学生です。一緒に授業を作り上げている仲間なのです。元気をもらえんと思います。私もそうでした。皆さんと一緒に楽しもう、その気持ちでいきましょう☆

質問5：SAとして活動してみて、SAの仕事内容(これは大変だな、もう少しこんなことをしてみたいな etc)について感じたこと、今後のSA活用に向けて提案することなど自由な意見を教えてください。

今回、授業の中で、話し合いの時には受講生と一緒に意見や感想を言い、またまとめた発表をする機会もいただきました。そうすることで、私自身もこの授業と一緒に作り上げているのだと実感でき、とてもやりがいを感じました。

今後も、SAの役割が学生の活動をそばで見守ることに留まらないよう、受講生と話し関わる機会を多く持てるよう、工夫をしていただければ嬉しいです。

●SA体験報告書

氏名：R.S. 学年：4年

担当授業名：美し国おこし三重実践

SAとしての活動の役割(箇条書きで)

- ・グループワークの補助
- ・ファシリテーター

質問1：SAを体験しての学び(SAの取り組みの中で何を学び、何を発見しましたか?)

こうしてみたら?と一つの例を挙げるだけで、そこから自発的に話を広げていく様子が見られました。どんな言葉を掛けると話を広げるきっかけになるのかを考えてから言葉を発しました。客観的に物事を見ることを学べました。

質問2：SAを体験して「変化」したこと(SAの体験を通してご自分の中で生じた変化についてできるだけ具体的に教えてください)

高学年になると下の学年の子と接する機会が減るので、この講義では下の学年の子とも接することができ、新鮮でした。

自分がグループワークに取り組む側であると主観が強くなりますが、SAという立場を経験して、作業の全体を見据えてどんなことをしなければいけないのかを考え、時間配分も踏まえ、物事に取り組むようになったと思います。

質問3：SAの体験はあなたの今後(キャリア・仕事・学生生活・将来のイメージ)にどのように影響しそうですか?

学生という立場を利用して、フレンドリーに接することもでき、教員側に近い立場から、どうアドバイスをすればいいのかを考えることができます。グループワークが多かったのでみんなが話しやすいような雰囲気作りをしようと努めました。この場づくりは社会に出たときにコミュニケーション力になると思いました。どんな言葉を掛けると作業が進むきっかけになるのかを考えることは、作業をするにあたって大切な要点を考えることなので、自分が作業をするときにも全体を通して要領よく進められるのではないかと思います。

質問4：SAをこれからする後輩へのエール(SAとして工夫した点、心がけるべき点など後輩へのメッセージをお願いします)

SAは作業途中に教員よりも聞きやすい存在のようで、よく質問されます。聞かれてかれではなく、そのグループはなぜ作業が滞っているのかを常に考え、どうアドバイスしようかなと考えながらグループ活動を見ているといいアドバイスができると思います。私もいいアドバイスができたかなという経験がまれにありました。

質問5：SAとして活動してみて、SAの仕事内容(これは大変だな、もう少しこんなことをしてみたいな etc)について感じたこと、今後のSA活用に向けて提案することなど自由な意見を教えてください。

今回の講義でファシリテーション研修を受けさせていただきましたが、すぐにできるものでなく、難しいものでした。SAとして、もっとファシリテーションの能力を身につけておきたいと思いました。ファシリテーションの場数を踏むことが大切だと思ったので、定期的に訓練する時間を設けると良いのではないかと思います。

●SA体験報告書

氏名：M.T. 学年：4年

担当授業名：留学生支援実践

SAとしての活動の役割(箇条書きで)

・グループディスカッションのサポート ・イベント運営の補佐 ・イベントの企画、進行

質問1：SAを体験しての学び(SAの取り組みの中で何を学び、何を発見しましたか?)

半年という短い期間でありましたが、学生一人一人の成長を実感しました。はじめは、留学生と関わること自体に勇気が必要とする学生がいたものの、共にイベントを企画していくうちに、気がつけば留学生と日本人学生の仲は深まっていきました。共同作業を通して、一体感が生まれ、国境を越えた絆を築けることを改めて実感しました。その上、留学生と友達になれることで、留学生に対する抵抗感が少なくなり、初めて出会った留学生に対しても積極的に声をかけられる日本人学生が増えたことにとても感心しました。

また、イベントを企画・運営し、反省・改善を繰り返して行くうちに受講生の中に企画者としての視点も培われ、一人一人が自分の役割を責任もって果たすことが出来るようになっていきました。自らやるべき仕事を探し、率先して動く姿がとても印象的でした。自分たちで考え、振り返り、実行していくことで生きた実践力が身に着くと感じました。

質問2：SAを体験して「変化」したこと(SAの体験を通してご自分の中で生じた変化についてできるだけ具体的に教えてください)

受講生としての視点と授業者としての視点から授業を捉えることが出来るようになりました。「この活動からどのような力を身につけさせたいのか」、「この課題から何を気づかせたいのか」等、授業者の意図を考えながら、一つ一つの活動を振り返ることで、授業には様々な工夫が込められていることに気づくことが出来ました。同じ学生である為に、受講生の現状や気持ちが分かりやすく、それを考慮した上でどのように目標地点に受講生を導くことができるのかとも考えさせられました。また、答えや目標地点を直接教えるのではなく、受講生自身が自ら考え、気づき、実践することで真の力が身に着くので、いかに間接的な支援が出来るかという視点も身につけることが出来ました。

質問3：SAの体験はあなたの今後(キャリア・仕事・学生生活・将来のイメージ)にどのように影響しそうですか?

今春から中学の教員になる私にとっては、SAとしての経験は非常に貴重なものでした。生徒の目線と教員の目線から授業を捉えていた経験から、私自身が教員になった際も、教員目線だけで授業を行わないように、生徒目線で授業を振り返り見直すように心掛けていきたいです。また、共同作業を通して生まれる一体感は、生徒同士の仲を深め、絆を強めることが出来る故に、中学の様々な行事においても、生徒自身が達成感を感じられるような間接的なサポートを行ってみたいです。

質問4：SAをこれからする後輩へのエール(SAとして工夫した点、心がけるべき点など後輩へのメッセージをお願いします)

受講生の視点と授業者の視点から授業を捉えることでたくさんの気づきが得られるはずです。様々な活動や課題について「なぜこのような活動をするのか」「この活動(課題)からどのような結果が得られるだろうか」と「なぜ?」「どうなる?」の精神で考え直してみるといろんな発見があります。同じ学生として、学生目線での気持ちも持ちつつ、授業者のねらいも意識することで、その間にうまれるギャップが見えてきて、声かけやサポートがしやすくなると思います。SAは、教員よりも近い存在であるために、受講者にとって気軽に頼れる存在です。困ったことや心配なことの話を聞くこともSAの一つの役目だと思います。考えさせられることが多く、とてもやりがいのある仕事です。是非挑戦し、様々なことを吸収してください。

質問5：SAとして活動してみて、SAの仕事内容(これは大変だな、もう少しこんなことをしてみたいな etc)について感じたこと、今後のSA活用に向けて提案することなど自由な意見を教えてください。

SAという制度はとても素晴らしいと思います。受講生にとっても、気軽に頼れる存在である先輩が授業に参加していることはとても心強く、またSA自身も考えさせられることが多く、自身の成長にも繋がります。提案として、授業によってSAの役割は異なると思いますが、SA同士が関われる場があると良いと思います。「SAとして何をすれば良いのか」、「どのようにサポートできるのか」等、SAだからこその悩みはあると思います。それがSA同士で共有でき、語り合うことで悩みを解消され、お互いに励まし合うことが出来ます。

SAを経験して、本当に挑戦して良かったと思っています。このような素敵な企画を提供してくださった先生方に心から感謝しています。授業担当者である中川先生、川島先生、松岡先生には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

おわりに

本報告書は、三重大学におけるスチューデント・アシスタント(SA)導入年における成果の振り返りである。

さまざまな大学がSA制度の導入を始めているが、SAの資質をどのように育成するか、SAを行うことを通してSA自身がどのように学習を進めていくか、またSAの支援を受けた学生たちにどのような教育効果を生み出していくかに関しては、手探りの状況が続いている。本学では、キャリア・ピアサポーター資格教育プログラムという制度を導入し、SAとなる学生の資質を育成するとともに、彼らが教職員とともに、後輩学生を育てることを通して、自立性と社会性の鍛錬を習慣化させることを目指した。

三重大学のSAに独自の資質があるとすれば、彼らが以下の「三重大学学生支援方針」を理解し、その精神に基づいて支援を行っていることだろう。

三重大学にとって受け入れた学生は「宝」です。

その宝が輝くように、教員、職員、学生が一体となって支援します。

この報告書にあるSAたちの振り返りを読むと、彼らは支援対象となる学生たちを、「指導する対象」としてよりも、すばらしい資質を秘めた「宝」として敬意を払っていることが分かる。そして、彼らに寄り添い、共に苦しみ、成果を喜びつつ、自ら学び続けている。現在の教養教育の重要な課題の一つは、異なった価値観を持つ人々を尊重しつつ、協働を通して社会を作り出す市民性の育成であるが、SAたちの中にはこの市民性のDNAがあるのみならず、彼らに接した支援対象学生たちにも、同じDNAが生み出されていることがうかがえる。SAたちには、自分たちの中に生まれたこの資質が、一生育っていく宝であることを自覚してもらいたい。

もちろん、このSA制度には、解決すべき課題は多い。とりわけ、SAの要件となるキャリア・ピアサポーター上級資格取得者に極端な学部構成の偏りがあり、今年度のSA経験者に人部学部以外の学生がいなかったことは、学生総合支援センターとして反省すべき点である。この偏りを排するために、上級資格取得の要件となる「学習支援実践」に、理系基礎科目や留学生対象の日本語学習支援なども加えるなどの、プログラムの修正を行うとともに、共通教育のみならず、各学部とも連携したSA制度の広がりを生み出す必要があるものと思われる。

しかし、制度を導入した時のSAの質は、その後の発展の質的基盤となる。初代SAたちの、かざらない等身大の振り返りこそが健全な土台となり、今後は、その土台の上に、三重大学のSAや学生支援の歴史がつくられていくだろう。学生総合支援センターは、学生支援方針に従って、この振り返りの中に宝を見出し、その宝が輝いた姿を思い描き、その夢に基づいてデザインをして、SA制度をさらによいものにしていきたい。

中川 正(学生総合支援センター長)

能動的な
行動力が
身につくよ!

Career



たくさんの
人と
知りあいたい



キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド 2011

NEXT STEP

Discover

あなたもキャリア・ピアサポーターになってみませんか?
(Career・Peer Supporter)

Dream

Design



大学内で
職場体験が
できるんだって!



キャリアアップで
自信がつくよ!

Destiny



学生総合支援センター

資格をとって、大学づくりに関わろう！ ～仲間と一緒に大学を変える！自分も変わる！～

こんな人は
注目です！

就職活動が不安。
今から始められることって
ないかなあ。

短い大学生活。
もっとキャンパスライフを
楽しみたい!!

資格は興味あるけど
自力で取得するのは
大変そう……

コミュニケーション
能力を伸ばしたいけど
人と接する機会が
あまりないなあ……

例えば
こんな業務
やってます

資格を取得することで参加できる！ 学内業務の一例

活躍の場が
広がるね！



※業務に参加するに当たって必要な資格要件は、その業務ごとに設定されています。詳しくは、各業務担当者に直接お問合せください。
※業務内容によっては、大学から謝金が支払われるものもあります。

授業補助

キャリア・ピアサポーターがSA (Student Assistant) として『「4つの力」スタートアップセミナー (4SUS)』、『キャリア実践科目』、『学習支援実践』、『PBLセミナー』等のセミナー・実践形式の授業において、教員の指導のもと、受講している学生の補助をすることができます。授業中は教室内を巡回して、教員の指示を理解しきれていない学生をサポートします。

※『学習支援実践』という授業が週に一回あり、キャリア・ピアサポーター同士でSAをしたときの反省点や改善点を話し合います。

各種学生サポート

大学生活についての相談窓口を開設するなどの各種学生支援企画を実施したり、他団体等の学生支援企画の運営をお手伝いしたりします。

※相談窓口開設に当たっては、事前にカウンセラーより相談に関する研修を受けることができます。



他にもこんな業務に関われる チャンスがあります！

- 学生同士の交流や大学活性化、キャリア支援を目的としたイベントの開催
- 修学支援企画の立案・実施
- 学内の各種学生団体とのコラボレーション

その他、学内さまざまなところで力を発揮できます！ 学生の声を聞いて、今何をする必要があるのか、メンバーみんな考えていきましょう！



資格を取得
してからの
自分の変化

- ★自ら行動する力がつく！
- ★学部・学年を越える仲間と出会い、高めあえる。
- ★より充実した大学生活に!!

申請ってどうするの？

資格認定までの ステップ

申請はとっても簡単！
気軽にチャレンジ
してみよう！



STEP 1

キャリア・ピアサポーター資格申請書および 成績証明書を提出

定められた時期までに、キャリア支援センター（就職支援チーム）に提出します。

申請期日

前期末申請：9月中旬予定 後期末申請：1月下旬予定
※詳しくは掲示板等で確認してください

対象科目は？

資格取得に関わる科目群

（主題「生きる力とキャリア形成」に分類される科目群）

実践につながる
科目がいろいろ！



初級資格

授業科目名	分野	時間割	担当教員
初級必修科目			
①「4つの力」 スタートアップ セミナー	社会	クラス指定	長濱 文与・ 中島 誠・ 中山留美子
②キャリア プランニング	社会	前期：水5・6 前期：水7・8 前期：木3・4 後期：木3・4 後期：木5・6	宮崎 冴子
初級選択必修科目（キャリア実践科目） ※以下のうちいずれか1科目			
PBLセミナー （キャリア・イベント実践）	社会	後期：水5・6 水7・8 （2コマとも履修すること）	宮崎 冴子
学生生活支援実践	社会	後期：水5・6	鈴木英一郎
地域づくり実践	社会	後期：月9・10	石阪 督規
広報誌編集実践	社会	後期：木7・8	村上 克介
大学紹介実践	人文 社会	後期：水7・8	佐藤 之彦
障がい学生支援実践	社会	後期：火1・2	菊池 紀彦 他
環境ISO実践	人文 社会	後期：火3・4	朴 恵淑
「美し国おこし・三重」 実践	社会	後期：月7・8	中川 正 他
法則探検実践	社会	後期：金3・4	中川 正

上級資格

授業科目名	分野	時間割	担当教員
上級必修科目			
①学習支援実践	社会	前期：水9・10	中川 正・ 長濱 文与・ 中島 誠・ 中山留美子
②こころの サポート	社会	前期：月7・8 後期：月7・8	鈴木英一郎
上級選択科目 ※以下のうちいずれか2科目			
総合科目			
アントレプレナー論	社会	前期：木5・6	山根栄次 他
三重ブランドの創出	社会	後期：木5・6	朴 恵淑 他
通常科目			
AI-人と組織を 生かす発想法	社会	前期：金5・6	中川 正 鈴木 英一郎
キャリア形成・ 能力開発	社会	前期：木5・6	宮崎 冴子
仕事・社会を知る	社会	後期：木7・8	宮崎 冴子
法則探検入門	社会	前期：金3・4	中川 正
キャリア・ インターンシップ	社会	前期：木7・8	宮崎 冴子
現代の消費生活と 消費者の自立	社会	前期：金3・4	吉本 敏子

※各科目の詳細な授業内容については、「三重大学共通教育シラバス」で確認してください。

STEP 2

キャリア・ピアサポーター 資格認定委員会による 審査

学生総合支援担当副学長、キャリア支援センター長、キャリア教育担当教員等から成る認定委員会が審査します。

STEP 3

基準を満たす学生に 対して、初級資格、または 上級資格認定証を授与

資格認定者の発表は、前期末申請分については9月下旬、後期末申請分については次年度4月上旬を予定しています。

資格認定基準

- 資格認定要件となる授業において優れた成績を修めていること（上級資格を得るためには、「4つのカスタートアップセミナー」で8以上の成績を修めていること）
- キャリア・ピアサポート活動に従事するに当たり、十分な意欲と素養を備えていること。

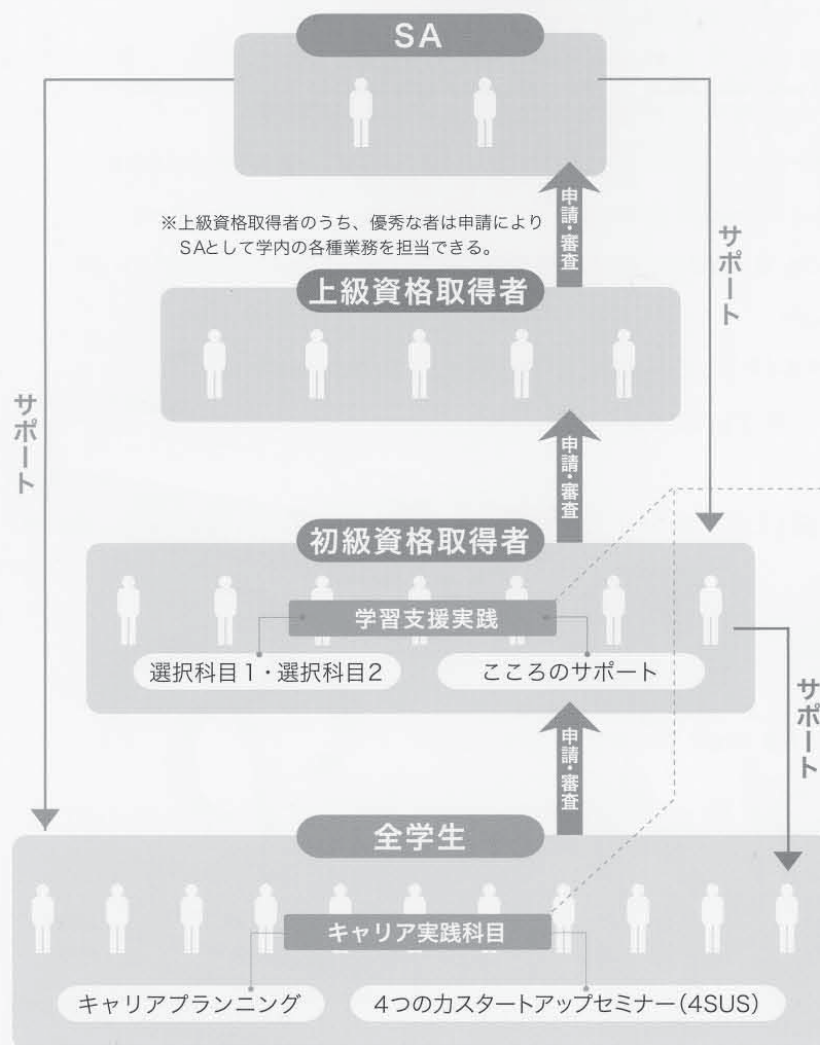
ステップ
アップの
仕組みって？

キャリア・ピアサポーター 資格教育プログラム

キャリアUPで
自信をつけよう！



● SA (Student Assistant) … 教員の要請により授業補助等の業務を担う学部学生のこと



キャリア実践の各科目や「学習支援実践」を受講した学生が、資格取得により次年度にはSAとして、受講生のサポートに入ることができます。

キャリア実践科目



学習支援実践



資格取得を通して社会人としての 「実践力」を身につけよう！



大学までの勉強では知識の獲得が最も重視されますが、実際に社会に出てみれば、

知識量だけでなく、獲得した**知識に基づいた実践のための応用力**が求められるようになります。

しかしながら、こうした能力を身につけるためには、ただ漫然と授業を受けるだけではなく、

学生時代に様々な取り組みに主体的に参加することで、経験を通して積み重ねていかなければなりません。

三重大学では、「生きる力」の養成や自身のキャリア形成につながる様々な授業科目を用意しています。

また、所定の科目を履修した学生に対しては、「**キャリア・ピアサポーター初級資格**」、

および「**キャリア・ピアサポーター上級資格**」を認定します。

「キャリア・ピアサポーター」資格を取得した学生は、授業補助等で教員のサポート役を担う

「SA (Student Assistant)」をはじめ、学生が同じ学生を横の関係で支援する「なんでも相談活動」や、

各種修学(授業)支援、アカデミックフェアやキャリアイベントといった各種イベント企画など、三重大学の活性化にも

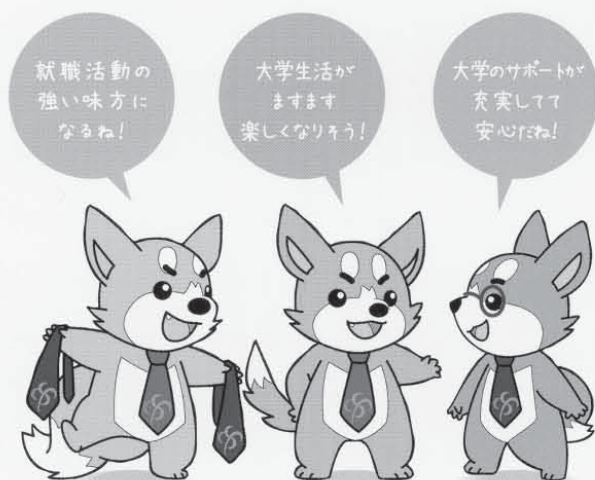
つながる様々な活動に参加してもらうことで、その力を発揮することができます。さらには、こうして学内の様々な

現場を「職場」として体験することを通して、就職活動に不可欠な“対人関係能力”や“コミュニケーション能力”といった

能力を身につけていくこともできるでしょう。

あなたも、「キャリア・ピアサポーター」資格を取得して、一緒に三重大学を盛り上げていきませんか。

そして、**あなた自身の「実践力」**を伸ばしていきませんか。



キャリア・ピアサポーター宣言



キャリア・ピアサポーターは、
多様な教育環境や学生・教員・職員の連携・協働を活かして、
学生が自己の可能性を見つけるきっかけづくりをします。
そして、人とのつながりを大切に、
大学全体でともに高め合える風土づくりを目指します。

2011年2月11日
ピアサポーター学生委員会

キャリア・ピアサポーター宣言



キャリア・ピアサポーターは、
多様な教育環境や学生・教員・職員の連携・協働を活かして、
学生が自己の可能性を見つけるきっかけづくりをします。

そして、人とのつながりを大切にし、
大学全体でともに高め合える風土づくりを目指します。

2011年2月11日

ピアサポーター学生委員会



三重大学学生総合支援センターホームページ
<http://www.mie-u.ac.jp/life/>

発行／平成25年3月
国立大学法人 三重大学
問い合わせ先／学生総合支援センター
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL:059-231-9679

三重大学life

click